

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM6



型式：YY2985

クイックスタートガイド

⚠ 水ぬれによる焼損や故障を防ぐために

アプリをダウンロードして、ヘッドセットのセットアップをしましょう

お持ちの製品とアプリを接続することで初めて使える便利な機能がたくさんあります。今すぐ“Sound Connect”アプリをダウンロードして試してみましょう。

“Sound Connect”アプリでできる主な機能については、「[“Sound Connect”アプリを使う](#)」をご覧ください。



Sound Connect

使い始めよう

1

装着する



ヘッドセットを回転させながら、イヤープースが最も耳の穴の奥に入るようにしてください。

2

BLUETOOTH®接続する





ヘッドセットを充電ケースから取り出すと、電源が入ります。
ダウンロードした“Sound Connect”アプリの指示に従ってください。



ヘッドセットで操作する

タッチセンサーをタップします。

L側

- （1回タップ）：ノイズキャンセリング機能／外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）の切り替え
- （2回タップ）：Quick Access（“Sound Connect”アプリでの設定が必要）
- （3回タップ）：Quick Access（“Sound Connect”アプリでの設定が必要）
- ...（4回以上タップ）：音量を下げる
- （触れたままにする）：クイックアテンションモードを使用する

R側

- （1回タップ）：再生／一時停止
- （2回タップ）：次の曲の頭出し
- （3回タップ）：前（再生中）の曲の頭出し
- ...（4回以上タップ）：音量を上げる
- （触れたままにする）：音声アシスト機能（Google™アプリ／Siri）の起動／解除

関連情報

[手動でBluetooth接続する](#)

[ヘッドセットを充電する](#)

ヘッドセットでできること

[ヘッドセットを使う](#)

[“Sound Connect”アプリを使う](#)

準備する

[音声ガイダンスについて](#)

付属品について

[箱の中身を確認する](#)

[イヤープースを交換する](#)

各部の名称

[各部の名称](#)

[ランプ表示](#)

ヘッドセットを装着する

[ヘッドセットを装着する](#)

- └ [片側のヘッドセットだけを使う](#)

ヘッドセットを操作する

- └ [タッチセンサーについて](#)

電源／充電

- └ [充電する](#)

- └ [使用可能時間](#)

- └ [充電式電池の残量を確認する](#)

- └ [ヘッドセットの電源を入れる](#)

- └ [ヘッドセットの電源を切る](#)

接続する

[Bluetooth接続をするには](#)

アプリを使ってかんたんに接続する

- └ [“Sound Connect”アプリを使って接続する](#)

Android搭載スマートフォン

- └ [Android搭載スマートフォンをペアリングしてから接続する](#)

- └ [ペアリング済みのAndroid搭載スマートフォンと接続する](#)

- └ [Android搭載スマートフォンをLE Audioで接続する](#)

iPhone（iOS搭載機器）

- └ [iPhoneをペアリングしてから接続する](#)

- └ [ペアリング済みのiPhoneと接続する](#)

パソコン

- └ [パソコンをペアリングしてから接続する（Windows® 11）](#)

- └ [パソコンをペアリングしてから接続する（Mac）](#)

- └ [ペアリング済みのパソコンと接続する（Windows 11）](#)

- └ [ペアリング済みのパソコンと接続する（Mac）](#)

その他のBluetooth機器

- └ [Bluetooth機器をペアリングしてから接続する](#)

- └ [ペアリング済みのBluetooth機器と接続する](#)

マルチポイント接続

[2台の機器と同時に接続する（マルチポイント接続）](#)

[“音声の切り替え”で複数機器間の音声を切り替える](#)

[Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）](#)

音楽を聞く

Bluetooth接続を使って音楽を聞く

[Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)

[音楽再生時にできること（Bluetooth接続）](#)

[360 Reality Audioについて](#)

[スピーカーと組み合わせてシームレス再生を楽しむ（Auto Switch）](#)

ノイズキャンセリング機能

[ノイズキャンセリング機能とは](#)

[ノイズキャンセリング機能を使う](#)

周囲の音を聞く

[音楽再生中に周囲の音を聞く（外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード））](#)

[すばやく周囲の音を聞きたいときは（クイックアテンションモード）](#)

[ヘッドセットを耳に装着したまま会話をする（スピーク・トゥ・チャット）](#)

通話する

[電話を受ける](#)

[電話をかける](#)

[通話時にできること](#)

[パソコンでビデオ通話する](#)

音声アシスト機能を使う

[Google Geminiを使う](#)

[Tencent Xiaoweiを使う](#)

[音声アシスト機能（Googleアプリ）を使う](#)

[音声アシスト機能（Siri）を使う](#)

お知らせ

[使用上のご注意](#)

[対応コーデックについて](#)

[ソフトウェアを最新の状態に保つ方法（快適にご使用いただくために）](#)

[使い終わったら](#)

[お手入れ](#)

[水ぬれによる焼損や故障を防ぐために](#)

[ヘッドセットや充電ケースが水にぬれてしまった場合は](#)

[ライセンスについて](#)

[商標について](#)

困ったときは

[困ったときにすること](#)

[リセットする](#)

[初期化する](#)

主な仕様

[主な仕様](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM6

ヘッドセットを使う

Bluetooth接続

スマートフォンやパソコンなどとBluetooth接続できます。

Bluetooth接続した機器の音楽を再生

Bluetooth接続したスマートフォンやパソコンなどの音楽をワイヤレスで楽しめます。



Bluetooth接続した機器と通話

Bluetooth接続したスマートフォンやパソコンなどとワイヤレスで通話できます。



関連項目

- [Bluetooth接続するには](#)
- [2台の機器と同時に接続する（マルチポイント接続）](#)
- [Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)
- [音楽再生時にできること（Bluetooth接続）](#)

TP1002099607

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM6

“Sound Connect”アプリを使う

“Sound Connect”をGoogle PlayストアまたはApp Storeからスマートフォンにインストールします。



Sound Connect

“Sound Connect”アプリの機能と連携できるサービス情報

<https://www.sony.net/supported-servicelink>
[sony.net/servicelink](https://www.sony.net/servicelink)

- 連携できるサービスは、国や地域ごとに異なります。
- 連携できるサービスの仕様は、予告なく変更、停止または終了する場合があります。

“Sound Connect”アプリを使って操作・設定できる機能は以下の通りです。
ヘルプガイド内に詳しい操作が記載されている機能については、ページ下の関連項目からご覧ください。

以下は［マイデバイス］タブからアクセスできます。

ヘッドセットの操作、状態表示

- 充電式電池の残量表示（ヘッドセット／充電ケース）

アダプティブサウンドコントロール

行動検出によって、ノイズキャンセリング機能を自動で調整します。

外音コントロール

ノイズキャンセリング機能と外音取り込み機能のモードを調整します。

スピーク・トゥ・チャット

スピーク・トゥ・チャット音声自動検出の有効／無効の切り替えと設定を行います。

リスニングモード

コンテンツや利用シーンに応じてサウンドを切り替えます。

イコライザー

音質をプリセットから設定します。お好みにカスタマイズした音質も設定できます。

DSEE Extreme

AI（人工知能）技術を使用して高音域補完の性能をさらに高めています。CD音源や圧縮音源をハイレゾ相当の高解像度音源にアップスケーリングして再生します。

ご注意

- DSEE Extremeを「Auto」に設定していると、使用可能時間が短くなります。

360 Reality Audio

360 Reality Audioを設定します。

立体音響とヘッドトラッキング

ヘッドセットの装着角度を測定して立体音響を最適化します。Androidヘッドトラッキングや立体音響対応のサービスを使用時に、正確な音響体験を楽しめます。

立体音響の最適化

ヘッドセットの装着角度を測定して立体音響を最適化し、正確な音響体験を楽しめます。

Bluetooth接続品質

Classic AudioでのBluetooth接続時の優先設定を、音質か接続の安定性のどちらを優先するか設定できます。

- 「音質優先」：再生音質を優先します。
- 「接続優先」：音切れしやすいなど接続が不安定なときに選択します。

また、LE AudioでのBluetooth接続時は「低遅延」を選択してください。「低遅延」が表示されない場合は「ヘッドホンのLE Audio接続設定」を設定してください。

ご注意

- 音質や使用条件などにより、再生時間が短くなる場合があります。
- お使いの環境によっては、「接続優先」にしても音の途切れが改善されない場合もあります。

ヘッドホンのLE Audio接続設定

LE AudioでのBluetooth接続時に設定します。「ヘッドホンのLE Audio接続設定」が表示されない場合は「Bluetooth接続品質」を設定してください。

Auto Switch *

音の出力先をヘッドセットとスピーカーの間で自動で切り替えてワイヤレス再生を楽しめます。

音声コントロール／音声アシスタント

ウェイクワード発話後に音声コマンドでヘッドセットを操作できる音声コントロールを設定します。アプリから使用できる言語と音声コマンドも確認できます。

タッチセンサーの機能を変更

ヘッドセットのタッチセンサーの機能を変更します。

外音コントロール操作

ノイズキャンセリング機能と外音取り込み機能のモードを調整します。

Quick Accessのサービスを変更 *

Quick Accessに割り当てるサービスを設定します。

ヘッドジェスチャー

うなずきや首振りでの操作を有効または無効にします。

ヘッドホンを外したら音楽を一時停止

装着検出による自動音楽再生停止／再生再開機能を設定します。

オートパワーセーブ

バッテリー残量が一定以下になった場合、バッテリー消費を抑えてヘッドセットの使用時間をより長くすることができます。

いたわり充電

有効にすると、バッテリーの耐久寿命を長持ちさせます。

自動電源オフ

装着検出による自動電源オフ機能を設定します。

通話時の自分の声の取り込み

マイクが作動し外音を取り込み、通話中に自分の声をより聞こえやすくします（サイドトーン機能）。

通知音と音声ガイダンス

通知音や音声ガイダンスのオン／オフを切り替えます。音声ガイダンスの言語や音量も設定します。

ソフトウェアアップデート

ヘッドセットのソフトウェアをアップデートする方法を設定します。

ソフトウェアバージョン

ヘッドセットのソフトウェアバージョンを表示します。

以下は［シーン］タブからアクセスできます。

Scene-based Listening *

通話や歩行などの行動の変わり目をセンシングし、連携する音楽サービスを自動で再生します。

以下は［ディスカバー］タブからアクセスできます。

リスニングヒストリー

ヘッドセットの使用状況や聞いた楽曲の振り返りなど、利用履歴を記録し表示します。

以下は［メニュー］タブからアクセスできます。

ヘルプ

ヘッドセットのサポート情報を表示します。

* LE Audio接続時には使用できません。

ご注意

- “Sound Connect”アプリの操作方法や画面表示は、将来のバージョンアップにより予告なく変更することがあります。

TP1002099608

5-069-561-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM6

音声ガイダンスについて

操作した内容やヘッドセットの状態によって、以下のような音声ガイダンスが流れます。
お買い上げ時の状態では、ヘッドセットを耳に装着すると英語、中国語または日本語の音声ガイダンスが流れます。
“Sound Connect”アプリを使用すると、音声ガイダンスの以下の設定を変更できます。

- 言語設定
- 音量設定

「ペアリングモード」

- ヘッドセットを耳に装着してヘッドセットが自動的にペアリングモードになったとき
ヘッドセットは以下の場合、自動的にペアリングモードになります。
 - ヘッドセットをお買い上げ後に初めてペアリングするとき
 - ヘッドセットを初期化した後など、ヘッドセットにペアリング情報がない場合に、ヘッドセットを耳に装着したとき
- 手動でペアリングモードにしたヘッドセットを耳に装着したとき

「バッテリーが少なくなりました」

- ヘッドセットの充電式電池の残量が少なくなったとき

「バッテリーがなくなりました」

- ヘッドセットの充電式電池の残量が少なくなって自動的に電源が切れるとき

「バッテリー約XX%」

- 充電式電池の残量を確認したとき
「XX」の数値は大まかな残量を示します。おおよその目安として利用してください。

「テスト音声です」

- 音声ガイダンスの音量を設定したとき

「Digital assistantが接続されていません」 *

- デジタル アシスタントを設定した側のヘッドセットを操作しても、ヘッドセットに接続したスマートフォンでデジタル アシスタントが使用できないとき

「Xiaoweiが接続されていません」 *

- Tencent Xiaoweiを設定した側のヘッドセットを操作しても、ヘッドセットに接続したスマートフォンでTencent Xiaoweiが使用できないとき

「音声アシスタントは使用できません。Sound Connectを開いて、音声アシスタントの設定を確認してください。」

- LE Audio接続中に音声アシスタントの操作をしたとき

「Sound Connectを起動し、サービスとの連携をONにしてください。」

- サービスとの連携が無効の状態、Quick Accessを使用したとき

「Quick Accessに割り当てたアプリが起動していません」

- アプリを起動していない状態でQuick Accessを使用したとき

「Quick Accessは使用できません。Sound Connectを開いて、Quick Accessの設定を確認してください。」

- LE Audio接続中にQuick Accessの操作をしたとき

「Quick Accessは使用できません。Sound Connectを開いて、サービスの設定を確認してください。」

- Quick Access操作時に利用条件を満たしていないとき

「セーフボリュームコントロールにより、音量を制限します。」

- セーフボリュームコントロールが開始したとき

「パワーセーブモードに入ります。」

- パワーセーブモードが発動したとき

「すみません、分かりませんでした」

- 音声コントロールで、ウェイクワード認識後、コマンドが認識されないとき

「モバイル機器の音声アシスタントから応答がありません。設定を確認してください。」

- 音声コントロールで、“アシスタント”は認識されたが、音声アシスト機能が起動しないとき

「マイクオフ」

- 通話中にヘッドセットを操作してマイクをオフにしたとき

「マイクオン」

- 通話中にヘッドセットを操作してマイクをオンにしたとき

* 国や地域によっては利用できない場合があります。

ご注意

- 音声ガイダンスの言語を変更する場合は、最大10分間ほど時間がかかります。
- 音声ガイダンスの言語は、ヘッドセットを初期化しても変更はされません。
- 音声ガイダンスが聞こえなくなった場合は、ヘッドセットを充電ケースにセットします。充電ケースのふたを閉めて電源を切ります。その後、もう一度ヘッドセットを充電ケースから取り出して電源を入れてください。

TP1002086890

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM6

箱の中身を確認する

箱を開けたら、付属品がそろっているか確認してください。万一、不足の場合はソニーの相談窓口、またはお買い上げ店にご相談ください。

() 内は個数を示します。

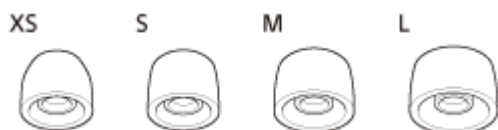
ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット (1)

USB Type-C™ケーブル (USB-A - USB-C™) (1)



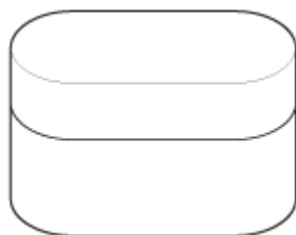
ノイズアイソレーションイヤープース (XS (2) , S (2) , M (2) , L (2))

- お買い上げ時には、Mサイズのイヤープースが左右のヘッドセットに装着されています。イヤープースのサイズは、イヤープースの内側の色で見分けます。
*従来XSはSSサイズと表記されていました。



XSサイズ : 赤色
Sサイズ : オレンジ色
Mサイズ : 緑色
Lサイズ : 水色

充電ケース (1)



印刷物 (一式)

ご注意

- イヤープースは消耗品です。長期の使用・保存により劣化したり破損した場合は、ソニーの相談窓口、またはお買い上げ店にご相談ください。
 - 別売のEP-NI1010シリーズをお買い求めいただけます。*
- * 一部の国や地域では提供されていない場合があります。
- 小さな部品を飲み込む恐れがあります。ご使用後は乳幼児の手の届かないところに保管してください。

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM6

イヤークピースを交換する

お買い上げ時には、Mサイズのイヤークピースが左右のヘッドセットに装着されています。

イヤークピースのサイズが耳の穴の大きさに合っていない、またはヘッドセットが耳に正しく装着されていない場合、タップ操作やスピーク・トゥ・チャットの音声検出が失敗する可能性があります。また、正しい音質、音量、ノイズキャンセリング効果、通話性能が得られないことがあります。

その場合は、以下をお試しください。

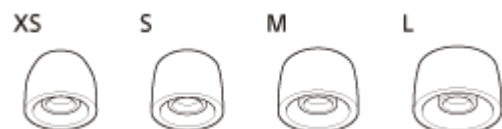
- より密閉感が高いと感じられるイヤークピースに交換してください。イヤークピースを交換するときは、大きめのイヤークピースからお試しください。最適なイヤークピースのサイズは、左右の耳で異なる場合があります。
- “Sound Connect”アプリを使用すると、ノイズキャンセリング機能や音質などを最大限に発揮するために最適なイヤークピースを判定することができます。
- ヘッドセットが耳に正しく装着できているか確認してください。また、イヤークピースが最もフィットするように装着してください。

ヒント

- 最適なイヤークピースを判定する機能は、イヤークピースの密閉状態を測定し、ヘッドセットが耳に正しく装着されているかを判定します。快適に装着できるイヤークピースを選択してください。

ノイズアイソレーションイヤークピース

イヤークピースのサイズは、イヤークピースの内側の色で見分けます。



XSサイズ：赤色

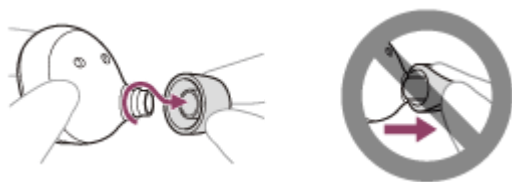
Sサイズ：オレンジ色

Mサイズ：緑色

Lサイズ：水色

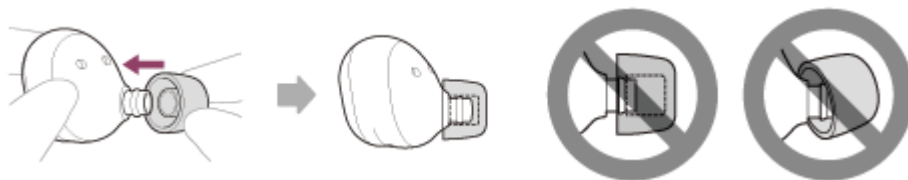
1 イヤークピースを外す。

ヘッドセットを持ち、イヤークピースをねじりながら、回転させて引き抜いてください。
イヤークピースの端をつまんで引っ張らないでください。



2 イヤークピースを取り付ける。

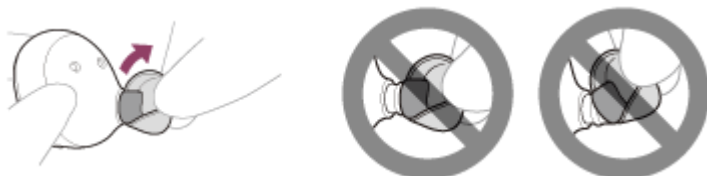
イヤークピースをヘッドセットの音導管（音出口の筒部）の奥までしっかり押し込んでください。イヤークピースを斜めに取り付けしないでください。



イヤープースが完全に取り付けられていない場合は、ヘッドセットから外れる恐れや、音質・ノイズキャンセリング性能・装着性などが損なわれる可能性があります。

3 イヤープースが正しく取り付けられているか確認する。

イヤープースをめくり、イヤープースの軸がヘッドセットの音導管の奥まで取り付けられているかを確認してください。



ご注意

- 耳によりフィットするため、耳への負担が大きくなる恐れがあります。違和感のある場合には、使用を中止してください。
- イヤープースは消耗品です。長期の使用、保存により劣化・破損します。劣化・破損すると音質やノイズキャンセリングなどの性能が発揮できなくなりますので、定期的に交換してください。
また、イヤープースに破損が生じると、イヤープースやその一部が耳の中に残り、けがや病気の原因になることがあります。亀裂、剥がれ、欠け、メッシュの破れなどの破損が見られたら必ず交換してください。
- 水洗いやウェットティッシュ、アルコール等の有機溶剤の使用は早期劣化の原因となりますので、必ず避けてください。



- 発泡ウレタン部分だけを引っ張らないでください。イヤープースから分離すると、機能なくなります。
- 発泡ウレタン部分に力を加えたまま長時間放置しないでください。変形して元に戻りにくくなる恐れがあります。
- イヤープースが汚れた場合は水洗いを避け、乾いた布などで軽く拭いて取り除いてください。その際には、アルコールなどは使用しないでください。早期劣化の原因となります。
- 水にぬれてしまった場合などは水気を切り、乾燥したことを確認してからご使用・保存してください。
- 発泡ウレタン部分の穴の大小は音質に影響ありません。
- 装着時、耳の中でブチ音がある場合がありますが、異常ではありません。
- 気温が低い場合は発泡素材が硬くなることがあります。手で少し温めてご使用ください。
- 気温や使用温度が高い場合は発泡ウレタンの復元が遅い場合があります。
- 低音を感じられなくなったり、本来の音質を感じられなくなった場合は交換してください。

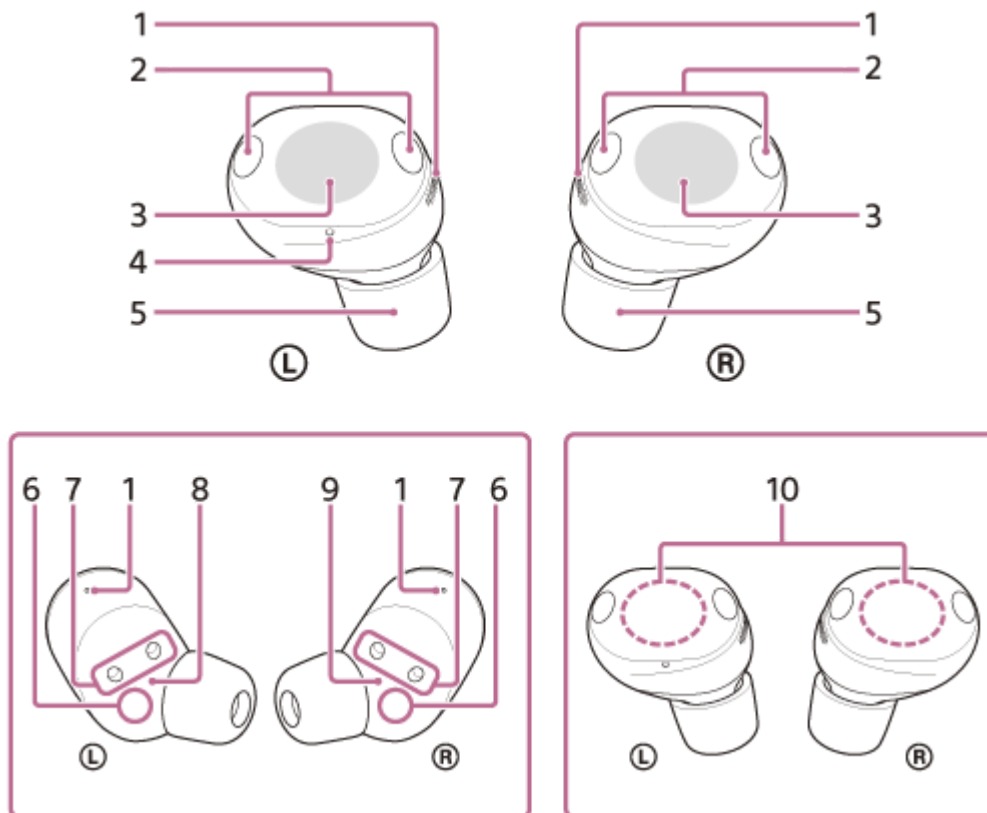
関連項目

- [“Sound Connect”アプリを使う](#)
- [ヘッドセットを装着する](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM6

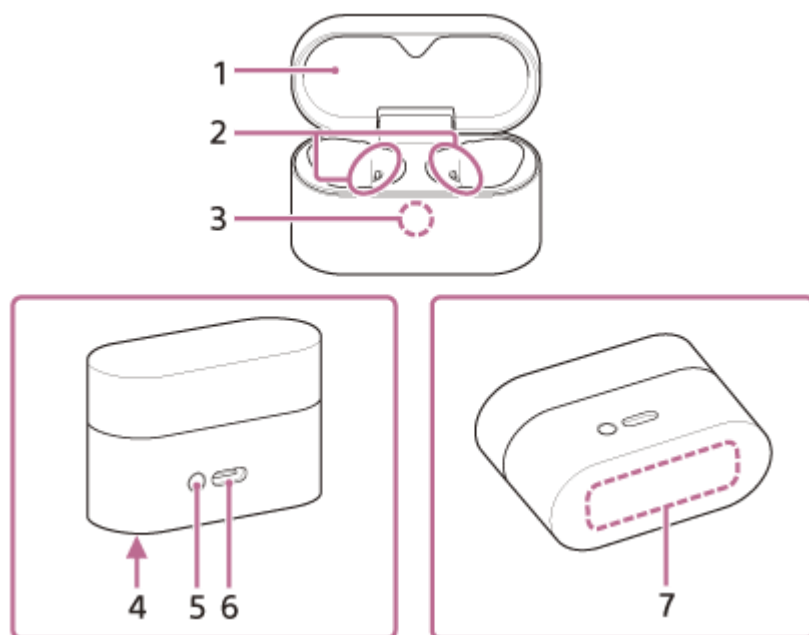
各部の名前

ヘッドセット



1. 通気孔（左、右）
2. マイク（左、右）
通話時やスピーク・トゥ・チャットモード時の声の收音や、ノイズキャンセリング機能、外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）使用時のノイズの收音を行います。
3. タッチセンサー（左、右）
4. 凸点（突起）
L側のヘッドセットには凸点（突起）がついています。
5. イヤーピース（左、右）
6. IRセンサー（左、右）
7. 充電端子（左、右）
8. ㊀（左）マーク
9. ㊀（右）マーク
10. 内蔵アンテナ（左、右）
Bluetoothアンテナが左右それぞれのヘッドセットに内蔵されています。

充電ケース



1. ふた

2. 充電端子（左、右）

3. ランプ（青／オレンジ／緑）

ヘッドセットや充電ケースの充電式電池残量や充電状態、ペアリングモードの状態などを表示します。

4. 製造番号

充電ケースの底面に記載されています。

5. ペアリング／リセット／初期化ボタン

ペアリングモードにするときや、ヘッドセットをリセットしたり初期化したりするときに使用します。

6. USB Type-C端子

付属のUSB Type-Cケーブルで、以下のいずれかの方法でヘッドセットと充電ケースを同時に充電します。

- 充電ケースをパソコンにつなぐ
- 市販のUSB ACアダプターを使って電源コンセントにつなぐ

7. Qi「チー」充電接触面

関連項目

- [ランプ表示](#)
- [充電式電池の残量を確認する](#)

TP1002086886

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM6

ランプ表示

ヘッドセット／充電ケースの動作状態を充電ケースのランプで確認できます。

- : 緑色点灯
- : オレンジ色点灯
- : 青色点灯
- : 消灯

充電式電池の残量表示

両側のヘッドセットを充電ケースにセットしている場合、ランプは左右のヘッドセットのうち、残量が少ない方の充電式電池の残量を表示します。

片側のヘッドセットのみ充電ケースにセットしている場合、ランプはセットされているヘッドセットの充電式電池の残量を表示します。

両側のヘッドセットを充電ケースから取り出している場合、ランプは充電ケースの充電式電池の残量を表示します。

充電式電池残量は、以下の操作時に表示されます。残量は表示内容で確認できます。

- 充電ケースのふたを開けたとき
- 充電ケースのふたを閉めたとき
- 充電が終了し、USB Type-Cケーブルを外したとき
- ヘッドセットを充電ケースから取り出したとき
- ヘッドセットを充電ケースにセットしたとき

約6秒間、緑色に点灯する。



- ヘッドセットが充電ケースにセットされ、ヘッドセットの充電式電池の残量が以下のとき
 - － いたわり充電オフ : 95%以上
 - － いたわり充電オン : 75%以上
- ヘッドセットが充電ケースにセットされておらず、充電ケースの充電式電池の残量が31%以上のとき

約6秒間、オレンジ色に点灯する。



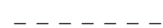
- ヘッドセットが充電ケースにセットされ、ヘッドセットの充電式電池の残量が以下のとき
 - － いたわり充電オフ : 94%～1%
 - － いたわり充電オン : 74%～1%

遅いオレンジ色点滅を3回繰り返す。



- ヘッドセットが充電ケースにセットされておらず、充電ケースの充電式電池の残量が30%～1%のとき

消灯する。



- ヘッドセットが充電ケースにセットされ、ヘッドセットの充電式電池の残量が1%未満のとき
- ヘッドセットが充電ケースにセットされておらず、充電ケースの充電式電池の残量が1%未満のとき

充電の状態

オレンジ色に点灯する。



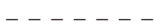
- ヘッドセットを充電しているとき
- 充電ケースを充電しているとき

約1分間、オレンジ色点灯後、消灯する。



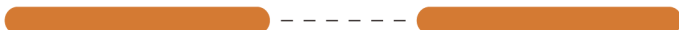
- ヘッドセット／充電ケースの充電開始時に満充電だったとき
- いたわり充電設定がオンで、充電開始時にヘッドセットの電池残量80%以上になったとき

消灯する。



- 満充電になり充電が完了したとき
- いたわり充電設定がオンで、ヘッドセットの電池残量80%以上だったとき

充電中はオレンジ色に点灯する。約0.5秒間消灯後、オレンジ色に再点灯する。



- 充電中に充電ケースのふたを開閉したとき
- ヘッドセットを充電ケースにセットしたり取り出したりしたとき

約1秒間隔で、2回ずつオレンジ色点滅を繰り返す。



- 充電温度に異常があるとき

約0.5秒間隔で、遅いオレンジ色点滅を繰り返す。



- 充電時に異常があり、充電できていないとき

約1.3秒間隔で、3回ずつオレンジ色点滅を繰り返す。



- ヘッドセットのL側／R側の組み合わせ異常があるとき

Bluetooth接続状態

2回ずつ青色点滅を繰り返す。



- ペアリングモードのとき

10回青色点滅する。



- 接続完了したとき
片側または両側のヘッドセットが充電ケースにセットされている場合に表示します。

その他

約0.6秒間隔でオレンジ色と青色点滅を繰り返す



- ソフトウェア自動アップデート中に充電ケースのふたを開けたとき
- ソフトウェア自動アップデート中に片側または両側のヘッドセットが未収納の状態であたが閉じているとき

約0.7秒間隔で最大5秒間オレンジ色点滅を繰り返す。



- リセット開始の準備が完了したとき
- 初期化開始の準備が完了したとき

詳しくは、「[リセットする](#)」、「[初期化する](#)」をご覧ください。

約0.3秒間隔で、4回緑色点滅する。



- 初期化が完了したとき

詳しくは、「[初期化する](#)」をご覧ください。

ヒント

- ヘッドセット装着時の動作状態は、通知音や音声ガイダンスで確認できます。

関連項目

- [充電する](#)
- [充電式電池の残量を確認する](#)
- [ソフトウェアを最新の状態に保つ方法（快適にご使用いただくために）](#)
- [リセットする](#)
- [初期化する](#)

TP1002086885

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM6

ヘッドセットを装着する

1 ヘッドセットを充電ケースから取り出す。

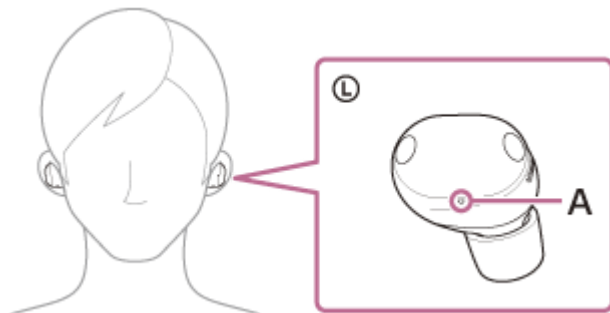


自動的に電源が入ります。

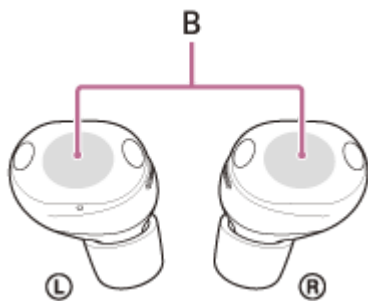
2 ヘッドセットを耳に装着する。

Lマークの表示があるほうを左耳に、Rマークの表示があるほうを右耳に装着します。L側には凸点（突起）（A）がついています。

耳の中に入れにくい場合は、イヤープースを指で軽く潰してから入れてください。



ヘッドセットを耳に装着するときは、タッチセンサー（B）に触れないように注意してください。



3 ヘッドセットが耳にフィットするように調整する。

ヘッドセットを親指、人差し指、中指の3点でつまんで回転させ、耳にフィットするように調整してください。

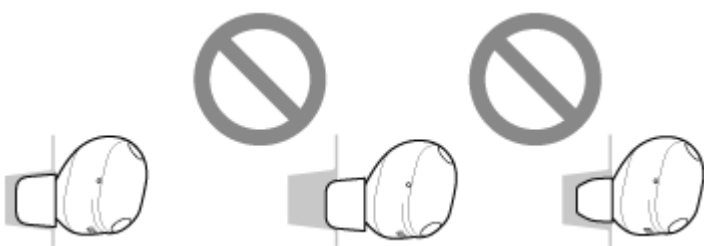


ヘッドセットを耳の中に入れた後、ヘッドセットの側面を指でつまんで、イヤープースが耳の穴にしっかり入るようにゆっくり押し込んでください。

ご注意

- タッチセンサーに触れるとヘッドセットが動作してしまう場合があります。

イヤープースが耳の奥まで入っていないかったり、イヤープースのサイズが合っていないことにより、イヤープースと耳の穴との間に隙間ができていないか確認してください。



4 イヤープースの形状が安定するまで10秒程度待つ。

密閉されない、ノイズキャンセリングの効果が足りない、低音が足りないと感じた場合は、大きいサイズのイヤープースをお試しください。

装着しているうちにヘッドセットが外れてくる場合は、小さいサイズのイヤープースをお試しください。

5 装着状態を確認する。

ヘッドセットの装着状態によっては、ノイズキャンセリング効果が得られない可能性があります。ヘッドセットが正しく装着できているかは以下の方法で確認できます。

- お使いのスマートフォンなどのビデオ（動画）機能で撮影する。
- “Sound Connect”アプリで装着状態を確認する。



ヒント

- イヤープースが入れにくい場合はサイズを変更するか、イヤープースを軽く潰して装着してください。
- ヘッドセットを装着するときや、装着位置を調整するときのヘッドセットの持ちかたは手順3のイラストを参照してください。

正しい音質、音量、ノイズキャンセリング効果、通話品質などを発揮するために

イヤープースのサイズが耳の穴の大きさに合っていない、またはヘッドセットが耳に正しく装着されていない場合、タップ操作やスピーク・トゥ・チャットの音声検出が失敗する可能性があります。また、正しい音質、音量、ノイズキャンセリング効果、通話性能が得られないことがあります。

その場合は、以下をお試してください。

- より密閉感が高いと感じられるイヤープースに交換してください。イヤープースを交換するときは、大きめのイヤープースからお試してください。最適なイヤープースのサイズは、左右の耳で異なる場合があります。
- “Sound Connect”アプリを使用すると、ノイズキャンセリング機能や音質などを最大限に発揮するために最適なイヤープースを判定することができます。
- 手順3を参照して、ヘッドセットが耳に正しく装着できているか確認してください。また、イヤープースが最もフィットするように装着してください。

ヒント

- 最適なイヤープースを判定する機能は、イヤープースの密閉状態を測定し、ヘッドセットが耳に正しく装着されているかを判定します。快適に装着できるイヤープースを選択してください。

ヘッドセットを装着したり取り外したりすると

お買い上げ時、ヘッドセットに内蔵されたIRセンサーによるヘッドセットの装着や取り外しを検知する設定が有効になっています。そのため、意図せず音楽が再生、一時停止や再開をしたり、タッチセンサー操作や音声ガイダンスが制御されたりします。

ヘッドセットを装着すると

- タッチセンサーで音楽再生や通話などの操作ができます。
- 操作や状態に応じた通知音や音声ガイダンスが流れます。

ヘッドセットを取り外すと

- 両側のヘッドセットを装着して音楽を再生しているときに、片側または両側のヘッドセットを取り外すと音楽の再生を一時停止します。もう一度耳に装着すると再生を再開します。
- 電池を節約するため、ヘッドセットを充電ケースから取り出して耳に装着しない状態が約15分間続くと、自動的に電源が切れます。タッチセンサーをタップするか、ヘッドセットを耳に装着すると電源が入ります。
- 誤動作を防止するため、耳に装着されていないヘッドセットのタッチセンサーをタップしても操作はできません。

ヒント

- 片側のヘッドセットだけを耳に装着して音楽を再生したり通話したりすることもできます。
- “Sound Connect”アプリを使用すると、音楽の再生を自動的に一時停止したり再開したりする設定や、自動的にヘッドセットの電源を切ったりする設定を変更できます。

関連項目

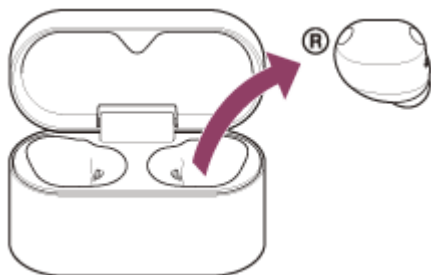
- [“Sound Connect”アプリを使う](#)
- [イヤープースを交換する](#)
- [片側のヘッドセットだけを使う](#)

TP1002086740

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM6

片側のヘッドセットだけを使う

充電ケースから片側だけを取り出して使うことができます。
この場合、取り出した側のヘッドセットだけに電源が入ります。



もう片側のヘッドセットを装着すると

自動的に左右のヘッドセットが接続され、両側から音楽や通話の音声が聞こえます。

タッチセンサーへの機能の割り当てについて

装着する側によっては、出荷時の設定では操作できない機能があります。この場合、“Sound Connect”アプリを使ってタッチセンサーへの機能の割り当てを変更できます。

ヒント

- お買い上げ時はR側に音楽再生機能が設定されています。
R側のヘッドセットだけを耳に装着している場合は、R側のタッチセンサーで音楽再生の操作ができます。
L側のヘッドセットだけを耳に装着している場合は、接続機器側で音楽再生の操作をしてください。
- 片側のヘッドセットだけを耳に装着している場合は、左右のチャンネルを合成した音声が聞こえます（Classic Audioで接続しているときのみ）。
- 片側のヘッドセットだけを耳に装着している場合でも通話ができます。着信したら、装着している側のヘッドセットを操作して電話を受けます。片側のヘッドセットで通話中にもう片側のヘッドセットを耳に装着すると、両側のヘッドセットで通話できます。
- デジタル アシスタントは、L側かR側のどちらか一方のヘッドセットに割り当てることができます。デジタル アシスタントを設定した状態で片側のヘッドセットだけをお使いの場合は、デジタル アシスタントを設定した側のヘッドセットをお使いください。
- Tencent Xiaowei/QQ Musicは、L側かR側のどちらか一方のヘッドセットに割り当てることができます。片側のヘッドセットだけをお使いの場合は、Tencent Xiaowei/QQ Musicを設定した側のヘッドセットをお使いください。

関連項目

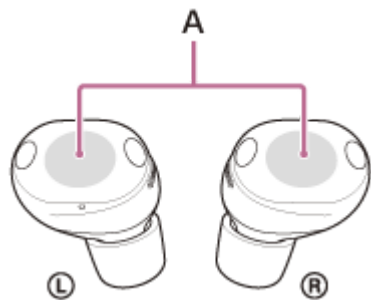
- [“Sound Connect”アプリを使う](#)
- [音楽再生時にできること（Bluetooth接続）](#)
- [通話時にできること](#)

TP1002088726

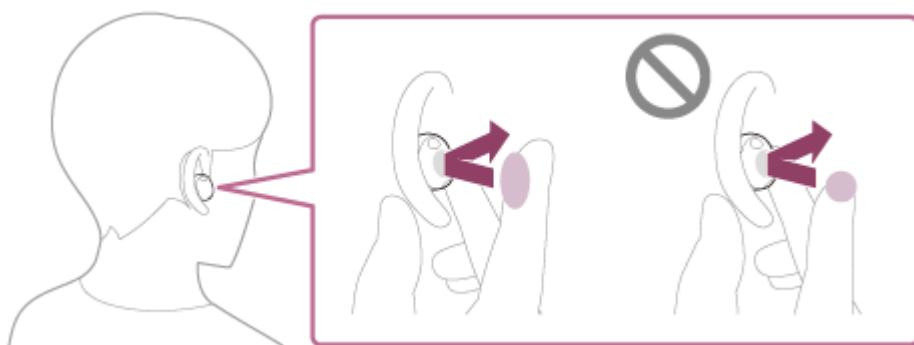
ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM6

タッチセンサーについて

ヘッドセットのタッチセンサー（A）をタップして、再生や通話、ノイズキャンセリング機能の切り替えなど、さまざまな操作ができます。



タッチセンサーをタップするときは、タッチセンサー中央部を人差し指の腹を使ってタップしてください。



主な操作

	L側	R側
タップする	ノイズキャンセリング機能／外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）の切り替え	再生／一時停止
2回タップする	Quick Access（“Sound Connect”アプリでの設定が必要） 受話／終話	次の曲の頭出し 受話／終話
3回タップする	Quick Access（“Sound Connect”アプリでの設定が必要）	前（再生中）の曲の頭出し
4回以上タップする	音量を下げる	音量を上げる
触れたままにする	クイックアテンションモードを使用する	音声アシスト機能（Googleアプリ／Siri）の起動／解除

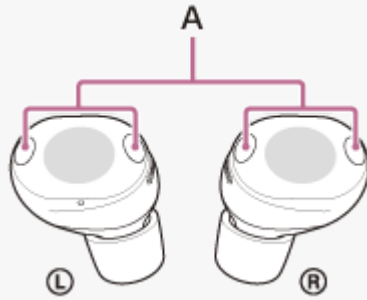
ヒント

- タッチセンサーを複数回タップするときは、約0.3秒の間隔でタップを繰り返します。

- “Sound Connect”アプリを使うと、左右のタッチセンサーへの機能の割り当てを変更できます。たとえば、お買い上げ時はR側のタッチセンサーで可能な再生の操作をL側のタッチセンサーでできるように設定できます。また、音楽再生機能やノイズキャンセリング機能、外音取り込み機能、音楽再生時の音量調節機能などを割り当てない設定もできます。

ご注意

- ヘッドセットを耳に装着しないと、タッチセンサーは操作できません。“Sound Connect”アプリで装着検出による自動電源オフ機能を無効にすると、ヘッドセットを耳に装着していない状態でもタッチセンサーを操作できます。
- スマートフォンでGoogle Geminiの初期設定を行った場合、タッチセンサーへの機能の割り当てが自動的に変更されることがあります。“Sound Connect”アプリ上でタッチセンサーへの機能の割り当てをご確認ください。
- ヘッドセット本体をタップするときは、マイク部分（A）をタップしないでください。マイク部分をタップするとノイズや異音が発生することがあります。



関連項目

- [“Sound Connect”アプリを使う](#)
- [音楽再生時にできること（Bluetooth接続）](#)
- [通話時にできること](#)

TP1002088725

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM6

充電する

ヘッドセットと充電ケースは充電式リチウムイオン電池を内蔵しています。付属のUSB Type-Cケーブルを使って充電してからお使いください。

1 ヘッドセットを充電ケースにセットする。

L側のヘッドセットを充電ケースの左側のくぼみに戻します。R側を右側のくぼみに戻します。L側のヘッドセットには凸点（突起）がついています。充電ケースに内蔵された磁石により、ヘッドセットは充電ケースの正しい位置に収まります。



充電ケースの充電式電池に残量がある場合は、充電ケースのランプがオレンジ色または緑色に約6秒間点灯します。

ヘッドセットの充電が始まります。充電ケースのふたを閉めてください。

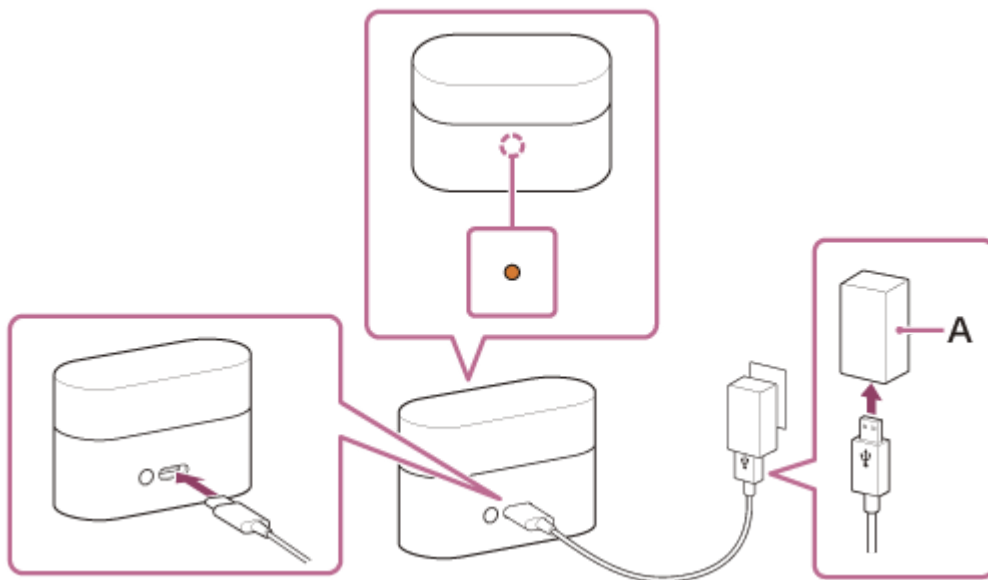


ヘッドセットが浮いていると、充電できない場合があります。

ヘッドセットが充電ケースに正しくセットされているか確認してください。

2 充電ケースを電源コンセントにつなぐ。

付属のUSB Type-Cケーブルと市販のUSB ACアダプター（A）を使用します。



ヘッドセットと充電ケースの充電を開始します。充電ケースのランプがオレンジ色に点灯します。充電が完了すると、充電ケースのランプが消灯します。
USB Type-Cケーブルを外してください。

充電時間について

ヘッドセットと充電ケースの満充電に要する時間は、約2時間*です。

* 充電式電池の残量がない状態から、満充電するのにかかる時間です。充電時間は使用条件により変わる場合があります。

外出先でヘッドセットを充電する

充電ケースには充電式電池が内蔵されています。充電ケースを充電しておくと、外出先などで電源がない場合もヘッドセットを充電できます。

ヘッドセットL側/R側の満充電に要する時間は、約1.5時間です。

USB充電の推奨環境

- **市販のUSB ACアダプター**
出力電流0.5 A（500 mA）以上が供給可能な市販のUSB ACアダプター
- **パソコン**
USB端子が標準装備されたパソコン
 - － すべてのパソコンで動作を保証するものではありません。
 - － 自作パソコンは動作保証対象外です。

ワイヤレス充電

このヘッドセットはQi「チー」規格のワイヤレス充電器に対応しています。Qi規格適合のワイヤレス充電器を使用してください。

充電ケースのふたを開けて、ワイヤレス充電器に充電ケースのSONYロゴを上に向けて置いて充電してください。

充電接触面の位置は、「[各部の名前](#)」をご覧ください。

また、充電する際はワイヤレス充電器に付属されている取扱説明書をご覧ください。

ヒント

- 付属のUSB Type-Cケーブルを使って充電ケースを起動中のパソコンに接続しても充電できます。

ご注意

- USB Type-Cケーブルが付属されている場合は、必ず付属品をご使用ください。

- 充電が終了したらUSB Type-Cケーブルを取り外してください。
- USB ACアダプターの機種によっては、充電できない場合があります。
- パソコンがスタンバイ（スリープ）や休止状態になると充電できなくなります。この場合はパソコンの設定を変更して、充電し直してください。
- 左右のヘッドセットを充電ケースから取り出したとき充電ケースのランプの状態を確認してください。遅いオレンジ色点滅を3回繰り返した場合は、充電ケースの充電式電池の残量が少なくなっています。充電ケースを充電してください。
- 左右のヘッドセットを充電ケースから取り出したときに充電ケースのランプが点灯しない場合は、充電ケースの充電式電池の残量がありません。充電ケースを充電してください。
- 長い間使わなかったときは、充電式電池の持続時間が短くなることがあります。充電と放電を何度か繰り返すと、十分に充電できるようになります。長期にわたって保存する場合は、過放電防止のため、半年に1回程度の充電を行ってください。
- 長い間使わなかったときは、充電時間が長くなる場合があります。
- 充電ケースのふたが開いていると充電ケースの充電式電池を消費しますので、充電時は充電ケースのふたは必ず閉めておいてください。
- ヘッドセットや充電ケースの充電式電池に問題がある場合、充電中に異常を検知すると充電ケースのランプがオレンジ色に点滅します。また、ワイヤレス充電時は、お使いの充電器によって、高温時・低温時に充電速度が遅くなったり、充電が停止したりする場合があります。
周囲の温度が15℃～30℃（華氏59℃～86℃）の範囲で充電することをおすすめします。この範囲を超えると、効率のよい充電ができないことがあります。
それでも問題が解決しない場合は、ソニーの相談窓口、またはお買い上げ店にご相談ください。
- ヘッドセットを長い時間使わなかった後に充電すると、充電ケースのランプがオレンジ色にすぐに点灯しない場合があります。ランプがオレンジ色に点灯するまでしばらくお待ちください。
- 電池の持続時間が極端に短くなった場合は、充電式電池の交換時期です。ソニーの相談窓口、またはお買い上げ店にご相談ください。
- 急激な温度変化や、直射日光、霧、砂、ほこりや電氣的な衝撃を避けてください。また駐車中の車内には、絶対に放置しないでください。
- 充電ケースをパソコンと接続するときは付属のUSB Type-Cケーブルのみを使い、必ず直接つないでください。USBハブなどを經由して接続すると、正しく充電されません。
- 充電ケースを強く振るとカタカタと音がします。これは充電ケース内でヘッドセットが動いている音で故障ではありません。
- 火災、やけど、けが、感電などの原因となりますので、ワイヤレス充電をするときは下記にご注意ください。
 - － ワイヤレス充電器や充電ケースに金属製のもの（金属を含む材質のシールなど）を貼り付けない。
 - － ワイヤレス充電器の上に金属製のもの（金属を含む材質のストラップやクリップなど）を置かない。
 - － ワイヤレス充電中に異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は、安全に注意し、ワイヤレス充電器から充電ケースを取り外す。
- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、ワイヤレス充電器のご使用にあたって医師とよく相談してください。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。
- ICカード、磁気カードや磁気を帯びたものをワイヤレス充電器に近づけないでください。ICカードが故障する恐れがあります。キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。また、強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- ワイヤレス充電時は、充電ケースの置き位置がずれると、充電速度が遅くなったり、充電が停止したりする場合があります。
- お使いのワイヤレス充電器によっては、充電中・充電後しばらくヘッドセットおよび充電ケースが温かくなることがありますが、異常ではありません。
- 次のような場所では、ワイヤレス充電しないでください。
 - － 湿気、ほこり、振動の多い場所、一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- 毛布などを被せた状態でワイヤレス充電器を使用しないでください。
- ワイヤレス充電中にテレビやラジオから雑音が聞こえる場合は、テレビやラジオから離れた場所で充電してください。
- ワイヤレス充電時、周辺に他の無接点充電対応機器がある場合は、30 cm（11.81 インチ）以上離してください。充電ケースが正しく検出されず、充電ができない場合があります。
- ケースカバーを装着するとワイヤレス充電の機能/性能に影響がでる場合があります。その場合はケースカバーを取り外して充電してください。

関連項目

- [ランプ表示](#)
- [充電式電池の残量を確認する](#)

TP1002086884

5-069-561-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM6

使用可能時間

満充電時の使用可能時間は以下のとおりです。

Bluetooth接続

コーデック	ノイズキャンセリング機能／外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）	使用可能時間
LDAC™	ノイズキャンセリング機能：有効	最大5時間
LDAC	外音取り込み機能：有効	最大5時間
LDAC	無効	最大8時間
AAC	ノイズキャンセリング機能：有効	最大8時間
AAC	外音取り込み機能：有効	最大8時間
AAC	無効	最大12時間
SBC	ノイズキャンセリング機能：有効	最大8時間
SBC	外音取り込み機能：有効	最大8時間
SBC	無効	最大12時間
LC3	ノイズキャンセリング機能：有効	最大7時間
LC3	外音取り込み機能：有効	最大7時間
LC3	無効	最大11時間

- 充電5分間で、約1時間の音楽再生が可能です。
- “Sound Connect”アプリで以下の設定を行うと、電池の使用可能時間が上記より短くなります。
 - イコライザー
 - DSEE Extreme™
 - スピーク・トゥ・チャット
 - サービスとの連携
 - 自動外音取り込み

上記の設定を同時に行うと、電池の使用可能時間はさらに短くなります。

連続通話

ノイズキャンセリング機能／外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）	使用可能時間
ノイズキャンセリング機能：有効	最大5時間
外音取り込み機能：有効	最大5時間
無効	最大5.5時間

ヒント

- “Sound Connect”アプリを使用すると、接続しているコーデックが確認できます。

ご注意

- 各種機能の設定や使用条件により、上記と実際の時間が異なる場合があります。
- 充電ケースのふたが開いていると充電ケースの充電式電池を消費しますので、充電時は充電ケースのふたは必ず閉めておいてください。

関連項目

- [“Sound Connect”アプリを使う](#)
- [対応コーデックについて](#)
- [ヘッドセットを耳に装着したまま会話をする（スピーク・トゥ・チャット）](#)

TP1002086883

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM6

充電式電池の残量を確認する

ヘッドセットと充電ケースの充電式電池の残量は、以下の方法で確認できます。

ヘッドセットの充電式電池の残量を確認する

音声ガイダンスの通知で確認する

充電式電池の残量が少なくなると、以下の場合に音声ガイダンスが流れます。

- ヘッドセットを装着したとき
- ヘッドセットを使用しているとき

残量が完全になると警告音がなります。音声ガイダンスが流れて、ヘッドセットの電源が自動的に切れます。

スマートフォンで確認する

- iPhone (iOS 13以降) をお使いの場合
iPhoneとHFP (Hands-free Profile) でBluetooth接続している間は、iPhoneでヘッドセットの充電式電池の残量を確認できます。詳しくは、iPhoneの取扱説明書をご覧ください。
なお、表示される残量は、実際の残量と異なる場合があります。おおよその目安として利用してください。
- Android™搭載スマートフォン (OS 8.1以降) をお使いの場合
Android搭載スマートフォンとHFPでBluetooth接続している場合、スマートフォンでヘッドセットの充電式電池の残量を確認できます。詳しくは、Android搭載スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。
なお、表示される残量は、実際の残量と異なる場合があります。おおよその目安として利用してください。

充電ケースの充電式電池の残量を確認する

両側のヘッドセットを充電ケースから取り出したとき、または充電ケースにヘッドセットが入っていない状態で充電ケースのふたを開閉したときに、充電ケースの充電式電池の残量を確認できます。

- 充電ケースのランプが遅いオレンジ色点滅を3回繰り返す。
充電ケースの充電式電池の残量は約30%～約1%です。この場合、充電ケースでヘッドセットを十分に充電することはできません。
- 充電ケースのランプが点灯しない。
充電ケースの充電式電池の残量は1%未満です。この場合、充電ケースでヘッドセットを充電することはできません。

ヒント

- ヘッドセットの充電式電池の残量は、使いかたによっては、L側とR側で異なる場合があります。
スマートフォン上の充電式電池の残量表示は以下になります。
 - 両側のヘッドセットをお使いのときは、残量が少ない方の残量が表示されます。
 - 片側のヘッドセットだけをお使いのときは、使用している側の残量が表示されます。
- ヘッドセットと充電ケースの充電式電池の残量は“Sound Connect”アプリ上でも確認できます。Android搭載スマートフォン、iPhoneとも対応しています。

ご注意

- スマートフォンとHFPで接続されていないと、充電式電池の残量が正常に表示されません。
- マルチポイント接続でiPhoneまたはAndroid搭載スマートフォンを音楽用 (A2DP) のみの接続にすると、充電式電池の残量が正常に表示されません。

- 長い間使わなかったときや、ソフトウェアアップデートの直後などは、充電式電池の残量が正しく表示されないことがあります。この場合は、充電と放電を何度か繰り返すと正しく表示されます。

関連項目

- [“Sound Connect”アプリを使う](#)
- [ランプ表示](#)

TP1002086882

5-069-561-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM6

ヘッドセットの電源を入れる

充電ケースにセットされているとき

1 ヘッドセットを充電ケースから取り出す。



自動的に電源が入ります。L側とR側のヘッドセットが接続されます。
片側だけを取り出すと、取り出したヘッドセットだけに電源が入ります。

充電ケースにセットされていないとき

ヘッドセットを充電ケースから取り出して耳に装着しない状態が約15分間続くと、自動的に電源が切れます。この場合は、ヘッドセットのタッチセンサーをタップするか、ヘッドセットを耳に装着すると電源が入ります。ヘッドセットを充電ケースに一度セットしてから取り出しても電源が入ります。

“Sound Connect”アプリを使用すると、ヘッドセットの電源が自動的に切れないように設定を変更できます。

電源を入れると

お買い上げ後初めてお使いになるときやヘッドセットを初期化した直後は、電源を入れるとBluetoothペアリングモードになります。

お買い上げ後初めてお使いになるときやヘッドセットを初期化した直後は、ヘッドセットを耳に装着すると、自動的にノイズキャンセリング機能がオンになります。

前回使用時にノイズキャンセリング機能の設定を変更していた場合、その設定が保持されます。

Bluetooth接続されていないときにタッチセンサーをタップすると、ヘッドセットの電源が入っていることを知らせる通知音が鳴ります。

関連項目

- [“Sound Connect”アプリを使う](#)
- [片側のヘッドセットだけを使う](#)
- [ヘッドセットの電源を切る](#)

TP1002086881

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM6

ヘッドセットの電源を切る

1 ヘッドセットを充電ケースにセットする。

L側のヘッドセットを充電ケースの左側のくぼみに戻します。R側を右側のくぼみに戻します。L側のヘッドセットには凸点（突起）がついています。充電ケースに内蔵された磁石により、ヘッドセットは充電ケースの正しい位置に収まります。



充電ケースの充電式電池に残量がある場合は、充電ケースのランプがオレンジ色または緑色に約6秒間点灯します。

ヘッドセットの充電が始まります。充電ケースのふたを閉めてください。



ヘッドセットの電源が切れます。

ヘッドセットを取り出したままにしておく

ヘッドセットを充電ケースから取り出して耳に装着しない状態が約15分間続くと、自動的に電源が切れます。

その前に電源を切るには、ヘッドセットを充電ケースにセットし、ふたを閉めます。

充電ケースのふたが開いていると充電ケースの充電式電池を消費しますので、充電ケースのふたは必ず閉めておいてください。

“Sound Connect”アプリを使用すると、ヘッドセットの電源が自動的に切れないように設定を変更できます。

ヒント

- “Sound Connect”アプリからヘッドセットの電源を切ることもできます。

ご注意

- 充電ケースの充電式電池に十分な残量がない場合は、ヘッドセットの充電が始まりません。充電ケースを充電してください。

- “Sound Connect”アプリを使う
- 充電する
- ヘッドセットの電源を入れる

TP1002086878

5-069-561-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM6

Bluetooth接続するには

Bluetooth機器に搭載されたBluetooth機能を使って音楽や通話をワイヤレスで楽しめます。

ペアリング

Bluetooth機能を使うには、あらかじめ、接続する互いの機器を登録しておく必要があります。この登録のことを「ペアリング」といいます。

ヘッドセットと機器を操作してペアリングを行ってください。

ペアリング済みの機器と接続する

一度ペアリングすれば、再びペアリングする必要はありません。すでにヘッドセットとのペアリングが済んでいる機器それぞれの方法で接続してください。

ヒント

- LE Audio機能を楽しむ場合、ヘッドセットの設定を変更し、ペアリング済みのAndroid搭載スマートフォンとペアリングし直す必要があります。詳しくは、「[Android搭載スマートフォンをLE Audioで接続する](#)」をご覧ください。

関連項目

- [Android搭載スマートフォンをペアリングしてから接続する](#)
- [Android搭載スマートフォンをLE Audioで接続する](#)
- [iPhoneをペアリングしてから接続する](#)
- [パソコンをペアリングしてから接続する（Windows® 11）](#)
- [パソコンをペアリングしてから接続する（Mac）](#)
- [Bluetooth機器をペアリングしてから接続する](#)
- [ペアリング済みのAndroid搭載スマートフォンと接続する](#)
- [ペアリング済みのiPhoneと接続する](#)
- [ペアリング済みのパソコンと接続する（Windows 11）](#)
- [ペアリング済みのパソコンと接続する（Mac）](#)
- [ペアリング済みのBluetooth機器と接続する](#)

TP1002086865

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM6

“Sound Connect”アプリを使って接続する

お使いのAndroid搭載スマートフォン/iPhoneで“Sound Connect”アプリを起動して、ヘッドセットとスマートフォンやiPhoneを接続できます。



Sony Sound Connect 

ヒント

- 2台目以降の機器をペアリングする際は、“Sound Connect”アプリでヘッドセットをペアリングモードにすることができます。

ご注意

- “Sound Connect”アプリを使って接続したときに、一部のスマートフォンやiPhoneで接続が不安定になる場合があります。その場合は「[ペアリング済みのAndroid搭載スマートフォンと接続する](#)」「[ペアリング済みのiPhoneと接続する](#)」の手順に従って接続してください。

関連項目

- [“Sound Connect”アプリを使う](#)
- [Android搭載スマートフォンをペアリングしてから接続する](#)
- [iPhoneをペアリングしてから接続する](#)
- [パソコンをペアリングしてから接続する \(Windows® 11\)](#)
- [パソコンをペアリングしてから接続する \(Mac\)](#)
- [ペアリング済みのAndroid搭載スマートフォンと接続する](#)
- [ペアリング済みのiPhoneと接続する](#)

TP1002086861

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM6

Android搭載スマートフォンをペアリングしてから接続する

接続したい機器を登録しておく操作をペアリングといいます。初めてヘッドセットと組み合わせて使う場合は、最初に機器をペアリングしてください。

操作をはじめる前に、以下を確認してください。

- ヘッドセットとAndroid搭載スマートフォンが1 m（3.2 フィート）以内に置かれている。
- 充電式電池が十分に充電されている。
- 接続するAndroid搭載スマートフォンの取扱説明書を準備する。

1 ヘッドセットの状態を確認する。

以下の場合ヘッドセットは自動的にペアリングモードになります。手順2に進んでください。

- お買い上げ後に初めてペアリングするとき
- ヘッドセットを初期化した後でペアリング情報がないとき

2台目以降のペアリングを行うときなど、ヘッドセットにほかのペアリング情報がある場合は、手順3へ進んでください。

2 充電ケースから両側のヘッドセットを取り出す。



自動的に電源が入ります。

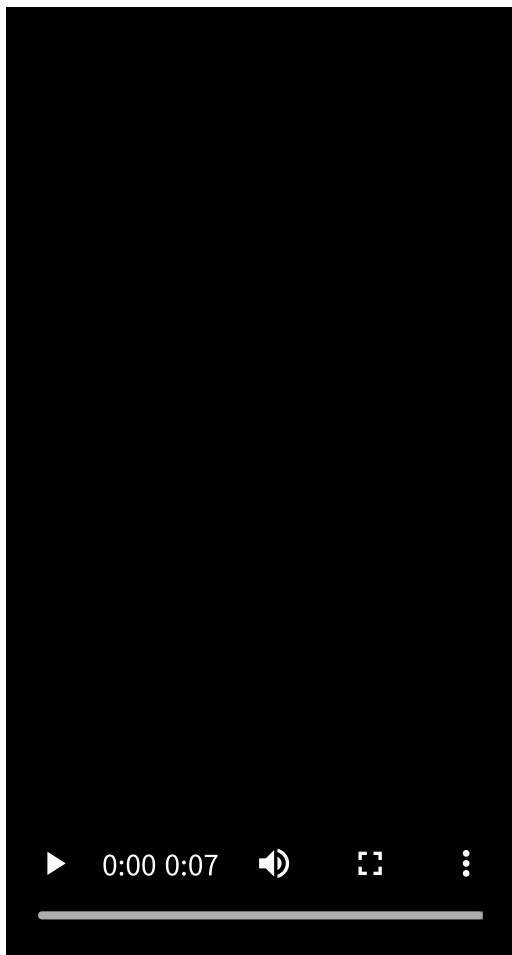
ヘッドセットは自動的にペアリングモードになります。

ヘッドセットを耳に装着しているときは、両側のヘッドセットから通知音が同時に鳴ります。音声ガイダンス「ペアリングモード」が流れます。片側のヘッドセットだけを装着しているときは、装着している側のヘッドセットから通知音と音声ガイダンスが流れます。

手順4へ進んでください。

3 ヘッドセットを充電ケースにセットする。充電ケースのふたを開けたままの状態 で充電ケース背面のペアリングボタンを約5秒以上押したままにする。





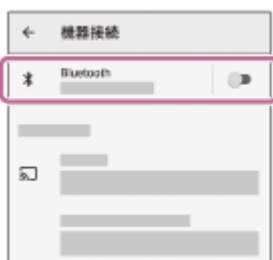
ヒント

- 充電ケースのふたは開けたままにしてください。充電ケースのふたを閉じた状態ではペアリングモードになりません。

充電ケースのランプが青色に2回ずつ点滅し、ヘッドセットがペアリングモードになります。
ペアリングモードになった後は、ヘッドセットを充電ケースから取り出すこともできます。
ヘッドセットを耳に装着しているときは、両側のヘッドセットから通知音が同時に鳴ります。音声ガイダンス「ペアリングモード」が流れます。片側のヘッドセットだけを装着しているときは、装着している側のヘッドセットから通知音と音声ガイダンスが流れます。

4 Android搭載スマートフォンの画面をロックしている場合は、解除する。

5 Android搭載スマートフォンの画面で、次の項目を選ぶ。
[設定] - [機器接続] - [Bluetooth]



6 スイッチボタンをタッチしてBluetooth機能をオンにする。



7 【WF-1000XM6】をタッチする。



パスキー*を要求された場合は「0000」を入力してください。

互いの機器へのペアリングが完了し、ヘッドセットとスマートフォンが接続された状態になります。

ヘッドセットを充電ケースにセットしているときは、充電ケースのランプが青色に10回点滅します。

ヘッドセットを耳に装着しているときは、両側のヘッドセットから接続が完了したことを知らせる通知音が同時に鳴ります。片側のヘッドセットだけを装着しているときは、装着している側のヘッドセットから通知音が鳴ります。

接続されない場合は、「[ペアリング済みのAndroid搭載スマートフォンと接続する](#)」をご覧ください。

Android搭載スマートフォンの画面に【WF-1000XM6】が表示されない場合は、もう一度手順5から操作してください。

* パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

取扱説明動画について

初めてペアリングする手順は、動画でご覧いただけます。音声での説明はありません。

中国本土以外、日本以外の国・地域向けモデル：

https://rd1.sony.net/help/mdr/mov0101/h_zz/

中国本土向けモデル：

<https://rd1.sony.net/help/mdr/mov0101/zh-cn/>

日本向けモデル：

<https://rd1.sony.net/help/mdr/mov0101/ja/>

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのAndroid搭載スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。
- ペアリングしたBluetooth機器の情報をすべて削除するには、「[初期化する](#)」をご覧ください。

ご注意

- 5分以内にペアリングを完了しなかった場合、ヘッドセットのペアリングモードは解除されます。この場合、もう一度手順2または手順3から操作してください。
- 一度Bluetooth機器をペアリングすれば再びペアリングする必要はありませんが、以下の場合はもう一度ペアリングが必要です。
 - 修理を行ったなど、ペアリング情報が削除されてしまったとき
 - 9台目の機器をペアリングしたとき
 ヘッドセットは合計8台までの機器をペアリングすることができます。9台目の機器を新たにペアリングすると、接続日時が最も古いペアリング情報が新たな機器の情報に上書きされます。

- 接続相手のBluetooth機器からヘッドセットとの接続履歴が削除されたとき
- ヘッドセットを初期化したとき
すべてのペアリング情報が削除されます。この場合は、接続相手の機器からヘッドセットのペアリング情報を一度削除して、もう一度ペアリングをしてください。
- ヘッドセットは複数の機器をペアリングできますが、それらを同時に再生することはできません。

関連項目

- [ヘッドセットを装着する](#)
- [片側のヘッドセットだけを使う](#)
- [Bluetooth接続するには](#)
- [ペアリング済みのAndroid搭載スマートフォンと接続する](#)
- [Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)
- [Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）](#)
- [初期化する](#)

TP1002086877

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM6

ペアリング済みのAndroid搭載スマートフォンと接続する

1 Android搭載スマートフォンの画面をロックしている場合は、解除する。

2 ヘッドセットを充電ケースから取り出す。



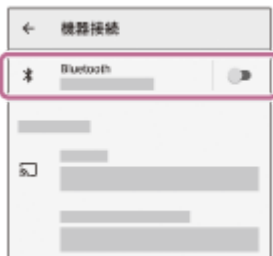
自動的に電源が入ります。

3 ヘッドセットを耳に装着する。

前回接続した機器に自動で接続したときは、ヘッドセットから接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。Android搭載スマートフォンで接続状態を確認してください。接続されていないときは手順4に進んでください。

4 Android搭載スマートフォンの画面で、次の項目を選ぶ。

【設定】 - 【機器接続】 - 【Bluetooth】



5 スイッチボタンをタッチしてBluetooth機能をオンにする。



6 【WF-1000XM6】をタッチする。



ヘッドセットから接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのAndroid搭載スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 接続するとき、接続機器側に [WF-1000XM6] [LE_WF-1000XM6] の両方、あるいはいずれか一方が表示される場合があります。両方が表示される場合は [WF-1000XM6] を選んでください。
- 近くに前回接続していたBluetooth機器があるときは、ヘッドセットの電源を入れただけで自動的にその機器に接続され、別の機器を接続できない場合があります。その場合は、前回接続していた機器のBluetooth機能の接続を解除してください。
- Android搭載スマートフォンと接続できなくなった場合は、Android搭載スマートフォンでヘッドセットのペアリング情報を削除してください。その後、もう一度ペアリングしてください。Android搭載スマートフォンの操作については、Android搭載スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- [ヘッドセットを装着する](#)
- [片側のヘッドセットだけを使う](#)
- [Bluetooth接続するには](#)
- [Android搭載スマートフォンをペアリングしてから接続する](#)
- [Android搭載スマートフォンをLE Audioで接続する](#)
- [Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)
- [Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）](#)

TP1002086876

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM6

Android搭載スマートフォンをLE Audioで接続する

LE Audioで接続すると、Android搭載スマートフォンからの音の遅延を抑えて音楽を楽しめます。
“Sound Connect”アプリで設定します。

LE Audio対応機器

Android搭載スマートフォンがLE Audioに対応している必要があります。
最新の対応機種情報は、サポートホームページをご覧ください。

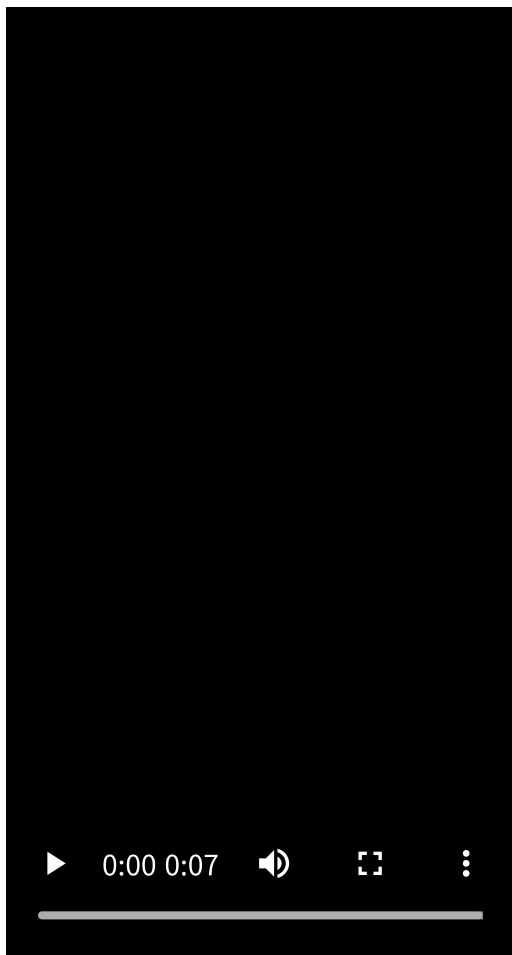
LE Audioについて

- コーデック「LC3」に対応しています。
- LE Audioで接続しているときは、ヘッドセットの一部の機能が使えなくなります。詳しくは「[“Sound Connect”アプリを使う](#)」をご覧ください。

- 1 Android搭載スマートフォンとヘッドセットをBluetooth接続する。
- 2 “Sound Connect”アプリを起動して次の項目を選び、Bluetooth接続方式を従来のClassic Audio接続からLE Audio接続に切り替える。
[Bluetooth 接続品質] - [低遅延]
[Bluetooth 接続品質] が表示されないときは、次の項目を選んでください。
[ヘッドホンのLE Audio接続設定] - [LE Audio優先]
- 3 Android搭載スマートフォン側でヘッドセットのペアリング情報を削除する。
- 4 ヘッドセットを充電ケースにセットする。



- 5 充電ケースのふたを開けたままの状態 で充電ケース背面のペアリングボタンを約5秒以上押したままにする。



ヒント

- 充電ケースのふたは開けたままにしてください。充電ケースのふたを閉じた状態ではペアリングモードになりません。

充電ケースのランプが青色に2回ずつ点滅し、ヘッドセットがペアリングモードになります。ペアリングモードになった後は、ヘッドセットを充電ケースから取り出すこともできます。ヘッドセットを耳に装着しているときは、両側のヘッドセットから通知音が同時に鳴ります。音声ガイダンス「ペアリングモード」が流れます。片側のヘッドセットだけを装着しているときは、装着している側のヘッドセットから通知音と音声ガイダンスが流れます。

6 Android搭載スマートフォンの画面で、次の項目を選び、Bluetooth設定の画面を開く。
【設定】 - 【機器接続】

7 【新しい機器とペア設定する】 を選ぶ。

8 【使用可能なデバイス】 から、【WF-1000XM6】を選ぶ。

互いの機器へのペアリングが完了し、ヘッドセットとスマートフォンが接続された状態になります。ヘッドセットを充電ケースにセットしているときは、充電ケースのランプが青色に10回点滅します。ヘッドセットを耳に装着しているときは、両側のヘッドセットから接続が完了したことを知らせる通知音が同時に鳴ります。片側のヘッドセットだけを装着しているときは、装着している側のヘッドセットから通知音が鳴ります。

9 接続中の【WF-1000XM6】の横に表示されている設定アイコンをタッチする。

10 【LE Audio】 がオンになっているか確認する。

オフになっている場合はスイッチボタンをタッチして【LE Audio】 をオンにしてください。

- 11 “Sound Connect”アプリの画面で、ヘッドセット名の下に「LE Audio」が表示されていることを確認する。

LE Audioを終了するには

“Sound Connect”アプリを起動して次の項目を選んでください。

- Xperia 1 IV／5 IVの場合
[ヘッドホンのLE Audio接続設定] - [Classic Audio専用（従来の接続方式）]
- Xperia 1 IV／5 IV以外の場合
[Bluetooth 接続品質] - [音質優先] / [接続優先]

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのAndroid搭載スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。
- 音が途切れるなど接続が不安定な場合は、[Bluetooth 接続品質] から [接続優先] を選んでください。

関連項目

- [“Sound Connect”アプリを使う](#)
- [“Sound Connect”アプリを使って接続する](#)
- [Android搭載スマートフォンをペアリングしてから接続する](#)
- [初期化する](#)

TP1002095827

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM6

iPhoneをペアリングしてから接続する

接続したい機器を登録しておく操作をペアリングといいます。初めてヘッドセットと組み合わせて使う場合は、最初に機器をペアリングしてください。

操作をはじめる前に、以下を確認してください。

- ヘッドセットとiPhoneが1 m (3.2 フィート) 以内に置かれている。
- 充電式電池が十分に充電されている。
- 接続するiPhoneの取扱説明書を準備する。

1 ヘッドセットの状態を確認する。

以下の場合ヘッドセットは自動的にペアリングモードになります。手順2に進んでください。

- お買い上げ後に初めてペアリングするとき
- ヘッドセットを初期化した後でペアリング情報がないとき

2台目以降のペアリングを行うときなど、ヘッドセットにほかのペアリング情報がある場合は、手順3へ進んでください。

2 充電ケースから両側のヘッドセットを取り出す。



自動的に電源が入ります。

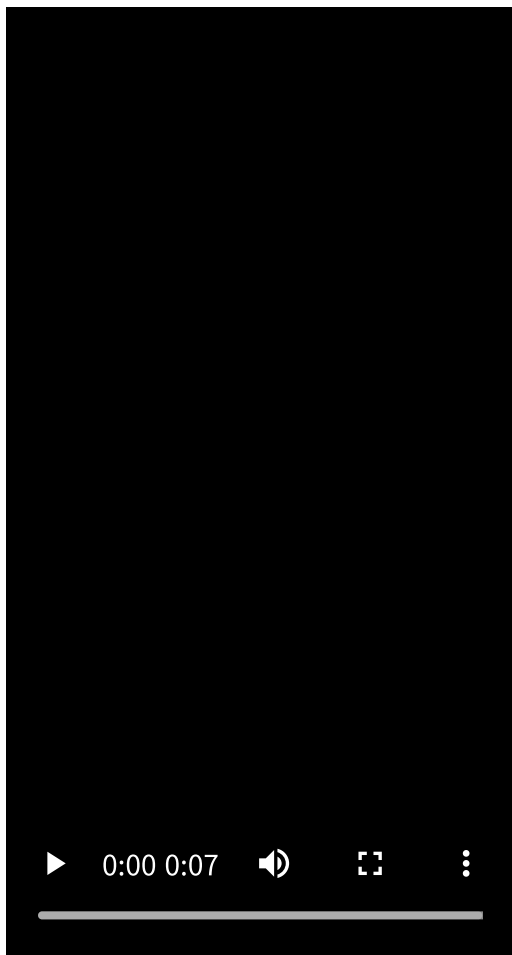
ヘッドセットは自動的にペアリングモードになります。

ヘッドセットを耳に装着しているときは、両側のヘッドセットから通知音が同時に鳴ります。音声ガイダンス「ペアリングモード」が流れます。片側のヘッドセットだけを装着しているときは、装着している側のヘッドセットから通知音と音声ガイダンスが流れます。

手順4へ進んでください。

3 ヘッドセットを充電ケースにセットする。充電ケースのふたを開けたままの状態 で充電ケース背面のペアリングボタンを約5秒以上押したままにする。





ヒント

- 充電ケースのふたは開けたままにしてください。充電ケースのふたを閉じた状態ではペアリングモードになりません。

充電ケースのランプが青色に2回ずつ点滅し、ヘッドセットがペアリングモードになります。ペアリングモードになった後は、ヘッドセットを充電ケースから取り出すこともできます。ヘッドセットを耳に装着しているときは、両側のヘッドセットから通知音が同時に鳴ります。音声ガイダンス「ペアリングモード」が流れます。片側のヘッドセットだけを装着しているときは、装着している側のヘッドセットから通知音と音声ガイダンスが流れます。

- 4 iPhoneの画面をロックしている場合は、解除する。
- 5 iPhoneの画面で、[設定] の [Bluetooth] をタッチする。



- 6 スイッチボタンをタッチしてBluetooth機能をオンにする。



7 [WF-1000XM6] をタッチする。



パスキー*を要求された場合は「0000」を入力してください。

互いの機器へのペアリングが完了し、ヘッドセットとiPhoneが接続された状態になります。

ヘッドセットを充電ケースにセットしているときは、充電ケースのランプが青色に10回点滅します。

ヘッドセットを耳に装着しているときは、両側のヘッドセットから接続が完了したことを知らせる通知音が同時に鳴ります。片側のヘッドセットだけを装着しているときは、装着している側のヘッドセットから通知音が鳴ります。

接続されない場合は、「[ペアリング済みのiPhoneと接続する](#)」をご覧ください。

iPhoneの画面に「WF-1000XM6」が表示されない場合は、もう一度手順5から操作してください。

* パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

取扱説明動画について

初めてペアリングする手順は、動画でご覧いただけます。音声での説明はありません。

中国本土以外、日本以外の国・地域向けモデル：

https://rd1.sony.net/help/mdr/mov0101/h_zz/

中国本土向けモデル：

<https://rd1.sony.net/help/mdr/mov0101/zh-cn/>

日本向けモデル：

<https://rd1.sony.net/help/mdr/mov0101/ja/>

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのiPhoneの取扱説明書をご覧ください。
- ペアリングしたBluetooth機器の情報をすべて削除するには、「[初期化する](#)」をご覧ください。

ご注意

- 5分以内にペアリングを完了しなかった場合、ヘッドセットのペアリングモードは解除されます。この場合、もう一度手順2または手順3から操作してください。
- 一度Bluetooth機器をペアリングすれば再びペアリングする必要はありませんが、以下の場合はもう一度ペアリングが必要です。
 - － 修理を行ったなど、ペアリング情報が削除されてしまったとき
 - － 9台目の機器をペアリングしたとき
ヘッドセットは合計8台までの機器をペアリングすることができます。9台目の機器を新たにペアリングすると、接続日時が最も古いペアリング情報が新たな機器の情報に上書きされます。
 - － 接続相手のBluetooth機器からヘッドセットとの接続履歴が削除されたとき
 - － ヘッドセットを初期化したとき
すべてのペアリング情報が削除されます。この場合は、接続相手の機器からヘッドセットのペアリング情報を一度削除して、

もう一度ペアリングをしてください。

- ヘッドセットは複数の機器をペアリングできますが、それらを同時に再生することはできません。

関連項目

- [ヘッドセットを装着する](#)
- [片側のヘッドセットだけを使う](#)
- [Bluetooth接続するには](#)
- [ペアリング済みのiPhoneと接続する](#)
- [Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)
- [Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）](#)
- [初期化する](#)

TP1002086872

5-069-561-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM6

ペアリング済みのiPhoneと接続する

① iPhoneの画面をロックしている場合は、解除する。

② ヘッドセットを充電ケースから取り出す。



自動的に電源が入ります。

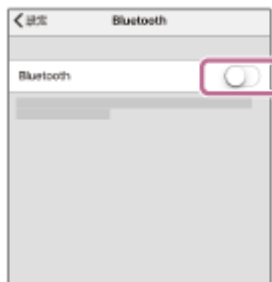
③ ヘッドセットを耳に装着する。

前回接続した機器に自動で接続したときは、ヘッドセットから接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。iPhoneで接続状態を確認してください。接続されていないときは手順4に進んでください。

④ iPhoneの画面で、[設定] の [Bluetooth] をタッチする。



⑤ スイッチボタンをタッチしてBluetooth機能をオンにする。



⑥ [WF-1000XM6] をタッチする。



ヘッドセットから接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのiPhoneの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 接続するとき、接続機器側に [WF-1000XM6] [LE_WF-1000XM6] の両方、あるいはいずれか一方が表示される場合があります。両方が表示される場合は [WF-1000XM6] を選んでください。
- 近くに前回接続していたBluetooth機器があるときは、ヘッドセットの電源を入れただけで自動的にその機器に接続され、別の機器を接続できない場合があります。その場合は、前回接続していた機器のBluetooth機能の接続を解除してください。
- iPhoneと接続できなくなった場合は、iPhoneでヘッドセットのペアリング情報を削除してください。その後、もう一度ペアリングしてください。iPhoneの操作については、iPhoneの取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- [ヘッドセットを装着する](#)
- [片側のヘッドセットだけを使う](#)
- [Bluetooth接続するには](#)
- [iPhoneをペアリングしてから接続する](#)
- [Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)
- [Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）](#)

TP1002086871

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM6

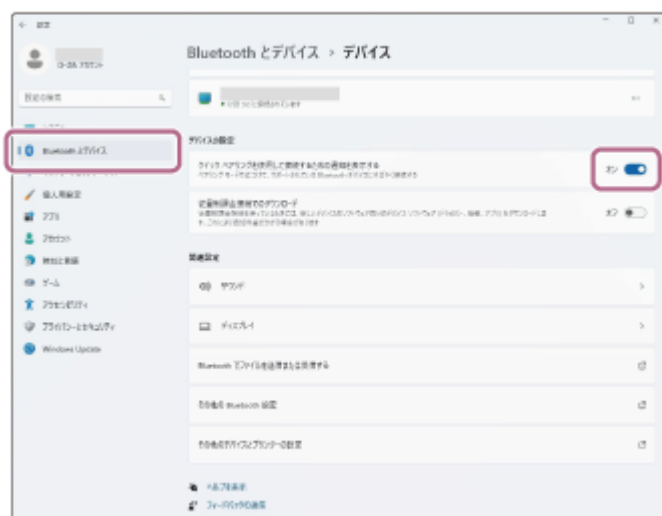
パソコンをペアリングしてから接続する (Windows® 11)

接続したい機器を登録しておく操作をペアリングといいます。初めてヘッドセットと組み合わせて使う場合は、最初に機器をペアリングしてください。

操作をはじめる前に、以下を確認してください。

- パソコンに音楽再生の接続 (A2DP) 対応のBluetooth機能が搭載されている。
- ヘッドセットとパソコンが1 m (3.2 フィート) 以内に置かれている。
- 充電式電池が十分に充電されている。
- 接続するパソコンの取扱説明書を準備する。
- お使いのパソコンによっては、内蔵のBluetoothアダプターをオンにする必要があります。以下の場合は、パソコンに付属の取扱説明書をご覧ください。
 - Bluetoothアダプターをオンにする方法がわからない。
 - お使いのパソコンにBluetoothアダプターが内蔵されているかを知りたい。
- クイックペアリング機能を使用する場合は、以下の順にクリックして、クイックペアリング機能をオンにしてください。

[スタート] ボタン - [設定] - [Bluetoothとデバイス] - [デバイス] - [クイック ペアリングを使用して接続するための通知を表示する]



1 ヘッドセットの状態を確認する。

以下の場合はヘッドセットは自動的にペアリングモードになります。手順2に進んでください。

- お買い上げ後に初めてペアリングするとき
- ヘッドセットを初期化した後でペアリング情報がないとき

2台目以降のペアリングを行うときなど、ヘッドセットにほかのペアリング情報がある場合は、手順3へ進んでください。

2 充電ケースから両側のヘッドセットを取り出す。



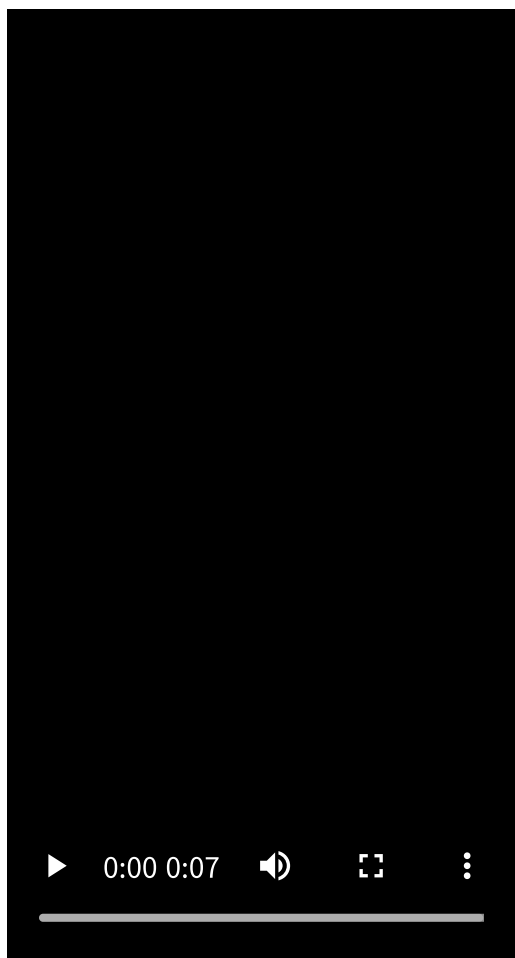
自動的に電源が入ります。

ヘッドセットは自動的にペアリングモードになります。

ヘッドセットを耳に装着しているときは、両側のヘッドセットから通知音が同時に鳴ります。音声ガイダンス「ペアリングモード」が流れます。片側のヘッドセットだけを装着しているときは、装着している側のヘッドセットから通知音と音声ガイダンスが流れます。

手順4へ進んでください。

- 3** ヘッドセットを充電ケースにセットする。充電ケースのふたを開けたままの状態ですべてのヘッドセットを充電ケース背面のペアリングボタンを約5秒以上押したままにする。



ヒント

- 充電ケースのふたは開けたままにしてください。充電ケースのふたを閉じた状態ではペアリングモードになりません。

充電ケースのランプが青色に2回ずつ点滅し、ヘッドセットがペアリングモードになります。
ペアリングモードになった後は、ヘッドセットを充電ケースから取り出すこともできます。
ヘッドセットを耳に装着しているときは、両側のヘッドセットから通知音が同時に鳴ります。音声ガイダンス「ペアリングモード」が流れます。片側のヘッドセットだけを装着しているときは、装着している側のヘッドセットから通知音と音声ガイダンスが流れます。

4 パソコンがスタンバイ（スリープ）や休止状態になっている場合は、解除する。

クイックペアリング機能を使用する場合は、手順5に進んでください。
クイックペアリング機能を使用せずに接続する場合は、手順6に進んでください。

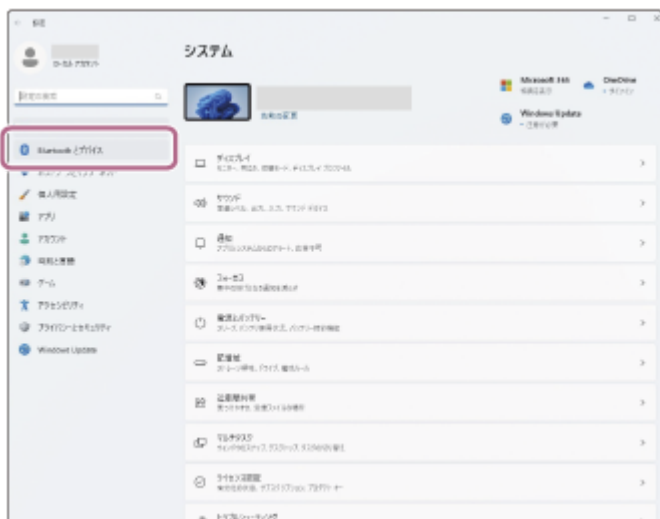
5 パソコンの画面にポップアップメニューが表示されるので、【接続】を選ぶ。



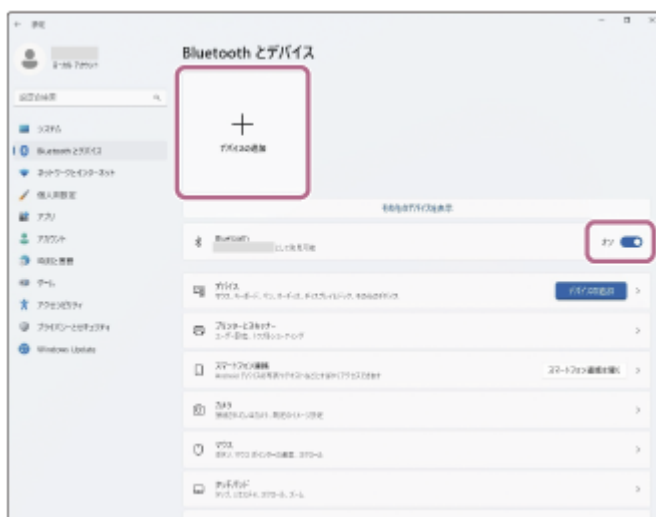
互いの機器へのペアリングが完了し、ヘッドセットとパソコンが接続された状態になります。
ヘッドセットを耳に装着しているときは、両側のヘッドセットから接続が完了したことを知らせる通知音が同時に鳴ります。片側のヘッドセットだけを装着しているときは、装着している側のヘッドセットから通知音が鳴ります。

6 パソコンの画面で、【スタート】ボタン－【設定】の順にクリックする。

7 【Bluetoothとデバイス】をクリックする。



8 【Bluetooth】スイッチをクリックしてBluetooth機能をオンにする。【デバイスの追加】をクリックする。



9 [Bluetooth] をクリックする。



10 [WF-1000XM6] をクリックする。



パスキー*を要求された場合は「0000」を入力してください。

互いの機器へのペアリングが完了し、ヘッドセットとパソコンが接続された状態になります。

ヘッドセットを充電ケースにセットしているときは、充電ケースのランプが青色に10回点滅します。

ヘッドセットを耳に装着しているときは、両側のヘッドセットから接続が完了したことを知らせる通知音が同時に鳴ります。片側のヘッドセットだけを装着しているときは、装着している側のヘッドセットから通知音が鳴りま

す。

接続されない場合は、「[ペアリング済みのパソコンと接続する（Windows 11）](#)」をご覧ください。
パソコンの画面に「WF-1000XM6」が表示されない場合は、もう一度手順6から操作してください。

* パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- ペアリングしたBluetooth機器の情報をすべて削除するには、「[初期化する](#)」をご覧ください。

ご注意

- 5分以内にペアリングを完了しなかった場合、ヘッドセットのペアリングモードは解除されます。この場合、もう一度手順2または手順3から操作してください。
- 一度Bluetooth機器をペアリングすれば再びペアリングする必要はありませんが、以下の場合にはもう一度ペアリングが必要です。
 - 修理を行ったなど、ペアリング情報が削除されてしまったとき
 - 9台目の機器をペアリングしたとき
ヘッドセットは合計8台までの機器をペアリングすることができます。9台目の機器を新たにペアリングすると、接続日時が最も古いペアリング情報が新たな機器の情報に上書きされます。
 - 接続相手のBluetooth機器からヘッドセットとの接続履歴が削除されたとき
 - ヘッドセットを初期化したとき
すべてのペアリング情報が削除されます。この場合は、接続相手の機器からヘッドセットのペアリング情報を一度削除して、もう一度ペアリングをしてください。
- ヘッドセットは複数の機器をペアリングできますが、それらを同時に再生することはできません。
- LE Audioでペアリングする場合、お使いのパソコンのLE Audio設定をオンにしてください。

関連項目

- [ヘッドセットを装着する](#)
- [片側のヘッドセットだけを使う](#)
- [Bluetooth接続をするには](#)
- [ペアリング済みのパソコンと接続する（Windows 11）](#)
- [Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)
- [Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）](#)
- [初期化する](#)

TP1002095505

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM6

パソコンをペアリングしてから接続する (Mac)

接続したい機器を登録しておく操作をペアリングといいます。初めてヘッドセットと組み合わせて使う場合は、最初に機器をペアリングしてください。

対応OS

macOS (バージョン12以降)

操作をはじめる前に、以下を確認してください。

- パソコンに音楽再生の接続 (A2DP) 対応のBluetooth機能が搭載されている。
- ヘッドセットとパソコンが1 m (3.2 フィート) 以内に置かれている。
- 充電式電池が十分に充電されている。
- 接続するパソコンの取扱説明書を準備する。
- お使いのパソコンによっては、内蔵のBluetoothアダプターをオンにする必要があります。以下の場合は、パソコンに付属の取扱説明書をご覧ください。
 - Bluetoothアダプターをオンにする方法がわからない。
 - お使いのパソコンにBluetoothアダプターが内蔵されているかを知りたい。
- パソコンのスピーカーをオンに設定する。
パソコンのスピーカーがオフになっていると、ヘッドセットからも音が出ません。
🔊 : スピーカーオフアイコン
パソコンのスピーカーがオンになっている状態のアイコンは以下です。



1 ヘッドセットの状態を確認する。

以下の場合はヘッドセットは自動的にペアリングモードになります。手順2に進んでください。

- お買い上げ後に初めてペアリングするとき
- ヘッドセットを初期化した後でペアリング情報がないとき

2台目以降のペアリングを行うときなど、ヘッドセットにほかのペアリング情報がある場合は、手順3へ進んでください。

2 充電ケースから両側のヘッドセットを取り出す。



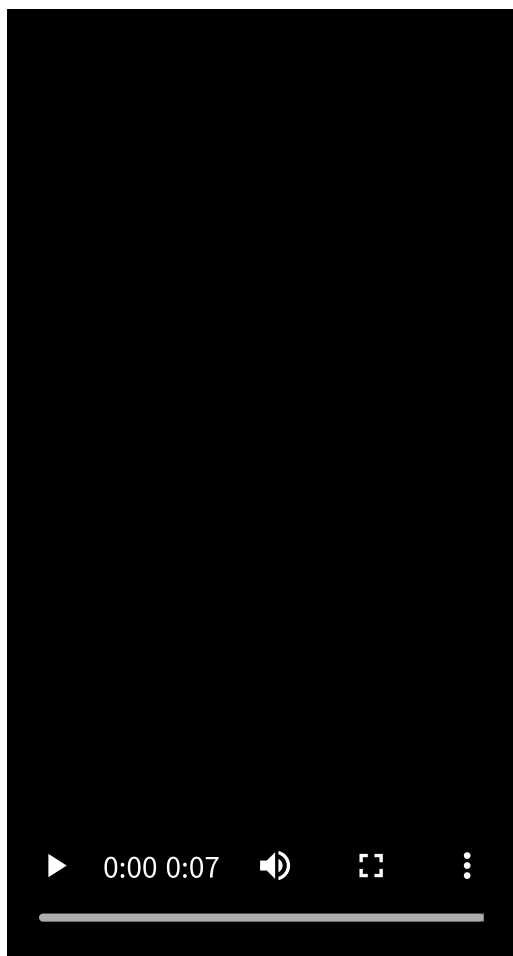
自動的に電源が入ります。

ヘッドセットは自動的にペアリングモードになります。

ヘッドセットを耳に装着しているときは、両側のヘッドセットから通知音が同時に鳴ります。音声ガイダンス「ペアリングモード」が流れます。片側のヘッドセットだけを装着しているときは、装着している側のヘッドセットから通知音と音声ガイダンスが流れます。

手順4へ進んでください。

- 3 ヘッドセットを充電ケースにセットする。充電ケースのふたを開けたままの状態では充電ケース背面のペアリングボタンを約5秒以上押したままにする。



ヒント

- 充電ケースのふたは開けたままにしてください。充電ケースのふたを閉じた状態ではペアリングモードになりません。

充電ケースのランプが青色に2回ずつ点滅し、ヘッドセットがペアリングモードになります。
ペアリングモードになった後は、ヘッドセットを充電ケースから取り出すこともできます。
ヘッドセットを耳に装着しているときは、両側のヘッドセットから通知音が同時に鳴ります。音声ガイダンス「ペアリングモード」が流れます。片側のヘッドセットだけを装着しているときは、装着している側のヘッドセットから通知音と音声ガイダンスが流れます。

- 4 パソコンがスタンバイ（スリープ）や休止状態になっている場合は、解除する。

- 5 パソコンの画面下のDockで、以下の順に選ぶ。
[システム環境設定] - [Bluetooth]

 : システム環境設定アイコン



6 [Bluetooth] 画面で [WF-1000XM6] を選び、[接続] をクリックする。



パスキー*を要求された場合は「0000」を入力してください。

互いの機器へのペアリングが完了し、ヘッドセットとパソコンが接続された状態になります。

ヘッドセットを充電ケースにセットしているときは、充電ケースのランプが青色に10回点滅します。

ヘッドセットを耳に装着しているときは、両側のヘッドセットから接続が完了したことを知らせる通知音が同時に鳴ります。片側のヘッドセットだけを装着しているときは、装着している側のヘッドセットから通知音が鳴ります。

接続されない場合は、「[ペアリング済みのパソコンと接続する \(Mac\)](#)」をご覧ください。

パソコンの画面に [WF-1000XM6] が表示されない場合は、もう一度手順5から操作してください。

* パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- ペアリングしたBluetooth機器の情報をすべて削除するには、「[初期化する](#)」をご覧ください。

ご注意

- 5分以内にペアリングを完了しなかった場合、ヘッドセットのペアリングモードは解除されます。この場合、もう一度手順2または手順3から操作してください。
- 一度Bluetooth機器をペアリングすれば再びペアリングする必要はありませんが、以下の場合はもう一度ペアリングが必要です。
 - 修理を行ったなど、ペアリング情報が削除されてしまったとき
 - 9台目の機器をペアリングしたとき
ヘッドセットは合計8台までの機器をペアリングすることができます。9台目の機器を新たにペアリングすると、接続日時が最も古いペアリング情報が新たな機器の情報に上書きされます。
 - 接続相手のBluetooth機器からヘッドセットとの接続履歴が削除されたとき

＝ヘッドセットを初期化したとき

すべてのペアリング情報が削除されます。この場合は、接続相手の機器からヘッドセットのペアリング情報を一度削除して、もう一度ペアリングをしてください。

- ヘッドセットは複数の機器をペアリングできますが、それらを同時に再生することはできません。

関連項目

- [ヘッドセットを装着する](#)
- [片側のヘッドセットだけを使う](#)
- [Bluetooth接続をするには](#)
- [ペアリング済みのパソコンと接続する（Mac）](#)
- [Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)
- [Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）](#)
- [初期化する](#)

TP1002089870

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM6

ペアリング済みのパソコンと接続する (Windows 11)

操作をはじめる前に、以下を確認してください。

- お使いのパソコンによっては、内蔵のBluetoothアダプターをオンにする必要があります。以下の場合は、パソコンに付属の取扱説明書をご覧ください。
 - Bluetoothアダプターをオンにする方法がわからない。
 - お使いのパソコンにBluetoothアダプターが内蔵されているかを知りたい。

① パソコンがスタンバイ（スリープ）や休止状態になっている場合は、解除する。

② ヘッドセットを充電ケースから取り出す。

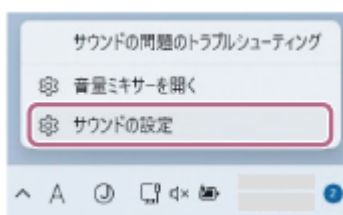


自動的に電源が入ります。

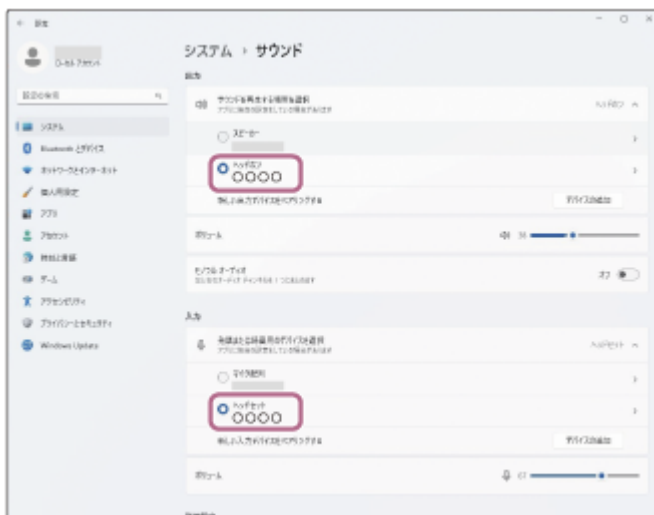
③ ヘッドセットを耳に装着する。

前回接続した機器に自動で接続したときは、ヘッドセットから接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。パソコンで接続状態を確認してください。接続されていないときは手順4に進んでください。

④ パソコンの画面で、ツールバーのスピーカーアイコンを右クリックして【サウンドの設定】を選ぶ。

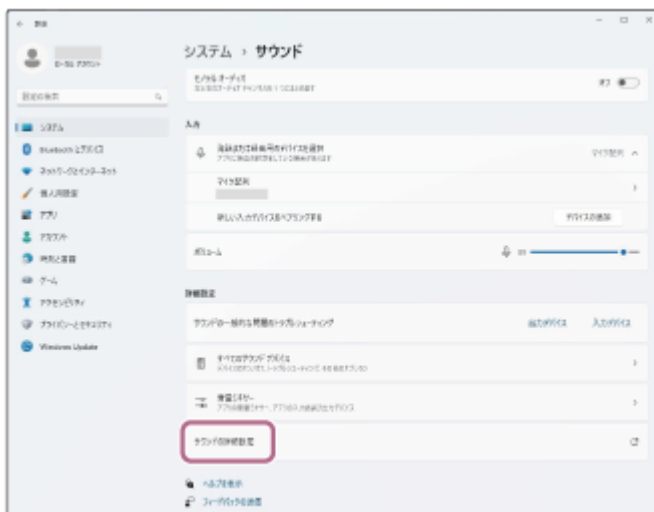


⑤ 【サウンド】画面の【出力】および【入力】で【WF-1000XM6】を選ぶ。

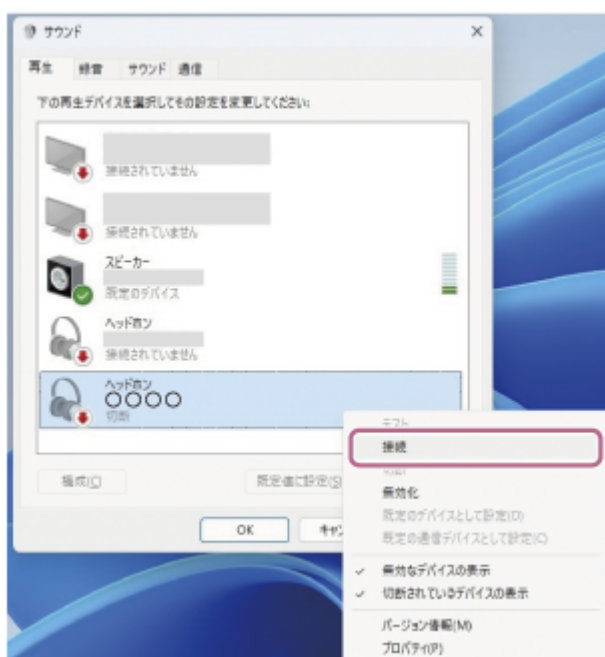


【出力】 および 【入力】 に 【WF-1000XM6】 が表示されていないときは手順6に進んでください。

6 【サウンドの詳細設定】 をクリックする。

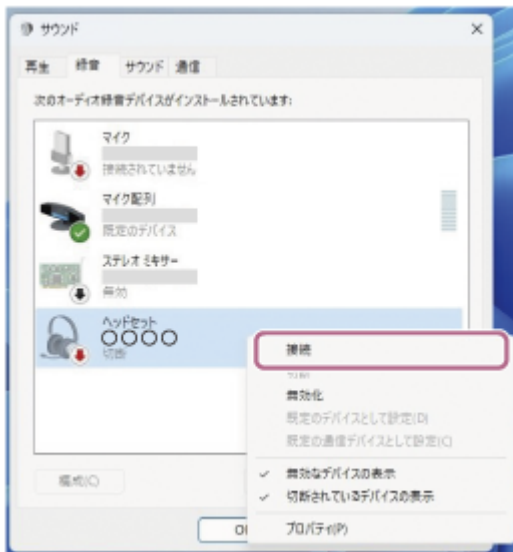


7 【サウンド】 画面の【再生】 タブで【WF-1000XM6】を選んで右クリックする。表示されたメニューから【接続】を選ぶ。



ヘッドセットから接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。

- 8 【録音】タブで【WF-1000XM6】を選んで右クリックし、表示されたメニューから【接続】を選ぶ。



ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 音楽再生時の音質がよいくない場合は、パソコンの設定で音楽再生の接続（A2DP）が有効になっていることを確認してください。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- 近くに前回接続していたBluetooth機器があるときは、ヘッドセットの電源を入れただけで自動的にその機器に接続され、別の機器を接続できない場合があります。
その場合は、前回接続していた機器のBluetooth機能の接続を解除してください。
- パソコンと接続できなくなった場合は、パソコンでヘッドセットのペアリング情報を削除してください。その後、もう一度ペアリングしてください。パソコンの操作については、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- [ヘッドセットを装着する](#)
- [片側のヘッドセットだけを使う](#)
- [Bluetooth接続をするには](#)
- [パソコンをペアリングしてから接続する（Windows® 11）](#)
- [Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)
- [Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）](#)
- [パソコンでビデオ通話する](#)

TP1002095504

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM6

ペアリング済みのパソコンと接続する (Mac)

対応OS

macOS (バージョン12以降)

操作をはじめる前に、以下を確認してください。

- お使いのパソコンによっては、内蔵のBluetoothアダプターをオンにする必要があります。以下の場合は、パソコンに付属の取扱説明書をご覧ください。
 - Bluetoothアダプターをオンにする方法がわからない。
 - お使いのパソコンにBluetoothアダプターが内蔵されているかを知りたい。
- パソコンのスピーカーをオンに設定する。
パソコンのスピーカーがオフになっていると、ヘッドセットからも音が出ません。
🔊 : スピーカーオフアイコン
パソコンのスピーカーがオンになっている状態のアイコンは以下です。



① パソコンがスタンバイ (スリープ) や休止状態になっている場合は、解除する。

② ヘッドセットを充電ケースから取り出す。



自動的に電源が入ります。

③ ヘッドセットを耳に装着する。

前回接続した機器に自動で接続したときは、ヘッドセットから接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。パソコンで接続状態を確認してください。接続されていないときは手順4に進んでください。

④ パソコンの画面下のDockで、以下の順に選ぶ。

【システム環境設定】 – 【Bluetooth】

⚙️ : システム環境設定アイコン



- 5 【Bluetooth】画面で、パソコンのControlボタンを押しながら【WF-1000XM6】をクリックし、ポップアップメニューから【接続】を選ぶ。



ヘッドセットから接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 音楽再生時の音質がよくない場合は、パソコンの設定で音楽再生の接続（A2DP）が有効になっていることを確認してください。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- 近くに前回接続していたBluetooth機器があるときは、ヘッドセットの電源を入ただけで自動的にその機器に接続され、別の機器を接続できない場合があります。
その場合は、前回接続していた機器のBluetooth機能の接続を解除してください。
- パソコンと接続できなくなった場合は、パソコンでヘッドセットのペアリング情報を削除してください。その後、もう一度ペアリングしてください。パソコンの操作については、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- ヘッドセットを装着する
- 片側のヘッドセットだけを使う
- Bluetooth接続をするには
- パソコンをペアリングしてから接続する（Mac）
- Bluetooth接続した機器の音楽を聞く

- Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）
- パソコンでビデオ通話する

TP1002089866

5-069-561-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM6

Bluetooth機器をペアリングしてから接続する

接続したい機器を登録しておく操作をペアリングといいます。初めてヘッドセットと組み合わせて使う場合は、最初に機器をペアリングしてください。

操作をはじめる前に、以下を確認してください。

- ヘッドセットとBluetooth機器が1 m (3.2 フィート) 以内に置かれている。
- 充電式電池が十分に充電されている。
- 接続するBluetooth機器の取扱説明書を準備する。

1 ヘッドセットの状態を確認する。

以下の場合ヘッドセットは自動的にペアリングモードになります。手順2に進んでください。

- お買い上げ後に初めてペアリングするとき
- ヘッドセットを初期化した後でペアリング情報がないとき

2台目以降のペアリングを行うときなど、ヘッドセットにほかのペアリング情報がある場合は、手順3へ進んでください。

2 充電ケースから両側のヘッドセットを取り出す。



自動的に電源が入ります。

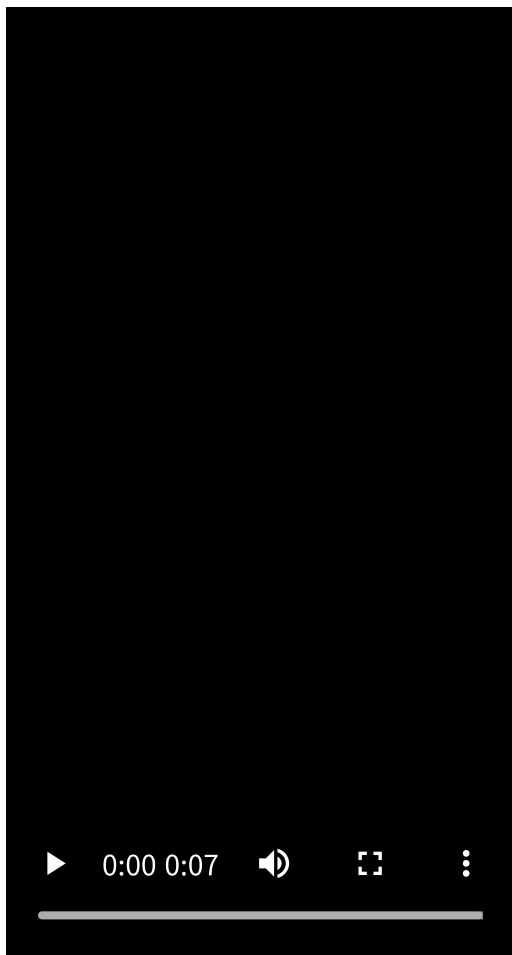
ヘッドセットは自動的にペアリングモードになります。

ヘッドセットを耳に装着しているときは、両側のヘッドセットから通知音が同時に鳴ります。音声ガイダンス「ペアリングモード」が流れます。片側のヘッドセットだけを装着しているときは、装着している側のヘッドセットから通知音と音声ガイダンスが流れます。

手順4へ進んでください。

3 ヘッドセットを充電ケースにセットする。充電ケースのふたを開けたままの状態 で充電ケース背面のペアリングボタンを約5秒以上押したままにする。





ヒント

- 充電ケースのふたは開けたままにしてください。充電ケースのふたを閉じた状態ではペアリングモードになりません。

充電ケースのランプが青色に2回ずつ点滅し、ヘッドセットがペアリングモードになります。ペアリングモードになった後は、ヘッドセットを充電ケースから取り出すこともできます。ヘッドセットを耳に装着しているときは、両側のヘッドセットから通知音が同時に鳴ります。音声ガイダンス「ペアリングモード」が流れます。片側のヘッドセットだけを装着しているときは、装着している側のヘッドセットから通知音と音声ガイダンスが流れます。

4 Bluetooth機器でペアリング操作を行い、ヘッドセットを検索する。

Bluetooth機器の画面の検出機器一覧に「WF-1000XM6」と表示されます。
「WF-1000XM6」が表示されない場合は、もう一度手順2または手順3から操作してください。

5 Bluetooth機器の画面に表示されている「WF-1000XM6」を選び、互いの機器をペアリングする。

パスキー^{*}を要求された場合は「0000」を入力してください。

^{*} パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

6 Bluetooth機器を操作してBluetooth接続する。

ヘッドセットとBluetooth機器が接続された状態になります。
ペアリングが完了すると自動的にヘッドセットと接続される機器もあります。
ヘッドセットを充電ケースにセットしているときは、充電ケースのランプが青色に10回点滅します。
ヘッドセットを耳に装着しているときは、両側のヘッドセットから接続が完了したことを知らせる通知音が同時に鳴ります。片側のヘッドセットだけを装着しているときは、装着している側のヘッドセットから通知音が鳴ります。

接続されない場合は、「[ペアリング済みのBluetooth機器と接続する](#)」をご覧ください。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。
- ペアリングしたBluetooth機器の情報をすべて削除するには、「[初期化する](#)」をご覧ください。

ご注意

- 5分以内にペアリングを完了しなかった場合、ヘッドセットのペアリングモードは解除されます。この場合、もう一度手順2または手順3から操作してください。
- 一度Bluetooth機器をペアリングすれば再びペアリングする必要はありませんが、以下の場合にはもう一度ペアリングが必要です。
 - － 修理を行ったなど、ペアリング情報が削除されてしまったとき
 - － 9台目の機器をペアリングしたとき
ヘッドセットは合計8台までの機器をペアリングすることができます。9台目の機器を新たにペアリングすると、接続日時が最も古いペアリング情報が新たな機器の情報に上書きされます。
 - － 接続相手のBluetooth機器からヘッドセットとの接続履歴が削除されたとき
 - － ヘッドセットを初期化したとき
すべてのペアリング情報が削除されます。この場合は、接続相手の機器からヘッドセットのペアリング情報を一度削除して、もう一度ペアリングをしてください。
- ヘッドセットは複数の機器をペアリングできますが、それらを同時に再生することはできません。

関連項目

- [ヘッドセットを装着する](#)
- [片側のヘッドセットだけを使う](#)
- [Bluetooth接続をするには](#)
- [ペアリング済みのBluetooth機器と接続する](#)
- [Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)
- [Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）](#)
- [初期化する](#)

TP1002089865

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM6

ペアリング済みのBluetooth機器と接続する

1 ヘッドセットを充電ケースから取り出す。



自動的に電源が入ります。

2 ヘッドセットを耳に装着する。

前回接続した機器に自動で接続したときは、ヘッドセットから接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。Bluetooth機器で接続状態を確認してください。接続されていないときは手順3に進んでください。

3 Bluetooth機器を操作してBluetooth接続する。

Bluetooth機器の操作については、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。
ヘッドセットから接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。

ご注意

- 接続するとき、接続機器側に [WF-1000XM6] [LE_WF-1000XM6] の両方、あるいはいずれか一方が表示される場合があります。両方が表示される場合は [WF-1000XM6] を選んでください。
- 近くに前回接続していたBluetooth機器があるときは、ヘッドセットの電源を入れただけで自動的にその機器に接続され、別の機器を接続できない場合があります。
その場合は、前回接続していた機器のBluetooth機能の接続を解除してください。
- Bluetooth機器と接続できなくなった場合は、Bluetooth機器でヘッドセットのペアリング情報を削除してください。その後、もう一度ペアリングしてください。Bluetooth機器の操作については、Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

関連項目

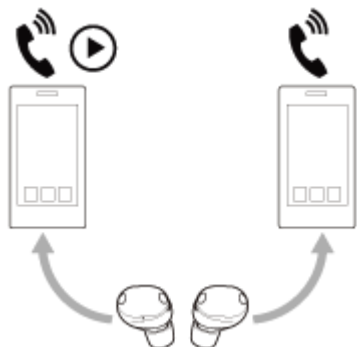
- [ヘッドセットを装着する](#)
- [片側のヘッドセットだけを使う](#)
- [Bluetooth接続するには](#)
- [Bluetooth機器をペアリングしてから接続する](#)
- [Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)
- [Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM6

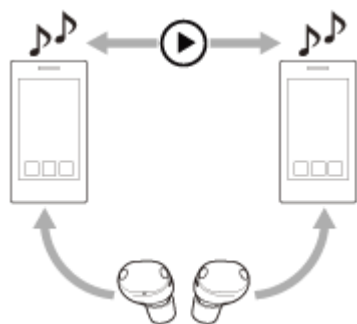
2台の機器と同時に接続する（マルチポイント接続）

ヘッドセットに2台の機器を同時にBluetooth接続して、以下のようなことができます。

- 2台のスマートフォンの着信を待ち受ける
ヘッドセットで一方のスマートフォンで再生した音楽を聞き、両方のスマートフォンの着信を待ち受けし、着信があれば通話できます。



- 2台の機器の音楽再生を切り替える
一方の機器からの音楽再生を、Bluetooth接続をし直すことなく、もう一方の機器からの再生に切り替えることができます。



2台の機器を同時にBluetooth接続する

- 1 ヘッドセットと2台の機器を、それぞれペアリングする。
- 2 1台目の機器を操作して、ヘッドセットとBluetooth接続する。
- 3 2台目の機器を操作して、ヘッドセットとBluetooth接続する。

2台の機器をBluetooth接続した状態で、ペアリング済みの3台目の機器を操作してヘッドセットとBluetooth接続しようとする次のことがおきます。

最後に音楽再生していた機器とはBluetooth接続が維持されます。

もう一方の機器とのBluetooth接続が切断されます。

その後、3台目の機器がヘッドセットとBluetooth接続されます。

2台の機器をBluetooth接続した状態での音楽再生

- ヘッドセットを操作して音楽を再生する場合、最後に再生していた機器からの音楽再生になります。

- 1台目の機器で音楽を再生している状態で、2台目の機器を操作して再生を始めると、ヘッドセットから2台目の機器の音楽を聞くことができます。

2台の機器をBluetooth接続した状態での通話

- ヘッドセットに2台のスマートフォンを同時にBluetooth接続すると、2台とも着信待ち受け状態になります。
- 1台目の機器に着信があると、着信音はヘッドセットから聞こえます。
ヘッドセットで通話をしているときに2台目の機器に着信があると、着信音が1台目の通話に重なって聞こえます。
この時、ヘッドセットを操作して2台目の電話を受けるか着信を拒否することができますが、1台目の通話を終了することはできません。
1台目の通話を終了したい場合は、接続機器側での操作が必要です。
1台目の通話を終了せずに2台目の電話を受けると、1台目の通話は無音で継続し、2台目の通話が終了すると1台目の通話に戻ります。

ご注意

- お客様の意図と異なるタイミングで接続機器が切り替わってしまう場合は、スマートフォンの通知音や操作音をオフ、もしくは音量を下げると、接続機器の切り替えが防げる場合があります。
- “Sound Connect”アプリを使用すると、先に再生していた機器の音楽再生を継続する設定ができます。

関連項目

- [“Sound Connect”アプリを使う](#)
- [Bluetooth接続するには](#)
- [Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)
- [音楽再生時にできること（Bluetooth接続）](#)
- [電話を受ける](#)
- [通話時にできること](#)

TP1002095823

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM6

“音声の切り替え”で複数機器間の音声を切り替える

“音声の切り替え”とは、Android搭載デバイス間で音声を切り替えるGoogleの機能です。

“音声の切り替え”に対応しているヘッドセットは、複数のデバイスに接続できます。“音声の切り替え”をオンにした状態で各デバイスでヘッドセットを使用すると、ヘッドセットの音声が無縫に切り替わります。音声切り替わりと同時に、切り替え先のデバイスから通知されます。

対応するスマートフォン

Android 8.0以降

“音声の切り替え”について詳しくは、下記URLをご覧ください。

https://support.google.com/android/?p=switch_audio

機能の利用には、Google Fast Pairによる接続が必要です。

Google Fast Pairについて詳しくは、下記URLをご覧ください。

<https://support.google.com/android/answer/9417604>

ご注意

- “音声の切り替え”の仕様は予告なく変更になる場合があります。

TP1002095822

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM6

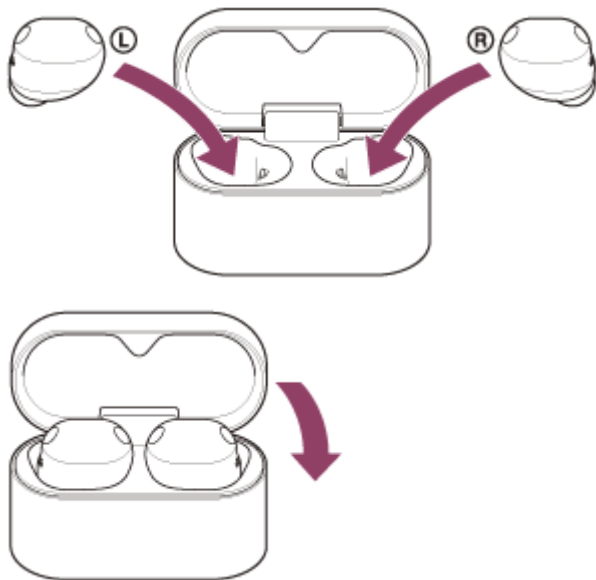
Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）

1 Bluetooth機器を操作してBluetooth接続を切断する。

両側のヘッドセットを耳に装着している場合は、両側のヘッドセットから通知音が同時に鳴ります。片側のヘッドセットだけを装着しているときは、装着している側のヘッドセットから通知音が鳴ります。

2 ヘッドセットを充電ケースにセットし、ふたを閉める。

L側のヘッドセットを充電ケースの左側のくぼみに戻します。R側を右側のくぼみに戻します。L側のヘッドセットには凸点（突起）がついています。充電ケースに内蔵された磁石により、ヘッドセットは充電ケースの正しい位置に収まります。



ヘッドセットの電源が切れます。

ヒント

- Bluetooth機器の種類によっては、音楽の再生を終了すると、自動的にBluetooth接続を切断する場合があります。

関連項目

- [ヘッドセットの電源を切る](#)

TP1002086870

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM6

Bluetooth接続した機器の音楽を聞く

Bluetooth接続した機器の音楽をヘッドセットで聞いたり、ヘッドセットから機器を操作したりできます。お使いのBluetooth機器が次のプロファイルに対応しているか確認してください。

- A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)
高音質な音楽をワイヤレスで楽しめます。
- AVRCP (Audio Video Remote Control Profile)
音量調節などの操作ができます。

操作はBluetooth機器によって異なることがあります。お使いのBluetooth機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。

1 ヘッドセットを耳に装着する。

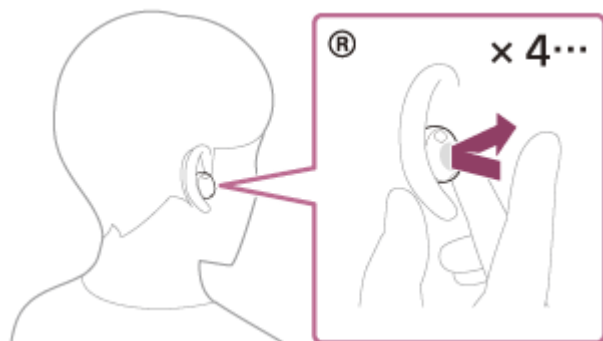
ヘッドセットを耳に装着する手順は、「[ヘッドセットを装着する](#)」をご覧ください。

2 ヘッドセットとBluetooth機器を接続する。

3 Bluetooth機器を再生して、適度な音量に調節する。

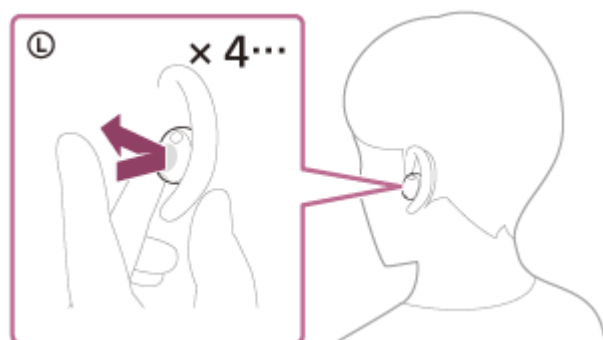
4 左右のタッチセンサーをタップして、音量を調節する。

- 音量を上げる：再生中にR側のタッチセンサーを約0.3秒間隔ですばやく4回以上連続してタップします。



タッチセンサーをタップし続けている間、タップ数に関係なく、約0.4秒間隔で通知音が鳴るとともに音量が1ステップずつ上がります。

- 音量を下げる：再生中にL側のタッチセンサーを約0.3秒間隔ですばやく4回以上連続してタップします。



タッチセンサーをタップし続けている間、タップ数に関係なく、約0.4秒間隔で通知音が鳴るとともに音量が1ステップずつ下がります。

音量が最大または最小になると、警告音が鳴ります。

ヒント

- お買い上げ時の状態では、両側のヘッドセットを装着して音楽を再生しているときに片側または両側のヘッドセットを取り外すと、再生が一時停止します。取り外したヘッドセットを耳に装着すると再生を再開します。
- ヘッドセットはSCMS-T方式のコンテンツ保護に対応しています。SCMS-T方式対応のワンセグTVなどの音楽（または音声）を、ヘッドセットで聞くことができます。
- Bluetooth機器によっては、機器側で音量調節や音声出力先の設定が必要な場合があります。
- 音量は“Sound Connect”アプリ上で調節することもできます。
通話するときの音量と音楽を聞くときの音量を、それぞれ調節できます。音楽再生中に音量を変えても、通話時の音量は変わりません。
- 充電ケースから片側のヘッドセットだけを取り出して耳に装着し、片側のヘッドセットで音楽を聞くこともできます。
R側だけを耳に装着している場合は、R側のタッチセンサーで音楽再生の操作ができます。
L側だけを耳に装着している場合は、接続機器側で音楽再生の操作をしてください。
片側のヘッドセットで音楽を聞いているときにもう片側のヘッドセットを耳に装着すると、両側のヘッドセットで音楽を聞くことができます。

ご注意

- 音楽再生中でないときは、音量はヘッドセットでは調節できません。
- 通信状態が悪いと、ヘッドセットの操作に対してBluetooth機器が誤動作する場合があります。

関連項目

- [ヘッドセットを装着する](#)
- [片側のヘッドセットだけを使う](#)
- [Bluetooth接続するには](#)
- [音楽再生時にできること（Bluetooth接続）](#)

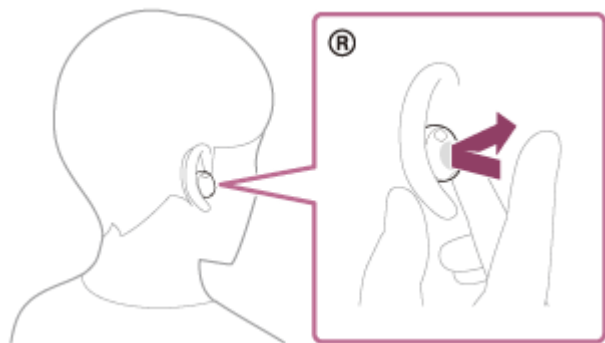
TP1002086869

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM6

音楽再生時にできること（Bluetooth接続）

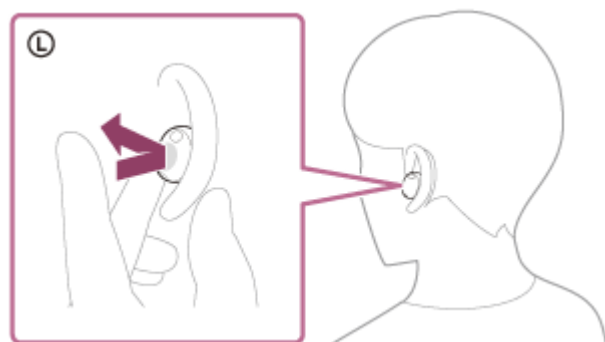
お使いのBluetooth機器がAVRCPプロファイルによる機器操作機能に対応していれば、以下のような操作が可能です。Bluetooth機器によって利用できる機能は異なりますので、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

R側のヘッドセットで以下の操作ができます。



- 再生／一時停止：タッチセンサーをタップします。
- 次の曲の頭出し：タッチセンサーを約0.3秒間隔ですばやく2回タップします。
- 前（または再生中）の曲の頭出し：タッチセンサーを約0.3秒間隔ですばやく3回タップします。
- 音量を上げる：再生中にタッチセンサーを約0.3秒間隔ですばやく4回以上連続してタップします。
タップし続けている間、タップ数に関係なく、約0.4秒間隔で通知音が鳴るとともに音量が1ステップずつ上がります。
音量が最大になると、警告音が鳴ります。

L側のヘッドセットで以下の操作ができます。



- Quick Access：タッチセンサーを約0.3秒間隔ですばやく2回タップします。“Sound Connect”アプリでの設定が必要です。
- Quick Access：タッチセンサーを約0.3秒間隔ですばやく3回タップします。“Sound Connect”アプリでの設定が必要です。
- 音量を下げる：再生中にタッチセンサーを約0.3秒間隔ですばやく4回以上連続してタップします。
タップし続けている間、タップ数に関係なく、約0.4秒間隔で通知音が鳴るとともに音量が1ステップずつ下がります。
音量が最小になると、警告音が鳴ります。

ご注意

- 音楽再生中でないときは、音量はヘッドセットでは調節できません。
- 通信状態が悪いと、ヘッドセットの操作に対してBluetooth機器が誤動作する場合があります。

- 接続する機器、使用する音楽ソフトやアプリによって利用できる操作が異なります。上記の操作をしても異なる動作をしたり、動作しない場合があります。
- iPhoneをお使いの場合は、R側のタッチセンサーに触れたままにすると、Siriが起動する場合があります。

TP1002086868

5-069-561-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM6

360 Reality Audioについて

360 Reality Audioは、ソニーの360立体音響技術を使った新しい音楽体験です。
ボーカルやコーラス、楽器などの音源一つひとつに位置情報をつけ、球状の空間に配置。
アーティストの生演奏に囲まれているかのような、没入感のある立体的な音場を体感できます。

使用条件

iOSやAndroidを搭載したスマートフォンやタブレットに360 Reality Audioに対応した音楽ストリーミングサービスのアプリをダウンロードしてお使いください。サービスのアプリは、有料の場合があります。
“Sound Connect”アプリにより音場やヘッドセットの音響特性を最適化することで、よりリアルな臨場感を楽しめます。

360 Reality Audioについて詳しくは、下記のサイトをご確認ください。
<https://www.sony.net/360RA/>

ご注意

- 一部の国や地域ではサービスを利用できません。

関連項目

- [“Sound Connect”アプリを使う](#)

TP1002086867

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM6

スピーカーと組み合わせてシームレス再生を楽しむ (Auto Switch)

ヘッドセットやスピーカーを操作することなく、音の出力先をヘッドセットとスピーカーの間で自動で切り替えてワイヤレス再生を楽しめます。

Auto Switch機能は、ヘッドセットとスピーカーの両方がAuto Switch対応機器である必要があります。“Sound Connect”アプリで設定します。

Auto Switch対応機器については下記URLをご覧ください。

https://www.sony.net/asw_comp_hp

Auto Switchを使用する前に、以下をご確認ください。

- スマートフォンに“Sound Connect”アプリをインストールする。
- スピーカーやヘッドセットのソフトウェアを最新バージョンにアップデートする。

1 Auto Switch対応スピーカーを“Sound Connect”アプリをインストールしたスマートフォンにペアリングする。

ペアリング済みの場合は、スピーカーをスマートフォンに接続してください。

2 “Sound Connect”アプリでスピーカーのBluetoothスタンバイ機能が有効になっていることを確認する。

3 スピーカーの電源を切る。

4 ヘッドセットとスマートフォンを接続し、Auto Switchからの画面の指示に従ってスピーカーとの連携を有効にする。

5 スマートフォンで音楽を再生する。

Auto Switchの設定をした“Sound Connect”アプリがインストールされているスマートフォンで音楽を再生してください。

ヘッドセットから音楽を再生した状態でヘッドセットを充電ケースにセットして電源を切ると、自動的にスピーカーからの再生に切り替わります。

うまく音が切り替わらないときは、スピーカーとヘッドセットを近づけてみてください。

スピーカーから音楽を再生した状態でヘッドセットを装着すると、自動的にヘッドセットからの再生に切り替わります。

音量を調節するには

再生中のヘッドセットやスピーカーで音量を調節してください。音量を変更しても、再生していないヘッドセットやスピーカーの音量設定は変更されません。

Auto Switchを無効にするときは

“Sound Connect”アプリから連携を解除します。ヘッドセットまたは連携したスピーカーを初期化した場合も連携が解除されます。

ヒント

- スピーカーとの連携を有効にしたまま音の出力先を自動で切り替えたくない場合は、事前にスマートフォンの音楽再生を一時停止してください。

ご注意

- スマートフォンのハンズフリー機能では、Auto Switchはご使用になれません。

TP1002096502

5-069-561-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

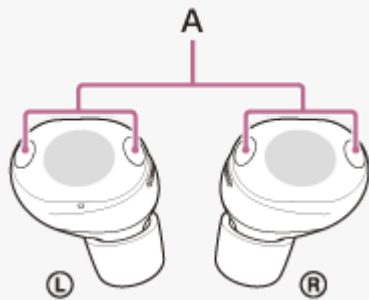
ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM6

ノイズキャンセリング機能とは

ノイズキャンセリング機能は、乗り物内の騒音や室内の空調音などの環境ノイズと逆位相の音を出します。ノイズを打ち消すことで環境ノイズが低減して聞こえます。

ご注意

- 静かな場所やノイズの種類によっては、ノイズキャンセリング効果が感じられない、またはノイズが大きくなったと感じられる場合があります。
- ヘッドセットを耳に装着しているとき、装着状態によっては、ノイズキャンセリング効果が減少したり、ピツという音（ハウリング）が出たりすることがあります。この場合は、ヘッドセットを耳に装着し直してください。
- ノイズキャンセリング機能は、乗り物や空調などの主に低い周波数帯域の騒音に対して最も効果を発揮します。すべての音が打ち消されるわけではありません。
- 自動車、バスなどでご使用の場合、路面状況によっては、ノイズが発生することがあります。
- スマートフォンの影響によりノイズが入ることがあります。この場合は、スマートフォンからヘッドセットを離してください。
- 左右のヘッドセットのマイク（A）付近を手でつまんだり覆ったりしないでください。ノイズキャンセリング機能や外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）などの効果が得られなくなったり、ピツという音（ハウリング）が出たりすることがあります。このような場合は、左右のマイク部分から手などを離してください。



関連項目

- [ノイズキャンセリング機能を使う](#)

TP1002086866

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM6

ノイズキャンセリング機能を使う

ノイズキャンセリング機能を使うと、周囲の雑音を気にせずに音楽を楽しむことができます。

1 ヘッドセットを充電ケースから取り出す。

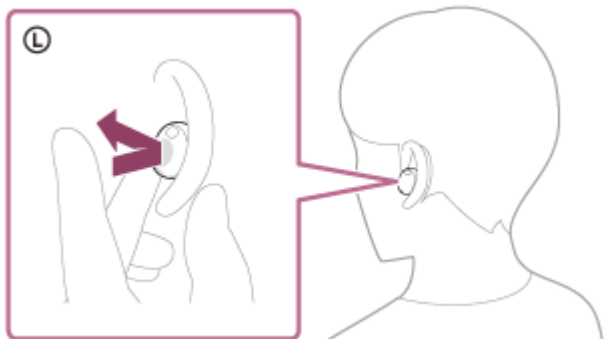


自動的に電源が入ります。

お買い上げ後初めてお使いになるときやヘッドセットを初期化した直後は、ヘッドセットの電源が入ると自動的にノイズキャンセリング機能が有効になります。2回目以降は、前回の設定が保持されます。

2 ヘッドセットを耳に装着する。

3 L側のタッチセンサーをタップして、ノイズキャンセリング機能の設定を切り替える。



タップするたびに機能が次のように切り替わります。

外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）が有効になり、ノイズキャンセリング機能が無効になります。両側のヘッドセットから通知音が同時に鳴ります。L側のヘッドセットだけを装着しているときは、L側のヘッドセットから通知音が鳴ります。

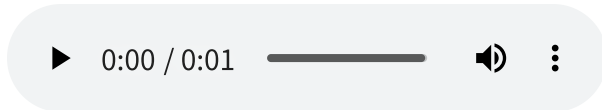


ノイズキャンセリング機能が有効になり、外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）が無効になります。両側のヘッドセットから通知音が同時に鳴ります。L側のヘッドセットだけを装着しているときは、L側のヘッドセットから通知音が鳴ります。

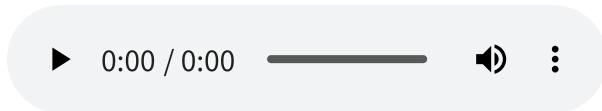
通知音を確認する

最新のブラウザ以外では再生できないことがあります。

- 外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）が有効になったとき



- ノイズキャンセリング機能が有効になったとき



取扱説明動画について

ノイズキャンセリング機能の使いかたは、動画でご覧いただけます。音声での説明はありません。

中国本土以外、日本以外の国・地域向けモデル：

https://rd1.sony.net/help/mdr/mov0102/h_zz/

中国本土向けモデル：

<https://rd1.sony.net/help/mdr/mov0102/zh-cn/>

日本向けモデル：

<https://rd1.sony.net/help/mdr/mov0102/ja/>

ヒント

- ノイズキャンセリング機能の有効と無効の切り替え、ノイズキャンセリング機能や外音取り込み機能の設定は、“Sound Connect”アプリでも変更できます。
- “Sound Connect”アプリで、以下の3つのモードの組み合わせを設定できます。複数のモードを選択したときは、L側のタッチセンサーをタップすることで、順番に切り替わります。
 - ノイズキャンセリング機能の有効
 - 外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）の有効
 - ノイズキャンセリング機能と外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）の無効
- 片側のヘッドセットだけを装着した場合、前回の設定がノイズキャンセリング機能になっていても、外音取り込み機能が有効になります。両側のヘッドセットを装着すると、ノイズキャンセリング機能が有効になります。

ご注意

- 付属のイヤークピースを使用しないと、ノイズキャンセリング機能の効果が十分に発揮できません。
- ヘッドセットがしっかりと耳に装着されていないと、ノイズキャンセリング機能が正常に動作しない場合があります。ヘッドセットを回転させて、しっかりと耳に装着してください。
- 左右のヘッドセットのマイク付近を手でつまんだり覆ったりしないでください。ノイズキャンセリング機能や外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）などの効果が得られなくなったり、ピツという音（ハウリング）が出たりすることがあります。このような場合は、左右のマイク部分から手などを離してください。

関連項目

- [“Sound Connect”アプリを使う](#)
- [ヘッドセットの電源を入れる](#)
- [ヘッドセットを装着する](#)
- [ノイズキャンセリング機能とは](#)
- [音楽再生中に周囲の音を聞く（外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード））](#)

TP1002086835

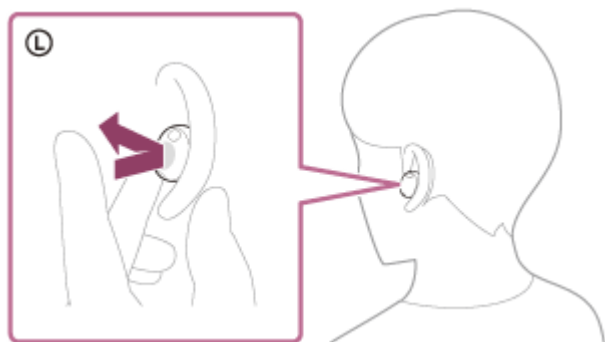
ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM6

音楽再生中に周囲の音を聞く（外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード））

左右のヘッドセットに内蔵されているマイクにより、周囲の音を聞き取りやすくし、周囲の音を確認しながら音楽を楽しむことができます。

外音取り込み機能を使用するには

ノイズキャンセリング機能がオンの状態で、L側のタッチセンサーをタップします。



外音取り込み機能の設定を変更するには

“Sound Connect”アプリでヘッドセットの外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）の設定を変更できます。
ボイスフォーカス：騒音を抑えつつアナウンスや人の声のみを取り込み、音楽と一緒に聞こえるようにします。

外音取り込み機能を無効にするには

L側のタッチセンサーをタップして、外音取り込み機能を無効にします。
タップするたびに機能が次のように切り替わります。

ノイズキャンセリング機能が有効になり、外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）が無効になります。
両側のヘッドセットから通知音が同時に鳴ります。L側のヘッドセットだけを装着しているときは、L側のヘッドセットから通知音が鳴ります。

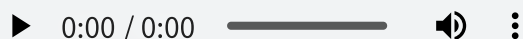


外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）が有効になり、ノイズキャンセリング機能が無効になります。
両側のヘッドセットから通知音が同時に鳴ります。L側のヘッドセットだけを装着しているときは、L側のヘッドセットから通知音が鳴ります。

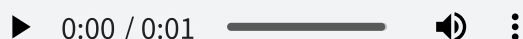
通知音を確認する

最新のブラウザ以外では再生できないことがあります。

- ノイズキャンセリング機能が有効になったとき



- 外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）が有効になったとき



取扱説明動画について

外音取り込み機能の使いかたは、動画でご覧いただけます。音声での説明はありません。

中国本土以外、日本以外の国・地域向けモデル：

https://rd1.sony.net/help/mdr/mov0102/h_zz/

中国本土向けモデル：

<https://rd1.sony.net/help/mdr/mov0102/zh-cn/>

日本向けモデル：

<https://rd1.sony.net/help/mdr/mov0102/ja/>

ヒント

- “Sound Connect”アプリで変更した外音取り込み機能の設定はヘッドセットに記憶されます。“Sound Connect”アプリがインストールされていない機器の音楽を聞くとともに、外音取り込み機能を有効にすれば記憶された設定で聞くことができます。
- “Sound Connect”アプリで、以下の3つのモードの組み合わせを設定できます。複数のモードを選択したときは、L側のタッチセンサーをタップすることで、順番に切り替わります。
 - ノイズキャンセリング機能の有効
 - 外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）の有効
 - ノイズキャンセリング機能と外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）の無効

ご注意

- 外音取り込み機能を使用しても、周囲の状況や再生中の音の種類や音量によっては、周囲の音が聞き取れない場合があります。周囲の音を必ず聞く必要がある場所では、ヘッドセットを外してください。車や自転車の通る道などでヘッドセットを装着すると危険です。
- 外音取り込み機能を有効にすると、周囲の環境によっては風切り音が大きくなることがあります。このような場合は、外音取り込み機能を無効にしてご使用ください。
- ヘッドセットがしっかりと耳に装着されていないと、外音取り込み機能が正常に動作しない場合があります。ヘッドセットを回転させて、しっかりと耳に装着してください。
- 左右のヘッドセットのマイク付近を手でつまんだり覆ったりしないでください。ノイズキャンセリング機能や外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）などの効果が得られなくなったり、ピツという音（ハウリング）が出たりすることがあります。このような場合は、左右のマイク部分から手などを離してください。また外音取り込み機能使用時にハウリングが発生する場合は、“Sound Connect”アプリの［外音コントロール］で外音取り込み量を下げてください。
- ヘッドセットにはハウリングの発生を検出し、短時間でハウリングを停止させる機能を搭載しています。まれに報知音、電子音などの高い音に反応し、一時的にノイズキャンセリング機能と外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）が停止する場合があります。約1秒後にノイズキャンセリング機能や外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）に自動的に復帰します。
- 周囲の音がかなり大きい環境で外音取り込み機能を有効にすると、ノイズ音が聞こえる場合があります。これは不具合ではありません。このような場合は、ノイズキャンセリング機能を有効にするか、ノイズキャンセリング機能と外音取り込み機能を無効にしてご使用ください。

関連項目

- [“Sound Connect”アプリを使う](#)
- [ヘッドセットを装着する](#)
- [ノイズキャンセリング機能を使う](#)

TP1002086862

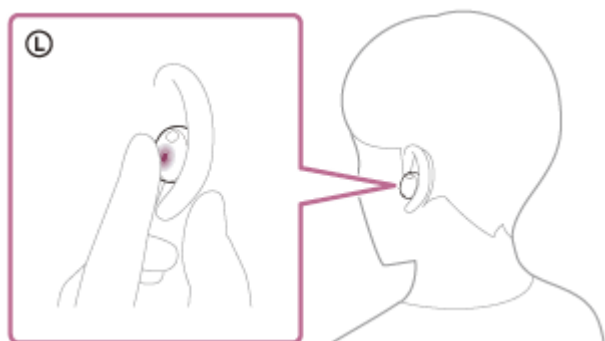
ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM6

すばやく周囲の音を聞きたいときは（クイックアテンションモード）

再生中の音楽や通話音声、着信音の音量を下げて、周囲の音をさらに聞き取りやすくします。電車内のアナウンスなどをすぐに聞きたいときに便利です。

クイックアテンションモードを使用するには

L側のタッチセンサーに触れたままにします。クイックアテンションモードは、タッチセンサーに触れている間だけ動作します。



クイックアテンションモードを解除するには

タッチセンサーから指を離します。

取扱説明動画について

クイックアテンションモードの使いかたは、動画でご覧いただけます。音声での説明はありません。

中国本土以外、日本以外の国・地域向けモデル：

https://rd1.sony.net/help/mdr/mov0103/h_zz/

中国本土向けモデル：

<https://rd1.sony.net/help/mdr/mov0103/zh-cn/>

日本向けモデル：

<https://rd1.sony.net/help/mdr/mov0103/ja/>

ご注意

- クイックアテンションモードを使用しても、周囲の状況や再生中の音の種類や音量によっては、周囲の音が聞き取れない場合があります。周囲の音を必ず聞く必要がある場所では、ヘッドセットを外してください。車や自転車の通る道などでヘッドセットを装着すると危険です。
- ヘッドセットがしっかりと耳に装着されていないと、クイックアテンションモードが正常に動作しない場合があります。ヘッドセットを回転させて、しっかりと耳に装着してください。
- 使用するイヤープiecesのサイズによっては、クイックアテンションモードの効果が感じにくい場合があります。周囲の音が最も聞こえにくくなるサイズを選んでください。

関連項目

- [イヤープiecesを交換する](#)
- [ヘッドセットを装着する](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM6

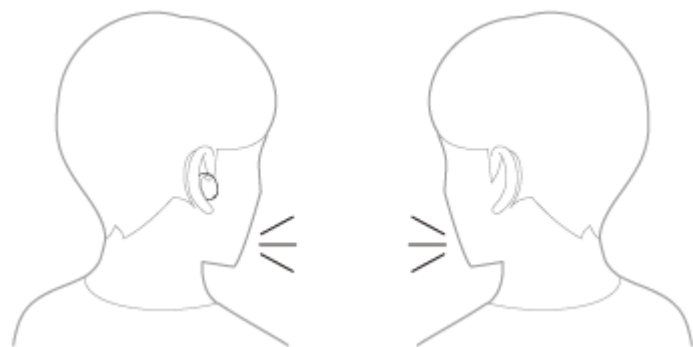
ヘッドセットを耳に装着したまま会話をする（スピーク・トゥ・チャット）

スピーク・トゥ・チャットは、ヘッドセットを装着したまま会話相手の音声を聞きやすくする機能です。“Sound Connect”アプリで設定します。

スピーク・トゥ・チャットモードが起動している間は、再生中の音楽の音量を下げ、相手の音声をマイクで取り込み聞きやすくします。

ヘッドセット装着者が発話した音声をヘッドセットが検出しない状態が一定時間続くと、自動的にスピーク・トゥ・チャットモードが終了します。

その前に終了したいときは、L側かR側のどちらかのタッチセンサーをタップしてください。



スピーク・トゥ・チャットを有効にするには

スピーク・トゥ・チャットモードを起動するには、事前にスピーク・トゥ・チャットを有効にしておく必要があります。

お買い上げ時は、スピーク・トゥ・チャットは無効に設定されています。有効にするには、“Sound Connect”アプリで設定を変更してください。

スピーク・トゥ・チャットを無効にするには

無効にするには、“Sound Connect”アプリで設定を変更してください。

取扱説明動画について

スピーク・トゥ・チャットの使いかたは、動画でご覧いただけます。音声での説明はありません。

中国本土以外、日本以外の国・地域向けモデル：

https://rd1.sony.net/help/mdr/mov0104/h_zz/

中国本土向けモデル：

<https://rd1.sony.net/help/mdr/mov0104/zh-cn/>

日本向けモデル：

<https://rd1.sony.net/help/mdr/mov0104/ja/>

ヒント

- スピーク・トゥ・チャットモードは以下の場合にも終了します。
 - 両側のヘッドセットを耳から取り外したとき
- “Sound Connect”アプリを使用すると、有効／無効の切り替えのほかに、音声自動検出の感度変更、スピーク・トゥ・チャットモードが終了するまでの時間変更ができます。お買い上げ時の設定では、終了するまでの時間は約15秒となっています。

ご注意

- スピーク・トゥ・チャットモードは、ヘッドセット装着者の発話を検出すると起動します。まれに、歯磨き、電動歯ブラシ、電動マッサージ器、電動シェーバー、咳、鼻歌などの振動に反応して、意図せず起動することがあります。スピーク・トゥ・チャット

ットモードが起動することが多い場合は、スピーク・トゥ・チャットを「低感度」に設定してください。

- ヘッドセット装着者の発話が発出されずスピーク・トゥ・チャットが起動しない場合は以下の方法をお試しください。問題が改善する場合があります。
 - ヘッドセットが正しく装着されているか確認する。
 - 音楽の再生音量を下げる。
 - 発話する際に声量を大きくする。
 - 長めに発話を行う。
 - スピーク・トゥ・チャットを「高感度」に設定する。

関連項目

- [“Sound Connect”アプリを使う](#)

TP1002092346

5-069-561-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM6

電話を受ける

お使いのスマートフォンが以下のBluetoothプロファイルに対応していれば、ヘッドセットとBluetooth接続してハンズフリー通話ができます。

- HFP: Hands-free Profile
- HSP: Headset Profile

- スマートフォンがHFPとHSPの両方に対応している場合は、HFPを使用してください。
- 操作はスマートフォンによって異なることがあります。お使いのスマートフォンの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- お使いの接続機器やアプリケーションによっては、ヘッドセットの操作で機能が正しく動作しない場合があります。

着信音について

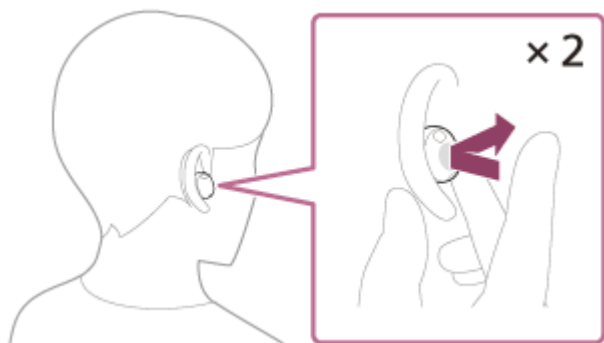
着信すると、ヘッドセットから着信音が聞こえます。

ヘッドセットから聞こえる着信音は、スマートフォンによって以下のいずれかとなります。

- ヘッドセットの着信音
- スマートフォンの着信音
- スマートフォンのBluetooth接続専用の着信音

1 あらかじめヘッドセットとスマートフォンをBluetooth接続しておく。

2 着信したら、L側かR側のどちらかのタッチセンサーを約0.3秒間隔ですばやく2回タップして電話を受ける。

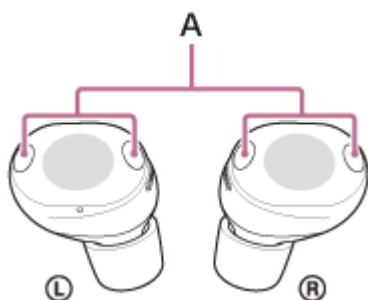


ヘッドセットから音声聞こえます。

音楽再生中に着信すると、音楽が自動的に一時停止し、着信音が聞こえます。

再生中の音楽が一時停止しない場合は、手動で一時停止してください。

左右のヘッドセットのマイク (A) を通して会話できます。



ヘッドセットから着信音が聞こえない場合は

HFPまたはHSPで接続されていない可能性があります。スマートフォン側の接続状況を確認してください。

3 スマートフォンを操作して、音量を調節する。

4 通話が終了したら、L側かR側のどちらかのタッチセンサーを約0.3秒間隔ですばやく2回タップして電話を切る。

2回タップしても電話が切れないときは、スマートフォン側を操作して電話を切ってください。
音楽再生中に着信した場合は、電話を切ると再生を再開します。

ヒント

- スマートフォンを操作して電話を受けた場合、機種によっては、スマートフォンでの通話が優先されることがあります。HFP接続の場合、スマートフォンを操作して、通話をヘッドセットに切り替えてください。
- 音量は“Sound Connect”アプリ上で調節することもできます。
通話するときの音量と音楽を聞かときの音量を、それぞれ調節できます。通話中に音量を変えても、音楽再生時の音量は変わりません。
- 片側のヘッドセットだけを耳に装着している場合でも通話ができます。着信したら、装着している側のヘッドセットを操作して電話を受けます。片側のヘッドセットで通話中にもう片側のヘッドセットを耳に装着すると、両側のヘッドセットで通話できます。

ご注意

- お使いの接続機器や再生アプリケーションによっては、音楽再生中に着信しても、音楽が一時停止しないことがあります。また、音楽再生中に着信した通話を終了しても、自動的に再生を再開しないことがあります。
- スマートフォンは、ヘッドセットから50 cm（19.68 インチ）以上離してお使いください。ヘッドセットとスマートフォンが近いとノイズが入ることがあります。
- 通話中に自分の声をより聞こえやすくするため、マイクが作動し外音を取り込みます（サイドトーン機能）。自分の声が大きく聞こえたり周囲の音が気になる場合は、“Sound Connect”アプリで変更することができます。[通話時の自分の声の取り込み]をオフにしてください。
- 通話するときの音量はヘッドセットでは調節できません。接続機器側か“Sound Connect”アプリ上で調節してください。
- 通話者の声質や周囲の環境ノイズによっては、ヘッドセットに搭載されている音声信号処理が十分に働かず、通話品質が損なわれる場合があります。
- “Sound Connect”アプリでマイク操作設定を有効にしている場合、ヘッドセット側で電話を切ることはできません。

関連項目

- [“Sound Connect”アプリを使う](#)
- [片側のヘッドセットだけを使う](#)
- [Bluetooth接続をするには](#)
- [電話をかける](#)
- [通話時にできること](#)

TP1002086893

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM6

電話をかける

お使いのスマートフォンが以下のBluetoothプロファイルに対応していれば、ヘッドセットとBluetooth接続してハンズフリー通話ができます。

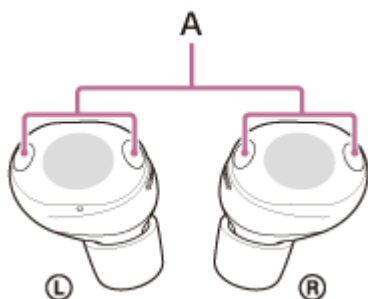
- HFP: Hands-free Profile
- HSP: Headset Profile

- スマートフォンがHFPとHSPの両方に対応している場合は、HFPを使用してください。
- 操作はスマートフォンによって異なることがあります。お使いのスマートフォンの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- お使いの接続機器やアプリケーションによっては、ヘッドセットの操作で機能が正しく動作しない場合があります。

1 ヘッドセットとスマートフォンをBluetooth接続する。

2 お使いのスマートフォンを操作して発信する。

発信すると、ヘッドセットから発信音が聞こえます。
音楽再生中に発信すると、音楽が自動的に一時停止します。
再生中の音楽が一時停止しない場合は、手動で一時停止してください。
左右のヘッドセットのマイク (A) を通して会話できます。



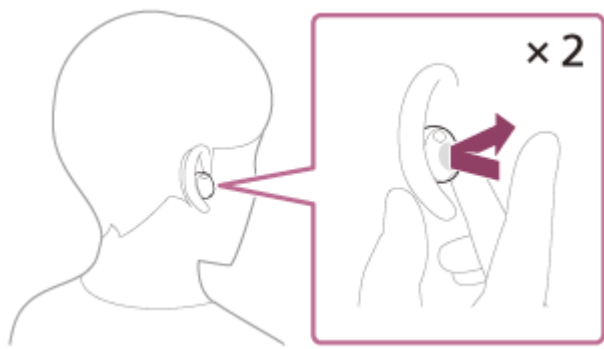
ヘッドセットから発信音が聞こえない場合は

スマートフォンを操作して、ヘッドセットに音声を切り替えてください。

3 スマートフォンを操作して、音量を調節する。

4 通話が終了したら、L側かR側のどちらかのタッチセンサーを約0.3秒間隔ですばやく2回タップして電話を切る。

2回タップしても電話が切れないときは、スマートフォン側を操作して電話を切ってください。



音楽再生中に発信した場合は、電話を切ると再生を再開します。

ヒント

- 音量は“Sound Connect”アプリ上で調節することもできます。
通話するときの音量と音楽を聞かするときの音量を、それぞれ調節できます。通話中に音量を変えても、音楽再生時の音量は変わりません。
- 片側のヘッドセットだけを耳に装着している場合でも通話ができます。片側のヘッドセットで通話中にもう片側のヘッドセットを耳に装着すると、両側のヘッドセットで通話できます。

ご注意

- お使いの接続機器や再生アプリケーションによっては、音楽再生中に発信した通話を終了しても、自動的に再生を再開しないことがあります。
- スマートフォンは、ヘッドセットから50 cm（19.68 インチ）以上離してお使いください。ヘッドセットとスマートフォンが近いとノイズが入ることがあります。
- 通話中に自分の声をより聞こえやすくするため、マイクが作動し外音を取り込みます（サイドトーン機能）。自分の声が大きく聞こえたり周囲の音が気になる場合は、“Sound Connect”アプリで変更することができます。[通話時の自分の声の取り込み]をオフにしてください。
- 通話するときの音量はヘッドセットでは調節できません。接続機器側が“Sound Connect”アプリ上で調節してください。
- 通話者の声質や周囲の環境ノイズによっては、ヘッドセットに搭載されている音声信号処理が十分に働かず、通話品質が損なわれる場合があります。
- “Sound Connect”アプリでマイク操作設定を有効にしている場合、ヘッドセット側で電話を切ることはできません。

関連項目

- [“Sound Connect”アプリを使う](#)
- [片側のヘッドセットだけを使う](#)
- [Bluetooth接続するには](#)
- [電話を受ける](#)
- [通話時にできること](#)

TP1002086860

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM6

通話時にできること

通話時にできることは、お使いのスマートフォンが対応しているプロファイルによって異なります。また、プロファイルが同じでも、スマートフォンによって利用できる機能が異なります。

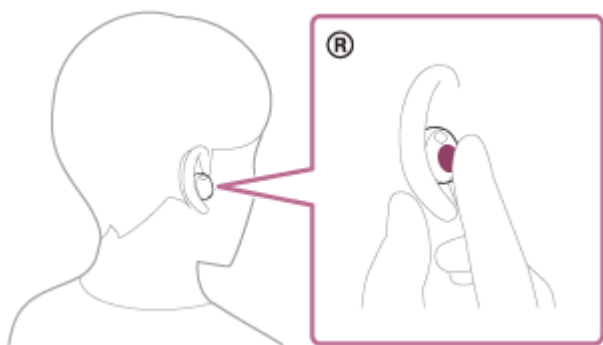
お使いの接続機器やアプリケーションによっては、ヘッドセットの操作で機能が正しく動作しない場合があります。お使いのスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

スマートフォンがHFP (Hands-free Profile) 対応のとき

待ち受け中／音楽再生中

R側のヘッドセットで以下の操作ができます。

- タッチセンサーに約2秒以上触れたままにすると、スマートフォンのボイスダイヤル機能や、Android搭載スマートフォンのGoogleアプリ、iPhoneのSiriを起動します。

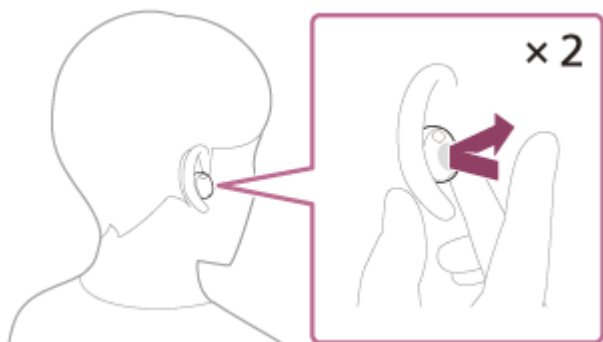


発信中

L側／R側のどちらのヘッドセットでも以下の操作ができます。

片側だけを耳に装着しているときは、装着している側のヘッドセットで操作してください。

- タッチセンサーを約0.3秒間隔ですばやく2回タップすると、発信を中止します。



着信中

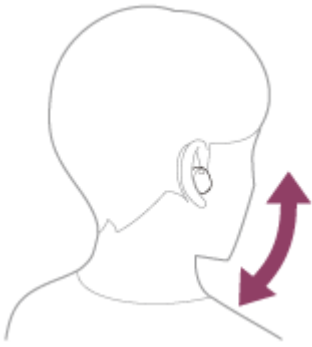
L側／R側のどちらのヘッドセットでも以下の操作ができます。

片側だけを耳に装着しているときは、装着している側のヘッドセットで操作してください。

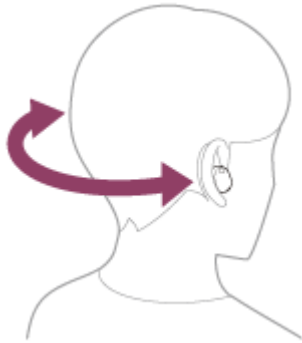
- タッチセンサーを約0.3秒間隔ですばやく2回タップすると、電話を受けます。
- タッチセンサーに約2秒以上触れたままにすると、着信を拒否します。

“Sound Connect”アプリでヘッドジェスチャー設定を有効にしているときは、ヘッドセットを装着した状態で以下の操作ができます。

- 電話を受ける：頭を縦に振ります。



- 着信拒否：頭を横に振ります。



通話中

L側／R側のどちらのヘッドセットでも以下の操作ができます。

片側だけを耳に装着しているときは、装着している側のヘッドセットで操作してください。

- タッチセンサーを約0.3秒間隔ですばやく2回タップすると、通話を終了します。

スマートフォンがHSP（Headset Profile）対応のとき

L側／R側のどちらのヘッドセットでも以下の操作ができます。

片側だけを耳に装着しているときは、装着している側のヘッドセットで操作してください。

発信中

- タッチセンサーを約0.3秒間隔ですばやく2回タップすると、発信を中止します。

着信中

- タッチセンサーを約0.3秒間隔ですばやく2回タップすると、電話を受けます。

通話中

- タッチセンサーを約0.3秒間隔ですばやく2回タップすると、通話を終了します。

ご注意

- “Sound Connect”アプリでヘッドジェスチャー設定を有効にしている場合、片側のヘッドセットだけをお使いのときは、ヘッドセットが正しく動作しないことがあります。
- “Sound Connect”アプリでヘッドジェスチャー設定を有効にしている場合、お使いの接続機器やアプリケーションによっては、ヘッドジェスチャーの操作で機能が正しく動作しないことがあります。
- “Sound Connect”アプリでマイク操作設定を有効にしている場合、ヘッドセット側で電話を切ることはできません。

関連項目

- [片側のヘッドセットだけを使う](#)
- [電話を受ける](#)
- [電話をかける](#)

TP1002086859

5-069-561-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM6

パソコンでビデオ通話する

パソコンでビデオ通話するときに、ヘッドセットからワイヤレスで通話することができます。

1 ヘッドセットとパソコンをBluetooth接続する。

2 パソコンのビデオ通話用アプリを起動する。

3 ビデオ通話用アプリの設定*を確認する。

- パソコンでビデオ通話するときは、音楽再生の接続（A2DP）ではなく、通話の接続（HFP/HSP）を選びます。音楽再生の接続を選ぶと、通話できない場合があります。
- スピーカーの設定で、通話の接続［ヘッドセット (WF-1000XM6 Hands-Free)] **を選びます。
［ヘッドホン (WF-1000XM6 Stereo)] **は音楽再生の接続です。
- マイクの設定で、通話の接続［ヘッドセット (WF-1000XM6 Hands-Free)] **を選びます。マイクが設定されていない場合、ヘッドセット装着者が発話した音声をヘッドセットが検出してスピーク・トゥ・チャットモードが起動し、ヘッドセットからの音声が消音されます。
- お使いのビデオ通話用アプリによっては、スピーカーの設定やマイクの設定で、通話の接続［ヘッドセット (WF-1000XM6 Hands-Free)] **や音楽再生の接続［ヘッドホン (WF-1000XM6 Stereo)] **を選択できず、［WF-1000XM6］のみ表示される場合があります。その場合は、［WF-1000XM6］を選んでください。
- その他、よくあるお問い合わせとその回答をサポートホームページでご案内していますので、ご覧ください。

* お使いのビデオ通話用アプリによっては、機能がいない場合があります。

** 名称はお使いのパソコンやビデオ通話用アプリによって異なります。

ヒント

- ビデオ通話用アプリの設定が確認できない場合や、通話の接続［ヘッドセット (WF-1000XM6 Hands-Free)] を選択できない場合は、パソコンの設定から［ヘッドセット (WF-1000XM6 Hands-Free)] を選び、接続してください。「[ペアリング済みのパソコンと接続する \(Windows 11\)](#)」、「[ペアリング済みのパソコンと接続する \(Mac\)](#)」をご覧ください。

ご注意

- スピーク・トゥ・チャットが有効になっている場合、マイクが正しく設定されていないと、発話によってスピーク・トゥ・チャットモードが起動し、ヘッドセットからの音声が消音されることがあります。
- お使いのビデオ通話用アプリによっては、マイクの設定ができない場合があります。その場合は、“Sound Connect”アプリを使ってスピーク・トゥ・チャットを無効にしてください。
- お使いのパソコンやアプリケーションによって、ビデオ通話中にヘッドセットが正しく動作しない場合があります。また、パソコンを再起動すると症状が改善する場合があります。

関連項目

- [Bluetooth接続するには](#)
- [パソコンをペアリングしてから接続する \(Windows® 11\)](#)
- [パソコンをペアリングしてから接続する \(Mac\)](#)

- ペ어링済みのパソコンと接続する（Windows 11）
- ペ어링済みのパソコンと接続する（Mac）
- Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）
- ヘッドセットを耳に装着したまま会話をする（スピーク・トゥ・チャット）

TP1002092343

5-069-561-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM6

Google Geminiを使う

国や地域によっては利用できない場合があります。

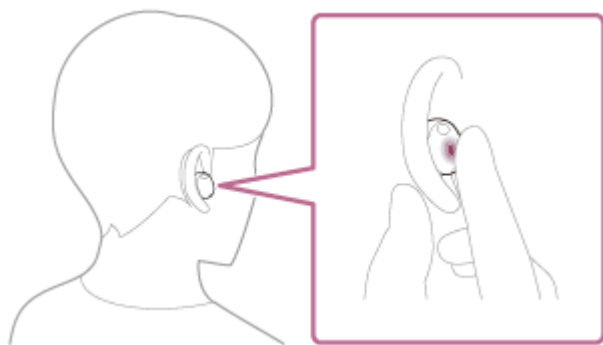
スマートフォンのGoogle Geminiアプリとデバイスを連携させることで、ヘッドセットを使ってGeminiと会話できます。質問やタスクのサポートをハンズフリーで受けられます。

1 “Sound Connect”アプリを起動し、タッチセンサーの機能をデジタル アシスタントに変更する。

初めてGoogle Geminiを使用する場合は、デバイスのデフォルトのアシストアプリとしてGoogle Geminiアプリが設定されているか確認してください。また、AIアシスタントとしてGeminiを選択してください。

2 Google Geminiを以下の方法で起動する。

- 「OK Google」と話しかけ、Geminiを起動する
- デジタル アシスタントを設定した側のタッチセンサーを操作する
 - － タッチセンサーに触れたままにすると音声入力が始まり、指を離すと音声入力を終了します。



応答を確認してください。設定が必要です。互換性と利用可否は状況により異なります。

詳しくは、以下のホームページをご覧ください。

<https://support.google.com/gemini/answer/15456140>

対応するスマートフォン

Android 13以降

Google Geminiの詳細については、以下をご確認ください。

- Androidスマートフォンの取扱説明書やサポートサイト
 - Google Playストアのウェブサイト
- <https://support.google.com/gemini/>

ヒント

- ヘッドセットのソフトウェアバージョンの確認とアップデートは、“Sound Connect”アプリで行ってください。
- デバイスに接続されていない、ネットワークに接続されていないなどの理由でGoogle Geminiが使用できないときは、両側のヘッドセットから使用できない旨のガイダンスが流れます。片側だけを装着している場合は装着している側のヘッドセットから使用できない旨のガイダンスが流れます。また、接続機器側の画面表示等により通知もされますが、サービス側の仕様に関連するため予告なく変更される場合があります。

ご注意

- Google Geminiと音声アシスト機能（Googleアプリ）を、同時に設定することはできません。
- Google Geminiと音声アシスト機能（Siri）を、同時に設定することはできません。
- Google Geminiでヘッドセットの操作をする機能は、Google Geminiの仕様によります。
- Google Geminiの仕様は予告なく変更になる場合があります。
- Google Geminiなど、他社が提供しているサービスについては、該当のサービス提供者に直接お問い合わせください。ソニーは、他社が提供しているサービスに関連する誤認識などの不具合について一切の責任を負いません。
- 応答を確認してください。設定が必要です。互換性と利用可否は状況により異なります。

TP1002086858

5-069-561-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM6

Tencent Xiaoweiを使う

中国本土向けモデル用の機能です。

スマートフォンに搭載されているTencent Xiaoweiを起動して、ヘッドセットのマイクから、声でスマートフォンを操作したり、調べものをしたりすることができます。

対応するスマートフォン

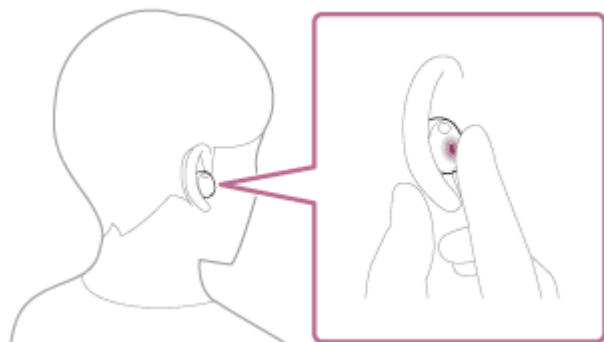
- Android 6.0以降またはiOS 10以降をインストールしたスマートフォン。
- 最新のTencent Xiaoweiアプリが必要です。

1 “Sound Connect”アプリを起動し、L側かR側のどちらかのタッチセンサーの機能をTencent Xiaoweiに変更する。

2 Tencent Xiaoweiアプリを起動する。

3 Tencent Xiaoweiを設定した側のタッチセンサーを操作してTencent Xiaoweiアプリを使う。

- タッチセンサーに触れたままにすると音声入力が始まり、指を離すと音声入力を終了します。



Tencent Xiaoweiの詳しい操作については、以下のホームページをご覧ください。

<https://xiaowei.tencent.com/guide/index.html?cid=1465>

ヒント

- Tencent Xiaoweiを設定した側のヘッドセットだけを耳に装着してTencent Xiaoweiをお使いいただくこともできます。Tencent Xiaoweiを設定した状態で片側のヘッドセットだけをお使いの場合は、Tencent Xiaoweiを設定した側のヘッドセットをお使いください。“Sound Connect”アプリで設定をご確認ください。
- ヘッドセットのソフトウェアバージョンの確認とアップデートは、“Sound Connect”アプリで行ってください。
- ネットワークに接続されていないなどの理由でTencent Xiaoweiが使用できないときは、両側のヘッドセットから使用できない旨のガイダンスが流れます。片側だけを装着している場合は装着している側のヘッドセットから使用できない旨のガイダンスが流れます。また、接続機器側の画面表示等により通知もされますが、サービス側の仕様に関連するため予告なく変更される場合があります。

ご注意

- Tencent Xiaoweiは、タッチセンサーに音楽再生機能を割り当てている側のヘッドセットに設定することができます。片側だけでTencent Xiaoweiを使用したい場合は、使用したい側のヘッドセットのタッチセンサーに音楽再生機能を割り当て、Tencent

Xiaoweiを設定してください。

音楽再生機能を割り当てていない側ではTencent Xiaoweiは使用できません。

“Sound Connect”アプリを使用すると、左右のタッチセンサーへの機能の割り当てを変更できます。

- Tencent Xiaoweiと音声アシストを、同時に設定することはできません。
- Tencent Xiaoweiは中国でのみ使用できます。

TP1002088587

5-069-561-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM6

音声アシスト機能（Googleアプリ）を使う

Android搭載スマートフォンに搭載されているGoogleアプリと連携し、ヘッドセットを装着したまま声でAndroid搭載スマートフォンを操作できます。

1 アシストと音声入力の選択をGoogleアプリに設定する。

Android搭載スマートフォンで、以下の順に選びます。

〔設定〕 - 〔アプリと通知〕 - 〔詳細設定〕 - 〔標準のアプリ〕 - 〔アシストと音声入力〕

その後、〔アシストアプリ〕をGoogleアプリに設定します。

上記の操作は一例です。詳しくは、Android搭載スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

最新版のGoogleアプリが必要なことがあります。

中国本土以外の国・地域向けモデル：

Googleアプリについて詳しくは、Android搭載スマートフォンの取扱説明書やサポートページまたはGoogle Playをご覧ください。

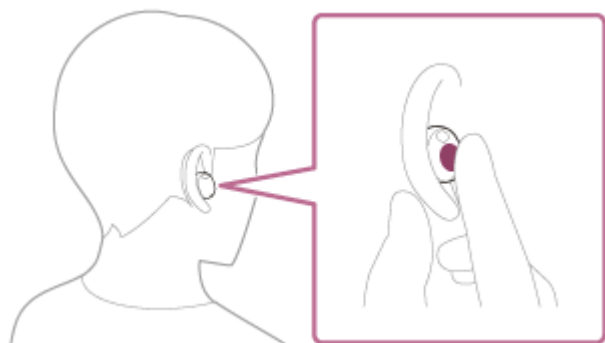
中国本土向けモデル：

Googleアプリについて詳しくは、Android搭載スマートフォンの取扱説明書またはサポートページをご覧ください。

Android搭載スマートフォンの仕様により、ヘッドセットからのGoogleアプリの起動に対応しない場合があります。

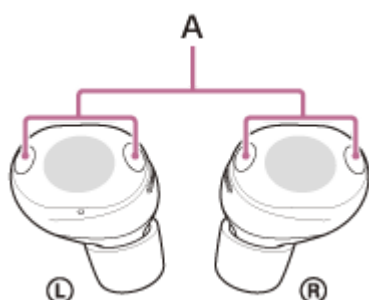
2 ヘッドセットを耳に装着し、Android搭載スマートフォンにBluetooth接続する。

3 Android搭載スマートフォンが待ち受け中や音楽再生中に、R側のタッチセンサーに約2秒以上触れたままにする。



Googleアプリが起動します。

4 ヘッドセットのマイク（A）からアプリを通じてGoogleに話しかける。



Googleアプリと連携しているアプリなどについて詳しくは、Android搭載スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

Googleアプリを起動した後、一定時間話しかけないと、音声入力が解除されます。

ご注意

- 音声アシスト機能（Googleアプリ）とGoogle Geminiを、同時に設定することはできません。
- 音声アシスト機能（Googleアプリ）とTencent Xiaowei/QQ Musicを、同時に設定することはできません。
- Android搭載スマートフォンで“OK Google”を有効にしても、“OK Google”の音声でGoogleアプリを起動することはできません。
- 音声アシスト機能を使用中に自分の声をより聞こえやすくするため、マイクが作動し外音を取り込みます（サイドトーン機能）。このとき、ヘッドセットから周囲の音やヘッドセットの操作音が聞こえますが故障ではありません。自分の声が大きく聞こえたり周囲の音が気になる場合は、“Sound Connect”アプリで「通話時の自分の声の取り込み」をオフにしてください。
- スマートフォンの仕様やアプリのバージョンによりGoogleアプリが起動しない場合があります。
- 音声アシスト機能に対応していない機器と接続した場合、Googleアプリは動作しません。
- 応答を確認してください。互換性と利用可否は状況により異なります。

TP1002086856

5-069-561-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM6

音声アシスト機能（Siri）を使う

iPhoneに搭載されているSiriと連携し、ヘッドセットを装着したまま声でiPhoneを操作できます。

1 Siriを有効にする。

iPhoneで「設定」－「Siriと検索」の順に選びます。

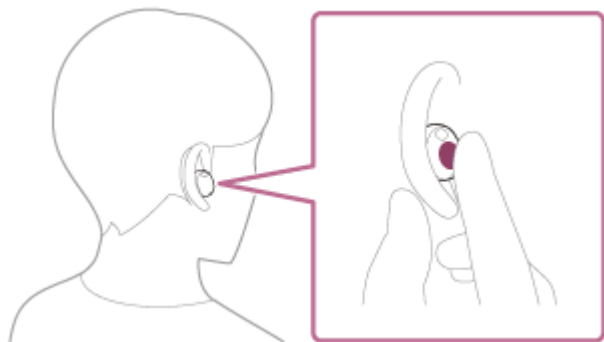
「ホームボタンを押してSiriを使用」と「ロック中にSiriを許可」を有効にします。

上記の操作は一例です。詳しくは、iPhoneの取扱説明書をご覧ください。

Siriについて詳しくは、iPhoneの取扱説明書やサポートページをご覧ください。

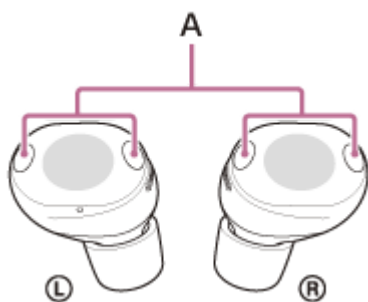
2 ヘッドセットを耳に装着し、iPhoneにBluetooth接続する。

3 iPhoneが待ち受け中や音楽再生中に、R側のタッチセンサーに約2秒以上触れたままにする。



Siriが起動します。

4 ヘッドセットのマイク（A）を通して、Siriに話しかける。



Siriと連携しているアプリなどについて詳しくは、iPhoneの取扱説明書をご覧ください。
Siriを起動した後、一定時間話しかけないと、Siriが解除されます。

ご注意

- 音声アシスト機能（Siri）とGoogle Geminiを、同時に設定することはできません。
- 音声アシスト機能（Siri）とTencent Xiaowei/QQ Musicを、同時に設定することはできません。
- iPhoneで“Hey Siri”を有効にしても、“Hey Siri”の音声でSiriを起動することはできません。

- 音声アシスト機能を使用中に自分の声をより聞こえやすくするため、マイクが作動し外音を取り込みます（サイドトーン機能）。このとき、ヘッドセットから周囲の音やヘッドセットの操作音が聞こえますが故障ではありません。自分の声が大きく聞こえたり周囲の音が気になる場合は、“Sound Connect”アプリで「通話時の自分の声の取り込み」をオフにしてください。

TP1002086855

5-069-561-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM6

使用上のご注意

Bluetooth通信について

- Bluetooth無線技術は、スマートフォンやパソコンなどのデジタル機器同士で通信を行うための近距離無線技術です。通信有効範囲は障害物（人体、金属、壁など）や電波状態によって変動します。
- ヘッドセットと接続するBluetooth機器や通信環境、周囲の状況によっては、雑音が入ったり、音が途切れたりすることがあります。
- ヘッドセットの最大の通信見通し距離は約10 m（32.8 フィート）です。周囲環境により通信距離が変わる場合があります。
- Bluetooth機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所ではヘッドセットおよびBluetooth機器の電源を切ってください。
 - － 病院内／電車内の優先席付近／ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所／自動ドアや火災報知機の近く
- ヘッドセットを航空機内で使用する場合は、客室乗務員の指示に従ってください。電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となる恐れがあります。
- 無線技術の特性により送信側での音声・音楽再生に比べてヘッドセット側での再生が遅れるため、動画視聴時やゲームでご利用の場合、映像と音声はずれる場合があります。
- ヘッドセットは、Bluetooth無線技術を使用した通信時のセキュリティーとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティー機能に対応していますが、設定内容などによってセキュリティーが充分でない場合があります。Bluetooth通信を行う際はご注意ください。
- Bluetooth通信時に情報の漏洩が発生しましても、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ヘッドセットはすべてのBluetooth機器とのBluetooth接続を保証するものではありません。
 - － 接続するBluetooth機器は、Bluetooth SIG, Inc.の定めるBluetooth標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。
 - － 接続する機器が上記Bluetooth規格に適合していても、機器の特性や仕様によっては、接続できない場合があります。また、操作方法や表示・動作が異なることもあります。
 - － ハンズフリー通話中、接続機器や通信環境により、雑音が入ることがあります。
- 接続する機器によっては、通信ができるようになるまで時間がかかることがあります。

温度上昇に関するご注意

- ヘッドセットや充電ケースの充電中、またはヘッドセットを長時間使用すると、ヘッドセットや充電ケースの温度が上昇することがあります。これは故障ではありません。

静電気に関するご注意

- 空気が乾燥する時期にヘッドセットを使用すると、耳にピリピリと痛みを感じることがあります。これはヘッドセットの故障ではなく人体に蓄積される静電気によるものです。静電気の発生しにくい天然素材の衣服を身につけていただくことにより影響が軽減されます。

装着に関するご注意

- 使用後はヘッドセットを耳からゆっくり取り外してください。ヘッドセットは密閉度を高めています。強く押し付けたり急に外したりすると鼓膜を痛める恐れがあります。
- ヘッドセットを装着したときに、振動板から音が生じる場合があります。これは、故障ではありません。
- ヘッドセットを長時間使用すると、耳にかゆみや炎症などの症状が出る場合があります。ヘッドセットの使用中に上記のような症状を感じたときは、すぐに使用を中止してください。その後、医師、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。
- 長時間使用する場合は、定期的にヘッドセットを耳から取り外すことをおすすめします。

その他のご注意

- ヘッドセットは精密機器のため、落したり、衝撃を与えたりしないでください。変形や損傷が生じ、性能低下の原因になることがあります。
- タッチセンサーにステッカーなどを貼ると、正しく動作しないことがあります。
- お使いのスマートフォンの電波状況や場所の影響によっては、ヘッドセットが使用できない場合があります。
- 携帯電話でご使用の際、電波状況、場所の影響により、ご使用できない場合があります。
- 音導管（音出口の筒部）やマイクに息を吹きかけないでください。
- ヘッドセットを使用中に気分が悪くなった場合は、すぐに使用を中止してください。
- イヤーピースが汚れたらヘッドセットから外してください。薄めた中性洗剤で手洗いしてください。洗浄後は水気をよくふいてから取り付けてください。外しにくいときは、乾いた柔らかい布でくるむと外しやすくなります。
- ヘッドセットは防水仕様ではありません。水や異物が入ると焼損や故障の原因になります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに使用を中止してください。その後、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。特に以下の場合ご注意ください。
 - － 洗面所などでの使用
水の入った洗面台や容器の中に落とさないようご注意ください。
 - － 雨や雪、湿度の多い場所での使用
 - － 汗をかく状況での使用
濡れた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットに入れると水濡れの原因となる場合があります。
- ヘッドセットや充電ケースの端子が汚れたときは、乾いた柔らかい布で清掃してください。

お手入れのしかた

- ヘッドセットの外装のほこりや汚れは、純水タイプのウェットティッシュで拭き取ることが可能です。以下のものは、表面の仕上げを痛めたり、故障や破損につながるため使わないでください。
 - － アルコールを含むウェットティッシュ
 - － シンナー
 - － ベンジンなど

ヘッドセットと充電ケースを医療機器の近くで使わない

- 電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与える恐れがあります。満員電車などの混雑した場所や医療機関の屋内では使わないでください。
- ヘッドセットと充電ケースは磁石を使用しています。この磁石はペースメーカー、水頭症治療用可変式シャントなどの医療機器に影響を与える恐れがあります。ヘッドセットと充電ケースをこれらの医療機器をご使用の方に近づけないでください。これらの医療機器を使用されている場合、ヘッドセットのご使用前に担当医師にご相談ください。

ヘッドセットと充電ケースを磁気カードに近づけない

- ヘッドセットと充電ケースは磁石を使用しています。ワイヤレス充電時の漏れ磁束の影響で磁気を利用したカードを近づけると、カードの磁気に変化して使えなくなることがあります。

TP1002086852

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM6

対応コーデックについて

コーデックとはBluetooth接続で音声を無線伝送する際に使用する「音声圧縮変換方式」のことです。

ヘッドセットは以下のコーデックに対応しています。

ヘッドセットが音楽再生用にClassic AudioのA2DPで接続している場合、コーデックはSBC、AAC、LDACに対応しています。

LE Audioで接続している場合は、コーデックはLC3に対応しています。

- SBC
Subband Codecの略です。
SBCは、Bluetooth機器が標準で使用する音声圧縮技術です。
Classic Audioを使用するBluetooth機器は、必ずSBCに対応しています。
- AAC
Advanced Audio Codingの略です。
AACは、主にiPhoneなどのApple製品で使用されており、SBCに比べ高音質です。
- LDAC
LDACは、ソニーが開発したハイレゾ音源をBluetooth通信経由でも伝送可能とする音声圧縮技術です。SBCなどの既存Bluetooth通信向け圧縮技術とは異なり、ハイレゾ音源を低い周波数・低いビット数へダウンコンバートすることなく処理します*。
また極めて効率的な符号化やパケット配分の最適化を施すことで、従来技術比約3倍**のデータ量の送信を可能とし、これまでにない高音質のBluetooth無線伝送を実現しています。
- LC3
Low Complexity Communication Codecの略です。
LC3はLE Audioのコーデックで、低遅延での伝送を実現しています。

* DSDフォーマットは除く。

** LDACで990 kbps (96/48 kHz) または909 kbps (88.2/44.1 kHz) のビットレートが選択された場合のSBCとの比較。

Classic Audio接続時、接続機器が以下のいずれかのコーデックで音楽を送信してきたときは、自動的にそのコーデックに対応し音楽再生します。

SBC、AAC、LDAC

LDACで再生したい場合は、“Sound Connect”アプリを使用して、[Bluetooth接続品質]を[音質優先]に設定してください。お買い上げ時に設定されている[接続優先]では、LDACでの再生ができません。

SBCよりも高音質なコーデックに対応している接続機器の場合、対応しているコーデックの中から希望するコーデックで音楽を楽しむために、事前に接続機器側の設定が必要な場合があります。

コーデックの設定については接続機器の取扱説明書をご覧ください。

LE Audio接続時、音楽再生時はLC3のコーデックで音楽再生されます。LE Audioで接続する場合は“Sound Connect”アプリを使用して、[Bluetooth接続品質]を[低遅延]に設定してください。お買い上げ時の設定の[接続優先]では、LE Audioの接続はできません。

事前に接続機器側の設定が必要な場合がありますので、接続機器の取扱説明書をご覧ください。

TP1002086940

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM6

ソフトウェアを最新の状態に保つ方法（快適にご使用いただくために）

ヘッドセットのソフトウェアを最新の状態にしておくと、新しい機能を楽しむことができたり、いくつかの問題が解決することがあります。“Sound Connect”アプリでヘッドセットのソフトウェアをアップデートしてください。ヘッドセットの最新のソフトウェアおよびアップデートの方法については、サポートページ内のお知らせなどをご確認ください。

“Sound Connect”アプリで自動アップデートの設定を有効にしている、以下の条件を満たしているときは、ヘッドセットを使用していない夜間を目途に自動でアップデートを開始します。

- ソフトウェアの転送が完了している。
- 両側のヘッドセットが充電ケースにセットされ、充電ケースのふたが閉まっている。
- ヘッドセットの充電式電池の残量が20%より多い。
- 充電ケースの充電式電池の残量が10%より多い。

自動アップデート中にふたを開けると、充電ケースのランプが青色およびオレンジ色に点滅します。自動アップデート中はふたを閉めてください。ヘッドセットを充電ケースから取り出して装着しても使用できません。以下の方法でも、ヘッドセットのソフトウェアアップデートを行うことができます。

1 ヘッドセットを充電ケースから取り出す。



自動的に電源が入ります。

2 “Sound Connect”アプリの画面の指示に従って、ヘッドセットのソフトウェアをアップデートする。

ご注意

- アップデートを行うときは、アップデートに使用するモバイルデバイスに接続されている他のBluetoothデバイスの接続を事前に切ってください。
モバイルデバイスにBluetooth Low Energyに対応した機器（ウェアラブル端末・スマートウォッチなど）が接続されているとアップデートができない場合があります。
- ヘッドセットのアップデートが完了できない場合、以下の点に注意してください。
 - － モバイルデバイスにある、“Sound Connect”アプリ以外のアプリをすべて終了する。
 - － ヘッドセットとモバイルデバイスを十分に充電する。
 - － ヘッドセットとアップデートで使用するモバイルデバイスをできるだけ近づけてアップデートを行う。
 - － 周辺の無線LAN機器やBluetooth機器などの近くでアップデートを行わない。
 - － アップデートはモバイルデバイスの省電力モード*をオフにして行う。
お使いのモバイルデバイスのOSバージョンによって、省電力モードではアップデートが完了しない場合があります。

* 名称はお使いのモバイルデバイスによって異なります。

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM6

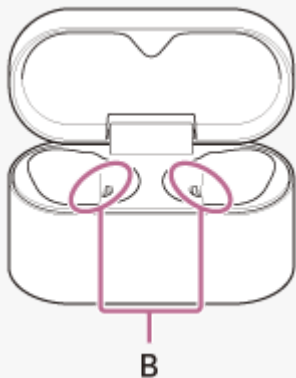
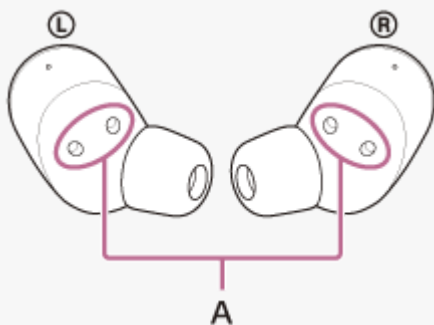
使い終わったら

ヘッドセットを使い終わったら、必ず充電ケースにセットしてください。
充電ケースのふたを開めてください。



ご注意

- ヘッドセットの充電端子に汗や水が付着したままにしておくと、充電ができなくなる原因となります。ご使用後は、すみやかに汗や水を拭き取ってください。また、ヘッドセットの充電端子 (A) や充電ケースの充電端子 (B) が汚れたときは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。



- 「お手入れ」、「水ぬれによる焼損や故障を防ぐために」、「ヘッドセットや充電ケースが水にぬれてしまった場合は」の項目もご覧ください。

関連項目

- [お手入れ](#)
- [水ぬれによる焼損や故障を防ぐために](#)
- [ヘッドセットや充電ケースが水にぬれてしまった場合は](#)

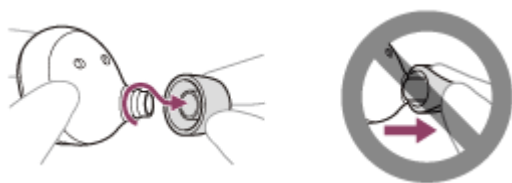
ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM6

お手入れ

以下の手順に従って定期的にお手入れを行ってください。

1 イヤーピースを外す。

ヘッドセットを持ち、イヤーピースをねじりながら、回転させて引き抜いてください。
イヤーピースの端をつまんで引っ張らないでください。



2 ヘッドセットをお手入れする。

ヘッドセット本体をお手入れする

ヘッドセットの外装のほこりや汚れは、純水タイプのウェットティッシュで拭き取ることが可能です。アルコールを含むウェットティッシュ、シンナー、ベンジンなどは表面の仕上げを痛めたり、故障や破損につながるため使わないでください。

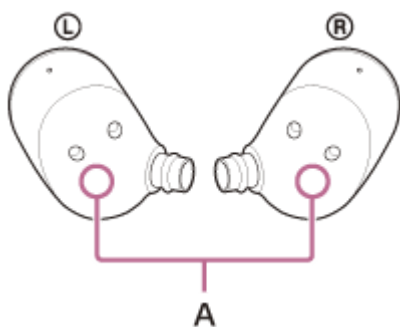
ヘッドセットに付着した水滴は、乾いた柔らかい布などで拭き取ってください。

寒冷地などでは、水滴が付着したまま放置すると凍結する恐れがあります。

IRセンサーをお手入れする

IRセンサー (A) が汚れていると、ヘッドセットの装着が検出されず、ヘッドセットが正しく動作しないことがあります。

乾いた柔らかい布などでIRセンサー (A) の汚れを拭き取ってください。



充電端子をお手入れする

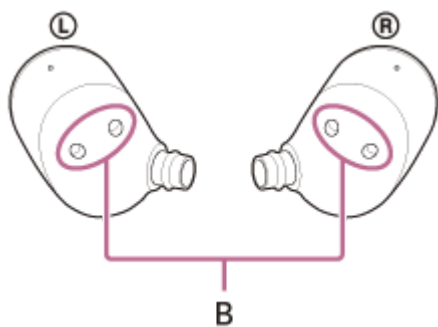
ヘッドセットの充電端子 (B) や充電ケースの充電端子 (C) に異物や汗などの水分が付着したままにしておくと、端子が腐食する原因となり、充電ができなくなることがあります。

使い終わった後には、必ず乾いた柔らかい布や綿棒で充電端子を優しく清掃してください。

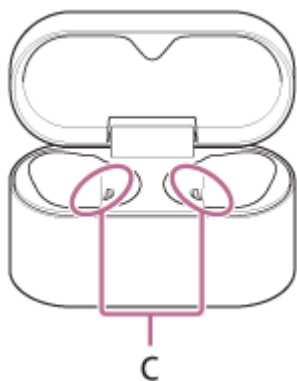
充電ができなくなったときも、端子を丁寧に清掃することで改善できる場合がありますのでお試しください。

お手入れが必要な充電端子

- ヘッドセット



- 充電ケース

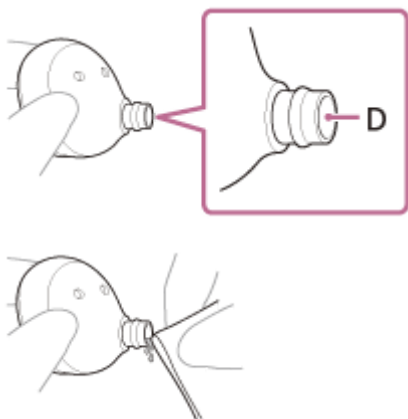


ご注意

- ほこりなどを取り除くときは、エアスプレーなどは使用しないでください。音の出口にほこりなどが入り、機能不良につながる可能性があります。

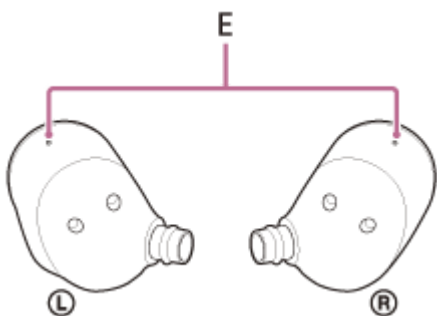
音の出口をお手入れする

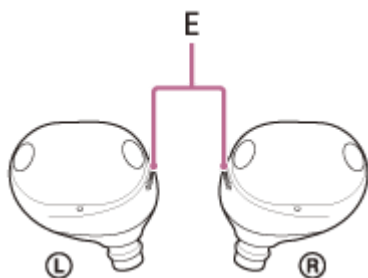
水でぬらして固く絞った布でヘッドセットの音の出口部分（D）の耳あかなどの汚れを拭き取ってください。汚れをヘッドセットの奥へ押し込まないように取り除いてください。



通気口をお手入れする

水でぬらして固く絞った布でヘッドセットの通気口部分（E）の耳あかなどの汚れを拭き取ってください。汚れをヘッドセットの奥へ押し込まないように取り除いてください。





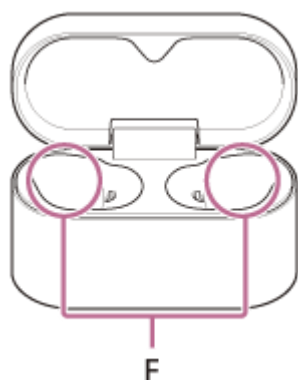
汚れがすでに通気口部分（E）の穴に詰まっており、上記方法で取り除くのが難しい場合は、清潔で柔らかいブラシを使用してください。ブラシを使う際は、表面を優しくなでるようにして汚れを払います。

ご注意

- 内部部品が破損しないよう、ブラシを穴に深く差し込まないでください。

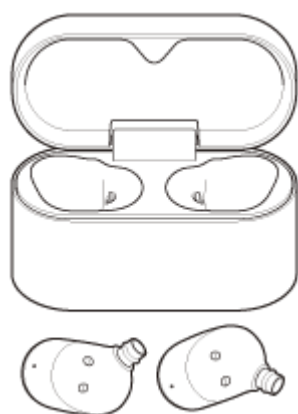
充電ケースのくぼみをお手入れする

綿棒などを使用してイヤークリップが入るくぼみ（F）の汚れを清掃してください。



ヘッドセットをよく乾かす

清掃が完了したら、常温で放置してしっかり乾燥させてください。



ご注意

- ヘッドセットを乾かす場合、IRセンサーがテーブルに触れていると、装着されていると判断され、充電式電池が消費され続ける場合があります。IRセンサーを横向き、もしくは上向きに置いてください。

ノイズアイソレーションイヤークリップをお手入れする

ノイズアイソレーションイヤークリップが汚れた場合は、乾いた布などで拭き取ってください。

イヤークリップのメッシュ部分に耳あかなどの異物が付着すると、音が小さく聞こえたり聞こえにくくなったりすることがあります。

イヤークリップを本体から取り外し、メッシュ部分に綿棒を軽く当ててゆっくり回転させて汚れを拭き取ります。メッシュ部分が破れないように注意してください。



ご注意

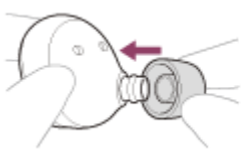
- イヤーピースは消耗品です。
- 水にぬれてしまった場合などは水気を切り、乾燥したことを確認してからご使用・保存してください。
- 水洗いやウェットティッシュ、アルコール等の有機溶剤の使用は早期劣化の原因となりますので、必ず避けてください。



- 紙で擦ったり、鋭利な金属物、爪、粘着テープ等を使用すると、イヤーピースが傷つけられたり、変形する可能性があります。
- 発泡ウレタン部分だけを引っ張らないでください。イヤーピースから分離すると、機能なくなります。
- 発泡ウレタン部分に力を加えたまま長時間放置しないでください。変形して元に戻りにくくなる恐れがあります。
- 気温が低い場合は発泡素材が硬くなることがあります。手で少し温めてご使用ください。
- 気温や使用温度が高い場合は発泡ウレタンの復元が遅い場合があります。

3 イヤーピースを取り付ける。

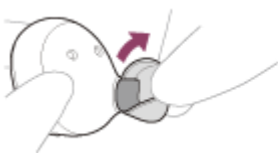
イヤーピースをヘッドセットの音導管（音出口の筒部）の奥までしっかり押し込んでください。イヤーピースを斜めに取り付けしないでください。



イヤーピースが完全に取り付けられていない場合は、ヘッドセットから外れる恐れや、音質・ノイズキャンセリング性能・装着性などが損なわれる可能性があります。

4 イヤーピースが正しく取り付けられているか確認する。

イヤーピースをめくり、イヤーピースの軸がヘッドセットの音導管の奥まで取り付けられているかを確認してください。



5 充電ケースにセットする。

ヘッドセットのお手入れ・清掃が終わり、乾燥させたら、必ず充電ケースにセットしてください。



充電ケースのふたは必ず閉めておいてください。



TP1002093404

5-069-561-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM6

水ぬれによる焼損や故障を防ぐために

ご使用後は必ずお手入れをしてください

充電ケースのUSB Type-C端子やヘッドセットの充電端子に水や汗などの液体やほこりなどの異物が付着した状態で充電しないでください。火災、感電、発熱、発煙、発火によるやけどや大けがなどの人身事故や、故障の原因になります。

下記のような状況を避け、ヘッドセットや充電ケースに水分や汚れが付かないよう注意してください。
万一水分や汚れが付いてしまった場合は、「[ヘッドセットや充電ケースが水にぬれてしまった場合は](#)」の内容に従い、お手入れをしてから使用してください。

- キッチンでの水仕事や洗面所で手を洗った後、水にぬれた手をよく拭かずにヘッドセットや充電ケースに触れる。



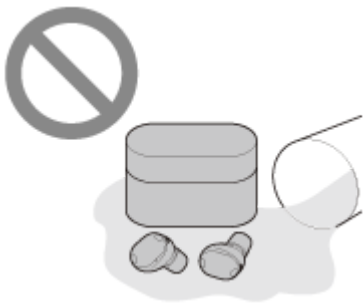
- 汗をかいた衣服の胸ポケットに入れる。



- 冷えたペットボトルと一緒にカバンの中に入れる。



- 飲食をしているときに、うっかり飲み物をこぼしてしまう。



ヘッドセットと充電ケースを故障から守るために

下記の点をご確認のうえ、正しくご使用ください。

- ヘッドセットの音出口に向けて、水を強く当てないでください。
- 水中に落下させたり、水中で使用したりしないでください。
- 寒冷地などでは、凍結する恐れがあります。使用後は必ず水滴を拭き取るようにしてください。
- ヘッドセットを水の中に入れたり、風呂場など、湿度の高いところで使用しないでください。
- ヘッドセットに水がかかった場合は、
 1. ヘッドセットに付着した水滴は、乾いた柔らかい布などで拭き取ってください。
 2. イヤーピースを取り外して音導管（音出口の筒部）を下に向け、2、3回振って水滴を取り除いてください。



3. マイク部分と通気孔部分を下に向け、乾いた布などに20回程度軽くたたくように当てて内部にたまった水を出してください。



4. ヘッドセットを充電ケースに入れず常温で十分に乾燥させてください。
- ヘッドセットや充電ケースが汗などでぬれたまま充電すると、端子が腐食します。充電する前に乾いた柔らかい布で水分を完全に拭き取り、常温で放置して乾燥させてから充電してください。
- お手入れをしないで故障した場合の修理は無償保証の対象外となります。



- ズボンやシャツのポケットに入れたまま洗濯をしないでください。



- ひび割れや変形が見られるときは、水のかかる場所でのご使用を控えていただくか、ソニーの相談窓口、またはお買い上げ店にご相談ください。

TP1002091918

5-069-561-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM6

ヘッドセットや充電ケースが水にぬれてしまった場合は

ヘッドセットに水がかかった場合は

1. ヘッドセットに付着した水滴は、乾いた柔らかい布などで拭き取ってください。
2. イヤーピースを取り外して音導管（音出口の筒部）を下に向け、2、3回振って水滴を取り除いてください。



3. マイク部分と通気孔部分を下に向け、乾いた布などに20回程度軽くたたくように当てて内部にたまった水を出してください。



4. ヘッドセットを充電ケースに入れず、常温で十分に乾燥させてください。
- ヘッドセットが水や汗などでぬれたまま充電すると、端子が腐食します。充電する前に乾いた柔らかい布で水分を完全に拭き取り、常温で放置して乾燥させてから充電してください。
お手入れをしないで故障した場合の修理は無償保証の対象外となります。



ヘッドセットの防滴性能について

- 充電ケースは、防滴に対応しておりません。
- ヘッドセットは、IEC 60529「水の浸入に対する保護等級（IPコード）」の「水の浸入に対する保護等級」のIPX4に該当します。水中での使用はできません。
使いかたによっては内部に水が入り、火災や感電、故障の原因となる恐れがあります。以下の点を充分にご理解、ご確認のうえ、ご使用ください。
IPX4：あらゆる方向からの、飛沫に対して本体機能を保護するものです。
- ヘッドセットの音導管（音出口の筒部）、通気孔、マイク部分は非耐水エリアです。
音導管、通気孔、マイク部分に水が入ったままになると、一時的に以下のような症状などが出るがありますが、故障ではありません。
 - － 音が聞こえづらくなる
 - － ノイズキャンセリングの効果が弱くなる
 - － 異常な音が出る
 - － 通話音声聞こえづらくなる

ヘッドセットの防滴性能の対象となる液体

対象：	真水、水道水、汗
非対象：	上記以外の液体 例：石けん水、洗剤や入浴剤の入った水、シャンプー、温泉水、お湯、プールの水、海水など

性能については、上記条件による当社測定に基づいたものです。お客様の誤った取り扱いが原因の浸水による故障は保証対象外となりますので、あらかじめご了承ください。

TP1002089881

5-069-561-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM6

ライセンスについて

- 本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアが搭載されております。当該ソフトウェアの著作権者様の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。ライセンスに関して、内容をご一読くださいますようお願い申し上げます。ライセンス内容は、以下のURLよりご覧ください。
<https://rd1.sony.net/help/mdr/sl/26/>
- 「Made for Apple」バッジは、アクセサリが本バッジに記載されたアップル製品専用に接続するように設計され、アップルが定める性能基準を満たしていることを示します。アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。
- 本製品に搭載され、または本製品で利用可能なネットワークサービス、コンテンツおよびソフトウェア（オペレーションシステム含む）には、各々の利用条件が適用されます。予告なく提供が中断・終了したり、内容が変更されたり、ご利用に際して別途の登録や料金の支払いが必要になる場合がありますので、ご了承ください。

TP1002088706

5-069-561-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM6

商標について

- Google、Android、GeminiおよびGoogle PlayはGoogle LLCの商標です。
- Apple、iPhone、macOS、MacおよびSiriは米国および他の国や地域で登録されたApple Inc.の商標です。「iPhone」の商標は、アイホン株式会社からライセンスを受け使用しています。
- App Storeは、米国および他の国や地域で登録されたApple Inc.のサービスマークです。
- IOSは、Ciscoの米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標、または商標です。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、ソニーグループ株式会社及びその子会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- USB Type-C™およびUSB-C™は、USB Implementers Forumの商標です。
- LDACおよびLDACロゴは、ソニーグループ株式会社またはその関連会社の商標です。
- “DSEE”、“DSEE Extreme”はソニーグループ株式会社またはその関連会社の商標または登録商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

TP1002086851

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM6

困ったときにすること

困ったときは、下記の流れにしたがってください。

1. ヘッドセットを充電ケースにセットし、ふたを一度閉めてから開き、ヘッドセットを取り出す。



2. 接続機器（パソコン、スマートフォンなど）を再起動する。



3. “Sound Connect”アプリのメニューからサポートサイトにアクセスし、該当するトラブルと解決方法を調べる、または下記のサポートサイトを確認する。

<https://www.sony.jp/support/headphone/products/wf-1000xm6.html>



4. ヘッドセットをリセットする。



5. ヘッドセットを初期化する。



6. それでも正常に動作しない場合は、下記のソニーの相談窓口またはお買い上げ店に問い合わせる。

<https://www.sony.net/support-contact>

関連項目

- [充電する](#)
- [リセットする](#)
- [初期化する](#)

TP1002086847

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM6

リセットする

ヘッドセットの電源が入らない、または電源が入っているのに操作ができない場合は、ヘッドセットをリセットしてください。

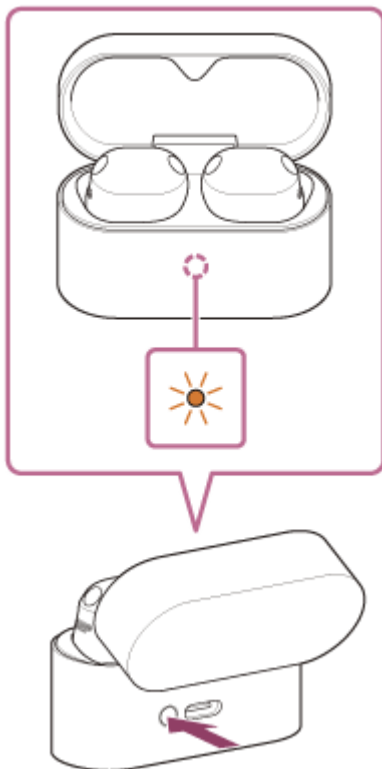
1 ヘッドセットを充電ケースにセットする。

充電ケースのふたは開けたままにしてください。



2 充電ケース背面のリセットボタンを約20秒以上押したままにする。

充電ケースのランプがオレンジ色に、約15秒後から約5秒間点滅します。



その後、充電ケースのランプが消灯し、ヘッドセットがリセットされます。

ご注意

- 充電ケースのランプがオレンジ色に点滅している間は、リセットボタンから指を離さないでください。指を離すとヘッドセットが初期化されてしまいます。

③ ランプが消灯したことを確認して指を離す。

ペアリング情報、その他の設定は保持されます。
症状が改善されないときはヘッドセットを初期化してください。

取扱説明動画について

リセットの手順は、動画でご覧いただけます。音声での説明はありません。

中国本土以外、日本以外の国・地域向けモデル：

https://rd1.sony.net/help/mdr/mov0105/h_zz/

中国本土向けモデル：

<https://rd1.sony.net/help/mdr/mov0105/zh-cn/>

日本向けモデル：

<https://rd1.sony.net/help/mdr/mov0105/ja/>

関連項目

- [初期化する](#)

TP1002092341

5-069-561-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM6

初期化する

ヘッドセットをリセットしても症状が改善されないときは、初期化してください。

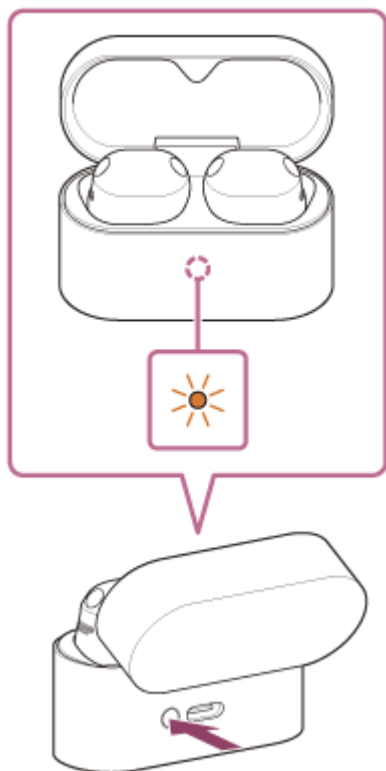
1 ヘッドセットを充電ケースにセットする。

充電ケースのふたは開けたままにしてください。



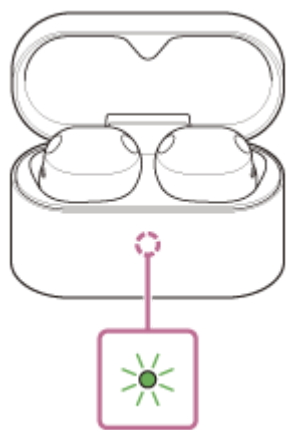
2 充電ケース背面の初期化ボタンを約15秒以上押したままにする。

充電ケースのランプがオレンジ色に、約15秒後から約5秒間点滅します。



3 充電ケースのランプがオレンジ色に点滅し始めてから5秒以内に指を離す。

初期化が完了すると、充電ケースのランプが緑色に4回点滅します。



音量調節などを工場出荷時の設定に戻し、すべてのペアリング情報を削除します。この場合は接続相手の機器からヘッドセットのペアリング情報を一度削除してもう一度ペアリングをしてください。

初期化しても動作が改善されないときは、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店へお問い合わせください。

取扱説明動画について

初期化の手順は、動画でご覧いただけます。音声での説明はありません。

中国本土以外、日本以外の国・地域向けモデル：

https://rd1.sony.net/help/mdr/mov0106/h_zz/

中国本土向けモデル：

<https://rd1.sony.net/help/mdr/mov0106/zh-cn/>

日本向けモデル：

<https://rd1.sony.net/help/mdr/mov0106/ja/>

ご注意

- 充電ケースの充電式電池に十分な残量がない場合は、ヘッドセットを初期化できません。充電ケースを充電してください。
- 手順3の操作後に充電ケースのランプが緑色に4回点滅しない場合は、ヘッドセットは初期化されていません。もう一度手順2から操作してください。
- お買い上げ後にソフトウェアをアップデートした場合は、ヘッドセットを初期化してもアップデートした状態が保持されます。
- 音声ガイダンスの言語を変更した状態でヘッドセットを初期化しても、言語は初期状態に戻りません。

TP1002092342

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WF-1000XM6

主な仕様

ヘッドセット

電源：

DC 5 V（市販USB ACアダプターを使用）
内蔵されたリチウムイオン電池を使用（製品の動作電源 DC 3.85 V）

充電時間：

約1.5時間（本体）
約2時間（充電ケース）

ご注意

- 使用条件により変わる場合があります。

許容動作温度：

0 °C～40 °C（華氏32 °～ 104 °）

質量：

約6.5 g × 2（0.23 オンス × 2）（ヘッドセットのみ（イヤープース（M）含む））
約47 g（1.66 オンス）（充電ケース）

通信仕様

通信方式：

Bluetooth

ヘッドセットの仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

対応iPhone

iPhone 16 Pro Max
iPhone 16 Pro
iPhone 16 Plus
iPhone 16
iPhone 15 Pro Max
iPhone 15 Pro
iPhone 15 Plus
iPhone 15
iPhone 14 Pro Max
iPhone 14 Pro
iPhone 14 Plus
iPhone 14
iPhone SE（第3世代）
iPhone 13 Pro Max
iPhone 13 Pro
iPhone 13
iPhone 13 mini

iPhone 12 Pro Max
iPhone 12 Pro
iPhone 12
iPhone 12 mini
iPhone SE（第2世代）
iPhone 11 Pro Max
iPhone 11 Pro
iPhone 11
iPhone XS Max
iPhone XS
iPhone XR

※ 2025年9月 現在

上記機種に対応iOSによって“Sound Connect”アプリが使用できない場合があります。

関連項目

- [対応コーデックについて](#)

TP1002092339

5-069-561-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation